
会 告 ・ 通 知

————— 平成 25 年 11 月号会告・通知目次 —————

◇第一種研究会開催案内（平成 25 年 11 月 1 日～11 月 29 日）	2
◇第二種研究会開催案内，発表募集案内	40
◇2014 年総合大会講演募集の御案内	44
◇講演会・講習会・学術研究集会等	
・ 東海支部 平成 25 年度第 4 回学生会講演会	45
平成 25 年度第 3 回一般講演会	45
・ 北陸支部 平成 25 年度第 2 回学生講演会	45
平成 25 年度第 3 回学生講演会	45
・ 関西支部 電気四学会関西支部専門講習会「M2M を支える技術と近未来展望 —無線給電，省電力化，エネルギーハーベスティング—	45
電気四学会関西支部専門講習会「電力系統と交直変換器の相互作用」	45
IEICE 関西支部 ICT 基礎講座「アルゴリズムから学ぶ暗号技術」	46
・ 日本技術者教育認定機構（JABEE）審査講習会・受審校向け講習会	46
・ MWE 2013（2013 Microwave Workshops and Exhibition）スマートな生活を創造する ワイヤレステクノロジー	47
・ HCG シンポジウム 2013—一人々の生活を幸せで豊かにしていく ICT とコミュニケーション—	48
・ 2014 年暗号と情報セキュリティシンポジウム（SCIS2014）	52
・ 本会が協賛等のもの	52
◇国際会議	54
◇受賞候補者募集等	
・ 論文賞候補論文推薦について	55
・ 平成 25 年度エレクトロニクスソサイエティ招待論文賞 候補論文推薦について	57
◇求人欄	58
◇お知らせ	
・ 2014 年フェロー候補者推薦公募について	60
・ 「子供の科学教室基金」の募金活動について	60
・ 論文誌の冊子体の廃止について	60
・ 平成 25 年 11 月号及び 12 月号和・英論文誌特集・小特集テーマ	60
◇論文特集原稿募集	
・ バイオメトリクス小特集（和文論文誌 A）	61
・ アンテナ，伝搬，及び無線システムのための最新の測定及び設計技術小特集（英文論文誌 B）	61
・ 新たな広がりを見せる衛星通信及び関連宇宙技術特集（和文論文誌 B）	62
・ ネットワーク仮想化及びコンピューティングとネットワークの 融合プラットフォーム小特集（英文論文誌 B）	63
・ 通信分野の新しい知・技を切り開くポジションペーパー小特集（英文論文誌 B）	64
・ マイクロ波・ミリ波技術の最前線小特集（英文論文誌 C）	65
・ 多様化する学習・教育支援特集（和文論文誌 D）	65
◇論文特集論文募集カレンダー	67
♣複写される方へ	54
♣新刊案内	
・ 本会発行図書 [非線形システムが社会を動かす]	66
♣総合版ハンドブック「知識ベース」の一般公開について	59

電子情報通信学会各研究会開催通知

第一種研究会 平成 25 年 11 月 1 日～11 月 29 日

開催プログラムは変更になることがあります。
最新情報は学会ホームページのイベント日程等で御確認下さい。
<http://www.ieice.org/event/workshops.php>

◎基礎・境界ソサイエティ

研究会名	日 時		会 場	告 頁
安 全 性	21 日(木)	13 : 00～17 : 00	芝浦工業大学・芝浦キャンパス	8
回 路 と シ ス テ ム シ ス テ ム 数 理 と 応 用	6 日(水) 7 日(木)	13 : 00～17 : 50 8 : 30～16 : 50	花巻南温泉峡・渡り温泉さつき	12
情 報 セ キ ュ リ テ イ ライフインテリジェンスとオフィス情報システム	28 日(木) 29 日(金)	13 : 30～17 : 05 10 : 30～15 : 25	東北大学・青葉山キャンパス・青葉記念会館	17
情 報 理 論	26 日(火)	13 : 35～16 : 50	伊東ホテル聚楽	19
超 音 波	11 日(月) 12 日(火)	13 : 00～17 : 45 9 : 30～12 : 30	金沢工業大学・扇が丘キャンパス	19
信 頼 性	14 日(木)	14 : 00～16 : 30	中央電気倶楽部	21
超 音 波	23 日(土)	13 : 00～16 : 35	同志社大学・室町キャンパス	22
応 用 音 響 マルチメディア情報ハイディング・エンリッチメント	14 日(木) 15 日(金)	13 : 00～18 : 00 9 : 15～17 : 45	県立広島大学・サテライトキャンパスひろしま	25
V L S I 設 計 技 術 電 子 部 品 ・ 材 料 集 積 回 路 コ ン ピ ュ ー タ シ ス テ ム デ ィ ベ ン ダ ブ ル コ ン ピ ュ ー テ ィ ン グ リ コ ン フ ィ ギ ャ ラ ブ ル シ ス テ ム	27 日(水) 28 日(木) 29 日(金)	8 : 50～16 : 50 8 : 30～18 : 00 8 : 30～15 : 00	鹿児島県文化センター・宝山ホール	33
11 月休会の研究会；非線形問題，信号処理，ワイドバンドシステム，思考と言語，技術と社会・倫理，ITS，スマートインフォメディアシステム，イメージ・メディア・クオリティ				

◎通信ソサイエティ

研究会名	日 時		会 場	告 頁
フ ォ ト ニ ッ ク ネ ッ ト ワ ー ク	11 日(月) 12 日(火)	14 : 00～17 : 15 10 : 00～11 : 40	早稲田大学・西早稲田キャンパス	5
環 境 電 磁 工 学	22 日(金)	13 : 00～17 : 35	東京電機大学・東京千住キャンパス	8
電 子 通 信 エ ネ ル ギ ー 技 術	22 日(金)	13 : 00～15 : 30	機械振興会館	9
知 的 環 境 と セ ン サ ネ ッ ト ワ ー ク	28 日(木) 29 日(金)	10 : 00～18 : 00 9 : 20～16 : 40	機械振興会館	10
通 信 方 式	14 日(木) 15 日(金)	8 : 40～12 : 00 8 : 35～11 : 40	登別温泉・第一滝本館	11
宇 宙 ・ 航 行 エ レ ク ト ロ ニ ク ス	22 日(金) 23 日(土)	10 : 30～17 : 10 10 : 00～12 : 20	東北大学・川内キャンパス・萩ホール 東北大学・東北アジア研究センター	16
光 通 信 シ ス テ ム 光 フ ァ イ バ 応 用 技 術	21 日(木) 22 日(金)	14 : 00～17 : 30 9 : 00～14 : 40	長岡技術科学大学	18
イ ン タ ー ネ ッ ト ア ー キ テ ク チ ャ	1 日(金)	13 : 10～16 : 00	グランドプリンスホテル広島	24
ア ン テ ナ ・ 伝 播 無 線 通 信 シ ス テ ム	20 日(水) 21 日(木) 22 日(金)	14 : 00～18 : 05 10 : 00～18 : 35 9 : 20～15 : 45	松江テルサ	26
ネ ッ ト ワ ー ク シ ス テ ム コ ミ ュ ニ ケ ー シ ョ ン ク オ リ テ イ 情 報 通 信 マ ネ ジ メ ン ト	14 日(木) 15 日(金)	9 : 30～18 : 30 9 : 25～16 : 10	福江文化会館	29
情 報 ネ ッ ト ワ ー ク モ バ イ ル ネ ッ ト ワ ー ク と ア プ リ ケ ー シ ョ ン	21 日(木) 22 日(金)	13 : 00～17 : 45 9 : 00～15 : 00	熊本大学・黒髪南地区	31
11 月休会の研究会；衛星通信，ソフトウェア無線，短距離無線通信				

◎エレクトロニクスソサイエティ

研究会名	日時		会場	告頁
電子ディスプレイ	7日(木)	10:00~16:40	江戸東京博物館	5
電子ディスプレイ	12日(火)	13:00~16:40	機械振興会館	7
シリコン材料・デバイス	14日(木)	10:00~16:40	機械振興会館	7
	15日(金)	10:00~15:50		
磁気記録・情報ストレージ	15日(金)	13:00~17:25	早稲田大学・研究開発センター	8
有機エレクトロニクス 光エレクトロニクス	22日(金)	13:00~17:55	機械振興会館	9
マイクロ波・ミリ波フォトンクス	29日(金)	13:25~16:55	鉄道総合技術研究所	11
電磁界理論	14日(木)	9:30~17:25	星野リゾート青森屋	13
	15日(金)	9:30~18:10		
	16日(土)	9:30~11:35		
電子デバイス 電子部品・材料 レーザー・量子エレクトロニクス	28日(木) 29日(金)	10:30~17:30 9:30~17:10	大阪大学・吹田キャンパス・理工学図書館 ホール	22
マイクロ波	21日(木)	9:30~16:35	鹿児島県文化センター	32
	22日(金)	9:30~16:15		
電子部品・材料 集積回路 VLSI設計技術 コンピュータシステム ディペンダブルコンピューティング リコンフィギャラブルシステム	27日(水) 28日(木) 29日(金)	8:50~16:50 8:30~18:00 8:30~15:00	鹿児島県文化センター・宝山ホール	33
機構デバイス	16日(土)	8:15~18:05	华中科技大学(中国・武漢市)	37
	17日(日)	8:00~18:40		

11月休会の研究会;超伝導エレクトロニクス,エレクトロニクスシミュレーション

◎情報・システムソサイエティ

研究会名	日時		会場	告頁
情報論的学習理論と機械学習	11日(月)	13:30~17:00	東京工業大学・蔵前会館	6
	12日(火)	10:00~18:45		
	13日(水)	10:00~18:45		
ソフトウェアインタプライズモデリング	29日(金)	11:00~16:50	東京工芸大学・中野キャンパス	11
教育工学	22日(金)	10:00~16:45	会津大学	15
MEとバイオサイバネティクス ニューロコンピューティング	22日(金)	10:00~16:25	東北大学・大学院・情報科学研究科・青葉 山キャンパス	16
	23日(土)	9:30~12:10		
ライフインテリジェンスとオフィス情報システム 情報セキュリティ	28日(木)	13:30~17:05	東北大学・青葉山キャンパス・青葉記念会館	17
	29日(金)	10:30~15:25		
音 声	21日(木)	14:00~17:15	奈良先端科学技術大学院大学	21
	22日(金)	10:15~15:00		
医用画像	7日(木)	9:30~16:50	広島市立大学・講堂小ホール	24
コンピュータシステム	8日(金)	9:00~18:05	広島大学・東広島キャンパス・広島大学学 士会館	25
マルチメディア情報ハイディング・エンリッチメント 応 用 音 響	14日(木)	13:00~18:00	県立広島大学・サテライトキャンパスひろしま	25
	15日(金)	9:15~17:45		
知能ソフトウェア工学	1日(金)	13:30~17:50	愛媛大学・城北キャンパス・校友会館	28
	2日(土)	9:30~14:15		
情報通信システムセキュリティ	12日(火)	13:00~16:30	西新プラザ	29
画 像 工 学	25日(月)	14:00~16:30	久留米工業高等専門学校	33
	26日(火)	9:00~12:10		

コンピュータシステム ディペンダブルコンピューティング リコンフィギャラブルシステム VLSI 設計技術 電子部品・材料 集積回路	27日(水) 28日(木) 29日(金)	8:50~16:50 8:30~18:00 8:30~15:00	鹿児島県文化センター・宝山ホール	33
人工知能と知識処理	28日(木) 29日(金)	13:00~17:20 10:00~16:10	九州大学・伊都キャンパス	36
今後の予定; パターン認識・メディア理解 (39 ページ)				
11 月休会の研究会; 言語理解とコミュニケーション, コンピューテーション, ソフトウェアサイエンス, データ工学, パターン認識・メディア理解, クラウドネットワークロボット, サービスコンピューティング				

◎ヒューマンコミュニケーショングループ

研究会名	日 時	会 場	告 頁	
ヒューマン情報処理	19日(火) 20日(水)	13:00~17:05 10:05~15:55	東北大学・電気通信研究所	14
ヒューマンコミュニケーション基礎	9日(土)	9:30~17:20	大阪大学・豊中キャンパス・オレンジジョップ	20
11 月休会の研究会; マルチメディア・仮想環境基礎, 福祉情報工学				

◇第二種研究会開催案内

第 52 回機能集積情報システム研究会	11 月 8 日(金)	山口大学・常盤キャンパス・工学部本館	40
第 2 回 IBISML チュートリアル	11 月 10 日(日), 11 日(月)	東京工業大学・蔵前会館	41
平成 25 年度第 3 回医療情報通信技術研究会	11 月 18 日(月)	京都工芸繊維大学・松ヶ崎キャンパス	41
第 6 回情報ネットワーク科学研究会	11 月 22 日(金)	関西学院大学・大阪梅田キャンパス	41
第 27 回光通信システムシンポジウム	12 月 12 日(木), 13 日(金)	東レ総合研修センター	41

◇第二種研究会発表募集案内

第 3 回ネットワークソフトウェア (NWS) 研究会	1 月 23 日(木), 24 日(金)	名古屋国際センター	42
-----------------------------	----------------------	-----------	----

会告欄は本会ホームページからも御覧になれます。
<http://www.ieice.org/jpn/kaikoku/kaikoku.html>
 (本会ホームページ→各種お知らせ→会告・通知)

※平成 26 年 1 月号から会告・通知欄は、一部内容を除き本会ホームページのみの掲載となります。

★電子ディスプレイ研究会 (EID)

専門委員長 木村 睦 副委員長 志賀智一・小南裕子
幹事 伊達宗和・山口雅浩
幹事補佐 山口留美子・山口 一・新田博幸・小澤史朗・
中田 充

日時 11月7日(木) 10:00~16:40

会場 江戸東京博物館ホール(墨田区横網1-4-1, JR総武線:
両国駅西口徒歩3分, 都営地下鉄大江戸線:両国駅(江戸東京
博物館前)A4出口徒歩1分, <http://www.edo-tokyo-museum.or.jp>)

議題 高臨場感ディスプレイフォーラム2013

1. [招待講演] 電子ホログラフィと裸眼200インチ3Dディスプレイ 山本健詞(NICT)
 2. [招待講演] 高臨場感単眼ヘッドアップディスプレイ 奥村治彦(東芝)
 3. [招待講演] 多指向映像表現技術 小澤史朗(NTT)
- 午後(13:40~)
4. [招待講演] 最新プラネタリウム技術の可能性 半澤 衛(クリスティエデジタル)
 5. [招待講演] 立体映像技術の眼科領域への応用事例 半田知也(北里大)
 6. [招待講演] 高臨場感技術の応用展開に向けて 神部勝之(ソッドレイ研)
 7. [招待講演] プロジェクションマッピングの最新技術動向 吉田ひさよ(クリスティエデジタル)

◆電気学会;電子デバイス技術委員会インタラクティブディスプレイ協同研究委員会,映像情報メディア学会;映像表現&コンピュータグラフィックス研究会/情報ディスプレイ研究会/立体映像技術研究会連催,画像電子学会;企画委員会,日本バーチャリアリティ学会共催.映像情報メディア学会;メディア工学研究委員会, SID日本支部,画像電子学会;多次元画像研究委員会,芸術科学会,3Dコンソーシアム,三次元映像のフォーラム,照明学会;固体光源分科会,電子情報通信学会;画像工学研究専門委員会,日本映画テレビ技術協会,日本液晶学会,日本光学会;ホログラフィックディスプレイ研究会,立体映像産業推進協議会,超臨場感コミュニケーション産学官フォーラム協賛(予定を含む)

◎12:10~13:40 講演者と展示参加企業によるデモ展示を,研究会終了後,懇親会(有料)を予定しています.

◎タイトル,開始時刻,講演順は変更になることがあります.最新情報は共催/連催学会のホームページで御確認下さい.

【問合先】

犬塚達基(日立)
E-mail: tatsuki.inuzuka.ey@hitachi.com

★フォトニックネットワーク研究会 (PN)

専門委員長 坂野寿和
副委員長 荒木壮一郎・戸出英樹・大木英司
幹事 長谷川 浩・荒川伸一 幹事補佐 品田 聡・釣谷剛宏

日時 11月11日(月) 14:00~17:15
12日(火) 10:00~11:40

第一種研究会開催案内

会場 早稲田大学西早稲田キャンパス63号館2階会議室(新宿区大久保3-4-1, 東京メトロ副都心線:西早稲田駅下車徒歩3分, <http://www.waseda.jp/jp/campus/nishiwaseda.html>)

議題 IPバックボーンネットワーク, MPLS, GMPLS, フォトニックネットワーク及び一般

11日

1. ノンブロッキング8x8 InAlGaAs/InAlAs マツハツェンダ型光スイッチ ○瀧澤博岐・川崎祥子・小山慶晃(早大)・武井亜紀・谷口隆文(日立)・松島裕一・宇高勝之(早大)
2. 光パススイッチによる入力波長変化に起因するWDM AGC EDFA利得オフセット変動 ○石井紀代・来見田淳也・並木 周(産総研)
3. Wavelength Resource Allocation for Optical Path/Package Intergrated Networks ○Onur Alparlan・Shin'ichi Arakawa・Masayuki Murata(Osaka Univ.)
4. 広域同期型光スイッチ網における長フレーム周期設計手法の検討 ○原 直也・岡本佳祐・高橋達郎(京大)
5. 広域同期型光スイッチ網における要求帯域増加時の再割り当て手法の検討 ○楠田孝広・高橋達郎(京大)
6. [招待講演] 高集積Siトランスポンダアグリゲータと複数待機モードを有するトランスポンダを用いた光カットスルーノードシステムによる省電力効果の検討 ○水谷健二・竹下仁士・池松龍一・田島章雄(NEC)・石井紀代・来見田淳也・並木 周(産総研)

12日

1. アトラクター選択にもとづく仮想網制御の実証実験 ○小泉佑揮・荒川伸一(阪大)・鎌村星平・鳥崎大作・笹山浩二(NTT)・村田正幸(阪大)
2. Preventive Start-Time Optimization Considering both Failure and Non Failure Scenarios ○Stephane Kaptchouang・Eiji Oki(Univ. of Electro-Comm.)
3. グラフトランスフォーメーション技術を用いたマルチテクノロジー光トランスポートネットワーク設計 ○角田聖也・釣谷剛宏(KDDI研)
4. 光パケット・光パス統合ネットワークとOpenFlowネットワークの連携制御機構の実証実験 ○宮澤高也・古川英昭・和田尚也・原井洋明・大槻英樹・河合榮治(NICT)

☆PN研究会今後の予定 []内発表申込締切日

1月23日(木), 24日(金) 同志社大(今出川) [11月1日(金)] テーマ:光-無線融合NW, 新周波数(波長)帯デバイス, フォトニックNW・デバイス, フォトニック結晶, ファイバとその応用, 光集積回路, 光導波路素子, 光スイッチング, 導波路解析, 一般

【発表申込先】 下記研究会発表申込システムからお申込み下さい.
<http://www.ieice.org/jpn/ken/kenmoushikomi.html>

【問合先】

長谷川 浩(名大)
TEL [052] 789-4423, FAX [052] 789-3641
E-mail: hasegawa@nuee.nagoya-u.ac.jp
荒川伸一(阪大)
TEL & FAX [06] 6879-4542
E-mail: arakawa@ist.osaka-u.ac.jp

★情報論的学習理論と機械学習研究会 (IBISML)

専門委員長 上田修功 副委員長 鷲尾 隆・樋口知之
幹事 杉山 将・井手 剛 幹事補佐 持橋大地・大羽成征

日時 11月11日(月) 13:30~17:00
12日(火) 10:00~18:45
13日(水) 10:00~18:45

会場 東京工業大学蔵前会館

議題 第16回情報論的学習理論ワークショップ

11日 企画セッション:ビッグデータ時代に機械学習研究者は
何をすべきか

12日午前 企画セッション:ディープラーニング

12日午後 招待講演(13:30~)

1. [招待講演] 未定 Ruslan Salakhutdinov (Univ. of Toronto)

2. [招待講演] 未定 五十嵐健夫 (東大)

スポットライト&ポスターセッションA (15:45~18:45)

3. [ポスター講演] 最急降下法とMCMC法による情報量規準
WBICに基づく階層型ニューラルネットワークのモデル選択

○玉井雄介・渡辺澄夫 (東工大)

4. [ポスター講演] Global Solvers for Variational Bayesian
Low-rank Subspace Clustering

○Shinichi Nakajima (Nikon)・

Akiko Takeda (Univ. of Tokyo)・S. Derin Babacan (Google)・

Masashi Sugiyama (Tokyo Inst. of Tech.)・

Ichiro Takeuchi (Nagoya Inst. of Tech.)

5. [ポスター講演] 事例間の距離に応じた重要度の付与による
ノイズ耐性を考慮したブースティング手法

○藤田慎二郎・亀井清華・藤田 聡 (広島大)

6. [ポスター講演] ヒンジ損失最小化におけるセーフサンプル
スクリーニングルール

○小川晃平・川本大和・鈴木良規・

竹内一郎 (名工大)

7. [ポスター講演] バイズ最適な dictionary learning の統計力
学

○坂田綾香・樺島祥介 (東工大)

8. [ポスター講演] Dependency Network 対 Bayesian Network
性能比較

○高島一哉・赤穂昭太郎 (産総研)

9. [ポスター講演] 最適化に基づく多変量二標本検定とその高
速化

○新村祐紀・齋田裕介・竹内一郎 (名工大)

10. [ポスター講演] スパース加法モデルに基づく条件付き確率
推定法

○志賀元紀 (豊橋技科大)・杉山 将 (東工大)

11. [ポスター講演] k-重交差検証法による改定 IP-OLDF と
S-SVM, LDF, ロジスティック回帰の評価

新村秀一 (成蹊大)

12. [ポスター講演] パラメトリック計画法によるロバストサ
ポートベクター回帰の非凸最適化法

○鈴木真矢・

竹内一郎 (名工大)・杉山 将 (東工大)

13. [ポスター講演] 類似検索結果の開示におけるプライバシ保
護のためのクエリ監査法

○荒井ひろみ (理研)・

津田宏治 (産総研)・佐久間 淳 (筑波大)

14. [ポスター講演] 運動想起型 BCI のための被験者間共通空
間パターンフィルタ

○横田達也・山下幸彦 (東工大)

15. [ポスター講演] レプリカ解析を用いたシャープ比の典型値
評価

新里 隆 (秋田県立大)

16. [ポスター講演] Predicting Protein Complexes by Sampling
More Accurately and Efficiently

Chasanah Kusumastuti Widita・

○Osamu Maruyama (Kyushu Univ.)

17. [ポスター講演] 複数行列の行列分解に関する一考察

○幸島匡宏・江崎健司・高屋典子・澤田 宏 (NTT)

18. [ポスター講演] Support vector comparison machines

○Toby Dylan Hocking・Supaporn Spanurattana・

Masashi Sugiyama (Tokyo Inst. of Tech.)

19. [ポスター講演] 行列因子分解を用いた時系列試験結果から
の潜在スキル構造の抽出

○大枝真一・天野恵理子 (木更津高専)・山西健司 (東大)

13日午前 企画セッション:脳・画像・ロボットと機械学習

13日午後 企画セッション:学習理論

スポットライト&ポスターセッションB (15:45~18:45)

1. [ポスター講演] Computationally Efficient Estimation of
Squared-loss Mutual Information with Multiplicative Kernel
Models

○Tomoya Sakai・

Masashi Sugiyama (Tokyo Inst. of Tech.)

2. [ポスター講演] 状態遷移確率と報酬確率の転移による強化
学習のサンプル量の削減

○小國晃太・成澤和志・

篠原 歩 (東北大)

3. [ポスター講演] Estimating non-Gaussian components and
dependence structures

○Hiroaki Sasaki (Univ. of Electro-Comm.)・

Michael U. Gutmann (Univ. Helsinki)・

Hayaru Shouno (Univ. of Electro-Comm.)・

Aapo Hyvarinen (Univ. Helsinki)

4. [ポスター講演] カーネル平均埋め込みによる分布統計量の
計算一密度関数, 信頼区間, モーメント推定への応用一

○金川元信 (総研大)・福水健次 (統計数理研)

5. [ポスター講演] Gaussian Sparse Hashing

○鈴木幸一郎・

安倍 満・佐藤育郎 (アソビ IT ラボ)

6. [ポスター講演] 音楽音響信号解析のためのガンマ過程に基
づく無限半正定値テンソル分解

○吉井和佳 (産総研)・

富岡亮太 (東大)・持橋大地 (統数研)・後藤真孝 (産総研)

7. [ポスター講演] 確率的偏正準相関分析

○椋田悠介・

原田達也 (東大)

8. [ポスター講演] 高次統計量の誤差分布推定による独立成分
分析の改良

○松田源立・山口和紀 (東大)

9. [ポスター講演] 機器個別消費電力の把握を目的とした半教
師付き NMF の応用

○藤本 悠・大久保直樹・

林 泰弘 (早大)・杉山好正・緒方司郎 (丸の内)

10. [ポスター講演] 交換モンテカルロ法を用いた変数選択問題
における解の効率的な全数探索

○永田賢二 (東大)・

北園 淳 (JST)・中島伸一 (ニコ)・

永福智志 (福島県立医科大)・田村了以 (富山大)・

岡田真人 (東大)

11. [ポスター講演] 変分バイズによる混合 Normal Inverse
Gaussian 分布モデルのクラスタリング

竹川高志 (工学院大)

12. [ポスター講演] 関係データ解析のための長方形分割過程

○中野允裕・石黒勝彦・木村昭悟・山田武士・

上田修功 (NTT)

13. [ポスター講演] 交互方向乗数法を用いた確率的対対座標降
下法

鈴木大慈 (東工大)

14. [ポスター講演] 逐次学習のためのスクリーニングルール

○鈴木良規・奥村翔太・小川晃平・竹内一郎 (名工大)

15. [ポスター講演] 能動騒音制御の統計力学的解析

○藤原 玲・梶川嘉延・三好誠司 (関西大)

16. [ポスター講演] Learning Common Features of Parame-

trized Tasks

○Ichiro Takeuchi・

Tatsuya Hongo (Nagoya Inst. of Tech.)・
Masashi Sugiyama (Tokyo Inst. of Tech.)・
Shinichi Nakajima (Nikon)

植松真司 (慶大)

◎11月10日, 11日午前に第2回IBISチュートリアルが開催されます。

◎本研究会は参加費無料ですが, 第2回IBISチュートリアルとは別に参加申込が必要です。

★電子ディスプレイ研究会 (EID)

専門委員長 木村 睦 副委員長 志賀智一・小南裕子
幹事 伊達宗和・山口雅浩
幹事補佐 山口留美子・山口 一・新田博幸・小澤史朗・
中田 充

日時 11月12日(火) 13:00~16:40

会場 機械振興会館地下2階1号室(港区芝公園3-5-8, 東京メトロ日比谷線: 神谷町駅下車徒歩10分, JR: 浜松町駅下車徒歩20分, 都営地下鉄三田線: 御成門駅・大江戸線: 赤羽橋駅下車徒歩10分。http://www.jcmanet.or.jp/gaiyo/map_kaikan.htm TEL [03] 3434-8211)

議題 IMID2013/Eurodisplay2013 報告会

1. IMID2013 報告—OLED— 中村一希 (千葉大)
2. IMID2013 報告—3D— 堀越 力 (NTTドコモ)
3. IMID2013 報告—Display Circuit, Systems and Applications の研究動向— 奥村治彦 (東芝)
4. IMID2013 報告—Session 31 Organic TFT での発表論文に関する紹介— 半那純一 (東工大)
- EID-5. EuroDisplay 2013 報告—液晶技術— 山口留美子 (秋田大)
- EID-6. EuroDisplay2013 報告—プロジェクションディスプレイ関連技術— 長瀬章裕 (三菱電機)
- EID-7. EuroDisplay2013 報告—OLED & Flexible Device— 本村玄一 (NHK)
- EID-8. EuroDisplay2013 報告—3D Displays— 石鍋隆宏 (東北大)

◆映像情報メディア学会; 情報ディスプレイ研究会連催, 照明学会; 固体光源分科会, SID 日本支部共催

☆EID 研究会今後の予定 [] 内発表申込締切日

1月24日(金), 25日(土) 新潟大駅南キャンパス [締切済]
テーマ: 発光型/非発光型ディスプレイ合同研究会

★シリコン材料・デバイス研究会 (SDM)

専門委員長 奈良安雄 副委員長 大野裕三
幹事 笹子佳孝 幹事補佐 黒田理人

日時 11月14日(木) 10:00~16:40

15日(金) 10:00~15:50

会場 機械振興会館地下2階1号室

議題 プロセス・デバイス・回路シミュレーション及び一般

14日午前

1. [招待講演] 2013 SISPAD レビュー—輸送, 信頼性— 森 伸也 (阪大)
2. [招待講演] 2013 SISPAD レビュー—併設ワークショップ1—

第一種研究会開催案内

14日午後

3. [招待講演] 計算科学に基づく電子デバイス設計の現状 白石賢二 (名大)
4. 低温 RTA における Si 中の S の挙動と S₂ 形成の原子レベルシミュレーション ○金村貴永・加藤弘一・谷本弘吉・青木伸俊・豊島義明 (東芝)
5. 窒化シリコン中の窒素空孔に導入された元素が電子トラップ準位に与える影響 ○園田賢一郎・佃 栄次・谷沢元昭・石川清志・山口泰男 (ルネサス エレクトロニクス)
6. [招待講演] シリコントライゲートナノワイヤトランジスタの低周波ノイズ特性解析 ○齋藤真澄・太田健介・田中千加・沼田敏典 (東芝)
7. [招待講演] 量子エネルギー輸送モデルを用いた先端 MOS-FET シミュレーション ○鍾 菁廣・小田中紳二 (阪大)

15日午前

1. シリコンナノワイヤトランジスタの解析的ドレイン電流モデルとデバイス設計 ○田中千加・萩島大輔 (東芝)・内田 建 (慶大)・沼田敏典 (東芝)
2. DIBL 効果を取り入れた弾道・準弾道 GAA-MOSFET のコンバクトモデル ○程 賀 (名大)・宇野重康 (立命館大)・中里和郎 (名大)
3. Pt/TiO₂/Pt 系の抵抗変化現象の物理モデルとシミュレーションによる検証 近藤祐介・○大村泰久 (関西大)
4. Double-gate Lateral Tunnel FET のデバイスモデル 大村泰久・○佐藤大貴・佐藤伸吾 (関西大)・アブジト マリック (カルカッタ大)

15日午後

5. ジャンクションレストランジスタにおける NEGF 法を用いたデバイスシミュレーション—不純物散乱と遮蔽の影響の考察— ○植田暁子 (筑波大)・Mathieu Luisier (チューリッ工科大)・本多周太・吉田勝尚・佐野伸行 (筑波大)
6. ウィグナー-モンテカルロ法を用いた極微細 III-V MOSFET の量子輸送解析 ○大森正規・木場隼介・前川容佑 (神戸大)・土屋英昭 (神戸大/JST)・鎌倉良成・森 伸也 (阪大/JST)・小川真人 (神戸大)
7. モンテカルロ法を用いた Si ナノ構造の熱電変換性能に関する解析 ○インドラ スル アデイスシロ・久木田健太郎 (阪大)・鎌倉良成 (阪大/JST)
8. MOSFET の 1/f 雑音における Hooge パラメータの統合モデル 大村泰久 (関西大)
9. チャネルインプラによるランダム・テレグラフ・ノイズの変調及び移動度向上によるノイズ低減の検討 ○陳 杰智・東 悠介・平野 泉・三谷祐一郎 (東芝)
10. MOSFET の実効チャネル長の再考 ○寺田和夫・讚井和彦・辻 勝弘 (広島市大)

◆応用物理学会共催

【問合先】

園清辰也 (ルネサス エレクトロニクス)

TEL [072] 787-2408, FAX [072] 789-3438

E-mail : tatsuya.kunikiyo.zn@renesas.com

★磁気記録・情報ストレージ研究会 (MR)

専門委員長 杉田龍二

幹事 稲葉信幸・小出大一 幹事補佐 白鳥聡志・神邊哲也

日時 11月15日(金) 13:00~17:25

会場 早稲田大学研究開発センター 120-5号館先端科学・健康医療融合研究機構(ASMeW)1階121会議室(新宿区早稲田鶴巻町513。JR高田馬場駅より徒歩25分。都バス早大正門より徒歩2分。地下鉄東西線:早稲田駅より徒歩3分。都電荒川線:早稲田駅より徒歩8分。http://www.all-nano.waseda.ac.jp/forum_2/img/2010_ASMeW_map.pdf 朝日 透)

議題 ハードディスクドライブ, 一般

MR-1. 鉄白金ナノ粒子の単層規則配列形成に向けた塗布成膜条件の最適化 ○蜂巢琢磨・四反田 卓・相川健一郎・藤平誉樹・杉山敦史・水野 潤・庄子習一・逢坂哲彌(早大)

MR-2. 電気化学的手法による超高記録密度強磁性ナノドットアレイの形成及び析出挙動の解析 ○ヴォダグツ ジギー・間庭佑太・萩原弘規・大谷智博・西家大貴(早大)・Givanni Zangari(UVA)・本間敬之(早大)

3. データストレージ用磁気テープの長期実保存安定性

○片山和俊・珍田裕佳・清水 治・鈴木真由美・野口 仁(富士フイルム)

MR-4. [招待講演] 磁気記録密度向上のためのMEMSの応用 藤田博之(東大)

MR-5. Si/NiFe 配向制御層と擬似二層構造 Ru 中間層を用いたグラニューラ媒体の特性向上 ○酒井秀忠・佐縁馬 岳・中川茂樹(東工大)

MR-6. 大きな垂直磁気異方性を持つ Co フェライト薄膜の成長と特性—新しい磁気記録媒体の提案— 喜多英治(筑波大)

MR-7. 高 TPI 記録に対応したサイドシールドつき Reader の検討 ○上杉卓己・町田貴彦・三浦 聡・出川直通・山根健量・大田 実・牧野健三・河崎昇平・羽立 等・西澤孝行・金谷貴保・加々美健朗・大池太郎(TDK)

MR-8. 高周波アシスト記録ヘッドでの STO 発振

○山田健一郎・清水真理子・村上修一・岩崎仁志・高岸雅幸・鴻井克彦・竹尾昭彦(東芝)

MR-9. 磁性/非磁性薄膜における表面プラズモンの磁気応答

○芦澤好人・立川 徹・成瀧和樹・中川活二(日大)

◆映像情報メディア学会; マルチメディアストレージ研究会連催 IEEE CE Soc. Japan Chapter 共催

◎研究会終了後、懇親会を開催致します。奮って御参加下さい。

☆MR 研究会今後の予定 [] 内発表申込締切日

12月12日(木), 13日(金) 愛媛大[締切済] テーマ: 信号処理, 一般

◎最新情報は, MR 研究会ホームページを御覧下さい。

http://www.ieice.org/es/mr/jpn/index.html

★安全性研究会 (SSS)

専門委員長 平尾裕司

幹事 木村昌臣・鈴木喜久 幹事補佐 佐藤吉信・高橋 聖

日時 11月21日(木) 13:00~17:00

会場 芝浦工業大学芝浦キャンパス(港区芝浦3-9-14。JR山手線・京浜東北線:田町駅芝浦口から徒歩3分。都営地下鉄・三田線・浅草線:三田駅から徒歩5分。http://www.shibaura-

it.ac.jp/access/)

議題 消費者の安全問題を主として

1. 消費者の立場からの消費者安全 佐野真理子(主婦連)

2. 事故報道と事故調査報道の課題 鶴岡憲一

3. お客様に一番近い小売店だからできること—メーカーと消費者とともに築く「安全・安心社会」— 宇野昌浩(ビックカメラ)

4. 消費者安全調査委員会の1年 小堀厚司(消費者庁)

5. 国民生活センター, 消費者センターの活動 鎌田 環(国民生活センター)

6. (独)製品評価技術基盤機構(NITE)の活動—製品安全対策の現状と課題— 高杉和徳(NITE)

☆SSS 研究会今後の予定 [] 内発表申込締切日

12月19日(木) 明大[未定] テーマ: エネルギーの安全問題を主として

【問合先】

木村昌臣(芝浦工大工学部情報工学科)

TEL & FAX [03] 5859-8507

E-mail: masaomi@shibaura-it.ac.jp

★環境電磁工学研究会 (EMCJ)

専門委員長 多氣昌生 副委員長 曾根秀昭

幹事 王 建青・秋山佳春 幹事補佐 平井義人・肖 鳳超

日時 11月22日(金) 13:00~17:35

会場 東京電機大学東京千住キャンパス 100周年ホール(足立区千住旭町5。北千住駅東口(電大入口)から徒歩1分。http://web.dendai.ac.jp/access/tokiyosenju.html TEL [03] 5284-5510 小林岳彦)

議題 EMC, 一般

1. IEC 規格に則った小型制御基板への ESD 試験に関する検討

○季 承・安在大祐・王 建青(名工大)・森 育子(鈴鹿高専)・藤原 修(名工大)

2. 車載機器の等価回路化による伝導ノイズ解析手法の検討

○鳥越 誠・土江慶幸・矢作保夫・大坂英樹(日立)・稲垣隆之(日立オートモティブ)

3. 導電性誘電体細線列による平面波透過抑圧効果について

○越後 宏(東北学院大)・相澤和夫

4. MIMO アンテナシステムの電波ばく露評価における電界合成法

○東山潤司・垂澤芳明(NTTドコモ)

5. 90°ハイブリッドコプラを有するマイクロストリップ両偏波パッチアンテナの FDTD 法によるシミュレーションと性能評価

○安達友紀・安齋弘樹(鶴岡高専)

6. 半波長ダイポールアンテナ近傍の空間インピーダンス近似計算法と電界強度推定への応用

○中山 勝・小林岳彦(東京電機大)

7. 印加電磁妨害波に対する VDSL 子機の通信・電源ポートへの影響

○奥村 拓・桑原伸夫(九工大)・奥川雄一郎・秋山佳春(NTT)

8. 差動線路の屈曲部のモード等価回路表現

○豊田啓孝・菅 翔平・五百旗頭健吾(岡山大)・渡辺哲史(岡山県工技センター)

9. [特別講演] 意図的 EMI (IEMI) とその対策技術 小林岳彦(東京電機大)

◆IEEE EMC Society Sendai Chapter 協賛

☆EMCJ 研究会今後の予定 [] 内発表申込締切日

12月20日(金) デンソー〔締切済〕テーマ：電力，生体，EMC，一般

1月30日(木)，31日(金) 佐賀大〔11月8日(金)〕テーマ：通信，無線電力伝送，EMC，一般

2月 休会

【発表申込先】 下記研究会発表申込システムからお申込み下さい。

<http://www.ieice.org/jpn/ken/kenmoushikomi.html>

【問合せ先】

肖 鳳超 (電通大情報・通信工学科電子情報システムコース)

〒182-8585 調布市調布ヶ丘1-5-1

TEL & FAX [042] 443-5234

E-mail: emcj@mail.ieice.org

★電子通信エネルギー技術研究会 (EE)

専門委員長 庄山正仁 副委員長 大津 智

幹事 石塚洋一・馬場崎忠利 幹事補佐 山下暢彦

日時 11月22日(金) 13:00~15:30

会場 機械振興会館地下1階2号室

議題 回路・制御技術関連，一般

1. リプルレギュレータの解析法 ○織部鉄也・佐藤輝被・西嶋仁浩・鍋島 隆 (大分大)
2. 高い電圧降圧比を有するPWMスイッチトキャパシタコンバータ 鶴野将年 (JAXA)
3. 双方向DAB DC-DCコンバータの軽負荷時における電力効率の改善 高峯美香 (長崎大)
4. スケーラビリティ性を備えたバッテリーサーバシステムの構築 石橋義人 (ソニーコンピュータサイエンス研)・○稲森真美子 (東海大)
5. 双方向DC-DCコンバータを用いたEDLCとバッテリーによる直流給電システム ○川地光之輔・Husam A. Ramadan・梁 時熏・庄山正仁 (九大)

◆IEEE Power Electronics Society Japan 共催

【問合せ先】

山下暢彦 (NTT 環境エネルギー研究所)

TEL [0422] 59-4222, FAX [0422] 59-5682

E-mail: yamashita.nobuhiko@lab.ntt.co.jp

★有機エレクトロニクス研究会 (OME)

専門委員長 加藤景三 副委員長 松田直樹

幹事 森 竜雄・瀧本 清 幹事補佐 鴻野晃洋・井上振一郎

★光エレクトロニクス研究会 (OPE)

専門委員長 山田博仁 副委員長 鈴木扇太

幹事 橋本俊和 幹事補佐 荒川太郎・中川剛二

日時 11月22日(金) 13:00~17:55

会場 機械振興会館地下3階2号室

議題 光機能性有機材料・デバイス，光非線形現象，一般

1. [招待講演] 有機フォトリソグラフィの自己組織化とアクティブレーザーへの展開 古海誓一 (物産機構)
2. 単一有機分子の発光制御を実現するナノ光デバイスの創出 ○梶 貴博・山田俊樹・上田里永子・井上振一郎・大友 明 (NICT)
3. フレキシブル色素増感太陽電池用 ZnO 系光電極の低温プロセス

第一種研究会開催案内

ス化 ○神谷真司・大場暁海・町田航太・山内 博・國吉繁一・酒井正俊・飯塚正明 (千葉大)・渡邊康之 (諏訪東京理科大)・工藤一浩 (千葉大)

4. インピーダンス分光法による低分子系有機光電変換素子の特性制限要因の解析 ○柴 瀛・村山龍平・小島広孝・松原亮介・中村雅一 (奈良先端大)

5. [招待講演] ウルトラフレキシブル有機エレクトロニクス ○横田知之・関谷 毅・染谷隆夫 (東大)

6. 配向性有機薄膜における異方的キャリア輸送の直接観測 ○間中孝彰・安部健太郎・松原幸平・岩本光正 (東工大)

7. 短共振器モード同期ファイバレーザにおける分散・非線形性・可飽和吸収の影響の解析 ○長谷川雄大・山下真司 (東大)

8. [招待講演] 印刷的手法と有機材料を利用したマイクロレーザシステム構築法 興 雄司 (九大)

9. ポリマー3次元光インターコネクションスイッチング回路の多ポート化の検討 ○小林久也・若松果奈・松島裕一・宇高勝之 (早大)

10. インプリント法を用いた低損失・低クロストーク GI 型ポリマー光導波路回路の作製 ○山下洋平・石樽崇明 (慶大)

☆OME 研究会今後の予定 [] 内発表申込締切日

12月17日(火) 機械振興会館〔締切済〕テーマ：電池，電気化学，表面修飾，触媒，界面その場測定，キャパシタ

【問合せ先】

森 竜雄 (愛工大)

E-mail: t2mori@aitech.ac.jp

瀧本 清 (キヤノン)

E-mail: takimoto.kiyoshi@canon.co.jp

井上振一郎 (NICT)

E-mail: s_inoue@nict.go.jp

☆OPE 研究会今後の予定 [] 内発表申込締切日

12月20日(金) 機械振興会館〔締切済〕テーマ：光パッシブコンポーネント (フィルタ，コネクタ，MEMS)，シリコンフォトニクス，一般

1月23日(木)，24日(金) 同志社大 (今出川) [11月1日(金)] テーマ：光-無線融合 NW，新周波数 (波長) 帯デバイス，フォトリソグラフィ NW・デバイス，フォトリソグラフィ結晶，ファイバとその応用，光集積回路，光導波路素子，光スイッチング，導波路解析，一般

2月27日(木)，28日(金) 沖縄ポートホテル [11月29日(金)] テーマ：光波センシング，光波制御・検出，光計測，ニューロ，光ファイバ (ホーリーファイバ，マルチコアファイバ等含む) 伝送とファイバ光増幅・接続技術，光ファイバ計測応用，一般

【発表申込先】 下記研究会発表申込システムからお申込み下さい。

<http://www.ieice.org/jpn/ken/kenmoushikomi.html>

【問合せ先】

橋本俊和 (NTT フォトニクス研究所)

〒243-0198 厚木市森の里若宮 3-1

TEL [046] 240-2044, FAX [046] 240-2365

E-mail: hashimoto.toshikazu@lab.ntt.co.jp

荒川太郎 (横浜国大)

〒240-8501 横浜市保土ヶ谷区常盤台 79-5

TEL [045] 339-4143, FAX [045] 338-1157

E-mail: arakawa@ynu.ac.jp

中川剛二 (富士通研)

〒211-8588 川崎市中原区上小田中 4-1-1
TEL [044] 754-2643, FAX [044] 754-2640
E-mail : gnakagawa@jp.fujitsu.com

◎OPE 研究会ホームページ

<http://www.ieice.or.jp/es/ope/>

◎OPE 研究会では、H18 年度より「学生優秀研究賞」を新設しました。学生の方の発表の中から特に優れた研究を表彰致しますので、積極的な御投稿をお待ちしています。詳細は研究会 HP を御覧下さい。

★知的環境とセンサネットワーク研究会 (ASN)

専門委員長 大槻知明 副委員長 渡辺 尚・張 兵

幹事 山本高至・猿渡俊介

幹事補佐 関屋大雄・門田和也・山本 淳

日時 11 月 28 日 (木) 10:00~18:00

29 日 (金) 9:20~16:40

会場 機械振興会館地下 3 階研修 1 号室, 研修 2 号室 (28 日のみ)

議題 知的環境, センサネットワーク, スマート建築, スマートシティ, 構造モニタリング, ゼロエネルギービルディング, 一般
28 日午前 ポスターセッション (研修 2 号室)

1. [ポスター講演] 社会インフラ・産業向けアプリケーションのためのマルチホップ無線ネットワーク技術の研究開発
○副島達矢・五十嵐悠一・松浦芳樹・高谷幸宏 (日立)
2. [ポスター講演] IEEE1888 拡張規格を用いた EMS のアクセス制御方式の改良 赤井和幸・○荒川 豊・福田富美男・古川嘉識 (NTT コムウェア)・峰野博史 (静岡大)・落合秀也・江崎 浩 (東大)
3. [ポスター講演] 管理外のアクセスポイント利用による屋内測位手法の提案 ○成松宏美・水野 理・小川智明・北村和夫 (NTT)
4. [ポスター講演] 社会インフラ向け大規模無線マルチホップネットワークに関する検討と実証実験 ○中野 亮・原田 諭・五十嵐悠一・佐藤弘起・門田和也 (日立)
5. [ポスター講演] 複数モデルを利用したホームシミュレータの設計と開発 ○牧野義樹 (NICT)・グェン ホアイソン・岡田 崇・丹 康雄 (北陸先端大)
6. [ポスター講演] リアルタイムなネットワークトポロジとパケットフローの可視化機能を実装した MANET の実証実験試験システムの設計と構築 ○筒井悠史・高本恭子・大田知行・角田良明 (広島市大)
7. [ポスター講演] 通常の位置推定法が使えない環境での位置推定の実現に関する研究—到来時間を使ったアプローチ—
○渡瀬勇氣・原 晋介 (阪市大)
8. [ポスター講演] 通常の位置推定法が使えない環境での位置推定の実現に関する研究—受信電力を使ったアプローチ—
○大川敬祐・原 晋介 (阪市大)
9. [ポスター講演] アレーセンサを用いたデバイスフリー屋内位置推定 ○洪 志勲・大槻知明 (慶大)
10. [ポスター講演] Library development for rapid prototyping of ECHONET Lite devices and applications
○Marios Sioutis・Yoshiki Makino・Yasuo Tan (JAIST)
11. [ポスター講演] スマートハウス向けクラウド型サービス検証基盤の教育活用 ○岡田 崇 (北陸先端大)・

牧野義樹 (NICT)・丹 康雄 (北陸先端大)

12. [ポスター講演] 構造ヘルスマニタリング向け多点同期計測方式のトレードオフ評価 ○山下靖貴・鈴木 誠・森川博之 (東大)
 13. [ポスター講演] Road condition evaluation using angular velocity responses of an ordinary vehicle—use of a smartphone in road condition monitoring—
○Juan Carlos Pineda Allen・Tomonori Nagayama・Syunya Kimura・Yozo Fujino (Univ. of Tokyo)
- 28 日午後 学会連携シンポジウム (日本建築学会・土木学会・計測自動制御学会) (研修 1 号室)
14. [招待講演] 知的環境におけるヒューマンモニタリング 大槻知明 (慶大)
 15. [招待講演] くらしをセンシングする一スマートライフを実現するための情報技術— 渡辺仁史 (早大)
 16. [招待講演] 安全で快適な都市環境のためのワイヤレス振動センサネットワーク 濱本卓司 (東京都市大)
 17. [招待講演] 情報通信技術を駆使した「国土基盤モデル」—実社会基盤とサイバーインフラの統合— 矢吹信喜 (阪大)
 18. [招待講演] 路線バスを利用した中小橋梁モニタリングシステムの紹介 矢部明人 (構造計画)
 19. [招待講演] ロボットミドルウェア標準: RT ミドルウェア—コンセプト, 標準化とその応用— ○安藤慶昭・谷川民生・神徳徹雄 (産総研)
20. パネルディスカッション
- 29 日午前 一般セッション 1 (研修 1 号室)
1. 無線 LAN システムのための後段 IFS を用いた衝突低減方式に関する一検討 ○岸田 朗・岩渕匡史・新宅俊之・阪田 徹・鬼沢 武 (NTT)
 2. Many to One Transport Capacity of Wireless Sensor Networks based on I-MMSE ○Ajib Setyo Arifin・Tomoaki Ohtsuki (Keio Univ.)
 3. 無線アドホックネットワークにおけるバースト伝送を用いた日和見的方向性メディアアクセス制御手法 ○山川太一・宮路祐一・上原秀幸 (豊橋技科大)
- 一般セッション 2
4. 無線マルチホップネットワークにおけるモバイルエージェントの活用 塩川茂樹 (神奈川工科大)
 5. 省電力・高信頼・高精度同期を実現するルーティングレス無線センサネットワークの開発と応用 ○鈴木 誠・山下靖貴・勝間田優樹・田代諭弘・森川博之 (東大)
 6. 地震加速度分析と無線センサネットワーク通信制御に関する検討 ○藤原孝洋 (函館高専)・神能孝誠・松原 拓 (豊橋技科大)・中村優吾 (函館高専)・上原秀幸 (豊橋技科大)
 7. 環境音の周波数領域相関を用いた近接検知手法
○佐藤弘之・鈴木 誠・田代諭弘・森川博之 (東大)
- 29 日午後 フェロー受賞記念講演 (13:45~)
8. [招待講演] SN, USN そして ASN 山里敬也 (名大)
- 一般セッション 3
9. 三次元モデル化によるロボットの遠隔操作と通信に関する考察 田崎 豪 (東芝)
 10. 信号定常性評価のための状態適応型自己回帰モデル
○関根理敏・前野蔵人 (OKI)
 11. 電流波形パターン解析に基づく電気機器の異常検出・劣化診断 ○田邨優人・高井勇志・加藤文和・松山隆司 (京大)

12. High Efficient Control Algorithm for Thermal Comfort in Smart Homes Environment using Cyber-physical Systems

○Cheng Zhuo・Wai Wai Shein・Yasuo Tan・Azman Osman Lim (JAIST)

13. パケットロス考慮した無線センサネットワークによる知的照明アルゴリズムの提案 ○内村祐之・間 博人・奥西亮賀・本谷 陽・三木光範 (同志社大)

☆ASN 研究会今後の予定 [] 内発表申込締切日

1月23日(木), 24日(金) 奥道後 [11月11日(月)] テーマ: モバイルネットワーク, モバイルアプリケーション, アンビエントインテリジェンス, センサネットワーク, 一般及び技術展示

【発表申込先】 下記研究会発表申込システムからお申込み下さい。
<http://www.ieice.org/jpn/ken/kenmoushikomi.html>

【問合せ先】

E-mail: asn-sec@mail.ieice.org

★マイクロ波・ミリ波フォトリクス研究会 (MWP)

専門委員長 岩月勝美 副委員長 門 勇一・寶迫 巖
幹事 関根徳彦・戸田裕之 幹事補佐 川西哲也・米本成人

日時 11月29日(金) 13:25~16:55

会場 鉄道総合技術研究所 (国分寺市光町 2-8-38, JR 国立駅から徒歩 7 分, http://www.rtri.or.jp/rtri/map_kuni.html)
TEL [042] 573-7212 川崎邦弘

議題 次世代交通システムの動向, MWP 技術一般

1. [招待講演] 携帯電話網を利用した ITS への取組
藤岡雅宣 (エリクソン・ジャパン)
2. [招待講演] 鉄道におけるミリ波通信 ○立石幸也・服部鉄範 (JR 東日本)・川崎邦弘 (鉄道総研)
3. ミリ波イメージング技術と ITS 応用 ○中村光範・西内秀和・佐藤 宏・クライソン トロンナムチャイ (日産自動車)・小杉敏彦 (NTT)
4. 低チャープ・高消光比光変調の RoF 応用についての考察
川西哲也 (NICT)
5. RoF 伝送を利用した 90 GHz 帯センシングシステム
○柴垣信彦 (日立)・米本成人 (電子航法研)・川崎邦弘 (鉄道総研)・川西哲也 (NICT)
6. 90 GHz RoF 応用のための 1.55 μm 帯 InAs 量子ドット 2 波長レーザ ○赤羽浩一・山本直克・梅沢俊匡・菅野敦史・稲垣恵三・川西哲也 (NICT)
7. 鉄道環境における 90 GHz 帯ミリ波の電波伝搬特性
○中村一城・川崎邦弘・竹内恵一 (鉄道総研)・米本成人・河村暁子・ニッ森俊一 (電子航法研)

☆MWP 研究会今後の予定 [] 内発表申込締切日

1月23日(木), 24日(金) 同志社大 (今出川) [11月1日(金)] テーマ: 光-無線融合 NW, 新周波数 (波長) 帯デバイス, フォトリクス NW・デバイス, フォトリクス結晶, ファイバとその応用, 光集積回路, 光導波路素子, 光スイッチング, 導波路解析, 一般

【発表申込先】 下記研究会発表申込システムからお申込み下さい。
<http://www.ieice.org/jpn/ken/kenmoushikomi.html>

【問合せ先】

関根徳彦 (NICT)・戸田裕之 (同志社大)

第一種研究会開催案内

E-mail: mwp-inquiry@mail.ieice.org

◎最新情報は, MWP 研究会ホームページを御覧下さい。
<http://www.ieice.org/~mwp/>

★ソフトウェアインタプライズモデリング研究会 (SWIM)

専門委員長 野地 保 副委員長 須栗裕樹・黒瀬 晋
幹事 宇田川佳久・荻野 正 幹事補佐 結城 修

日時 11月29日(金) 11:00~16:50

会場 東京工芸大学中野キャンパス (中野区本町 2-9-5, 東京メトロ丸ノ内線/都営地下鉄大江戸線: 中野坂上駅下車徒歩約 7 分, TEL [03] 3372-1321 (代表) 宇田川佳久)

議題 インタプライズモデル化, 一般ワークショップ

1. シーケンスに基づく検索モデルの検索精度について
宇田川佳久 (東京工芸大)
2. 機械学習を用いたサイバーアタック検出システムに関する検討
荻野 正 (沖縄高専)
3. [基調講演] 未定
4. 科目難易度と個人成績を考慮した GPA について
○稲垣麻衣・能上慎也 (東京理科大)
5. ビジネスデザイン序説—成長するビジネスモデル—
小松昭英 (アトム)
6. [特別講演] 未定
7. ビジネスモデルを科学する—プロジェクト報告 005—
○野地 保・片岡信弘 (東海大)・堀米 明 (フジフ)・黒瀬 晋 (NEC)

☆SWIM 研究会今後の予定 [] 内発表申込締切日

2月21日(金) 未定 [未定] テーマ: インタプライズモデル化, 一般

【発表申込先】 下記研究会発表申込システムからお申込み下さい。
<http://www.ieice.org/jpn/ken/kenmoushikomi.html>

【問合せ先】

宇田川佳久 (東京工芸大)

E-mail: udagawa@cs.t-kougei.ac.jp

黒瀬 晋 (NEC)

E-mail: s-kurose@pd.jp.nec.com

——北海道支部における開催——

★通信方式研究会 (CS)

専門委員長 葉玉寿弥 副委員長 坪井利憲
幹事 梅原大祐・寺田 純

日時 11月14日(木) 8:40~12:00

15日(金) 8:35~11:40

会場 登別温泉第一滝本館 (登別市登別温泉町 55)

議題 ブロードバンドアクセス, ホームネットワーク, ネットワークサービス, 通信利用アプリケーション, 一般

14日

1. 6点による3次畳み込み補間におけるパラメータ決定法の提案
上田裕巳 (東京工科大)
2. Using the Adaptive Dual-Polarized Antenna for Wireless Ad Hoc Networks
○Maung Sann Maw

告 11

- Iwao Sasase (Keio Univ.)
3. Relocation Method of Mobile Nodes for Recovering from Node Failures in Wireless Sensor Networks

○Aye Mon Htun・Maung Sann Maw・
Iwao Sasase (Keio Univ.)

4. 機器連携技術による NW リソースの最適化の研究—アクセス/ホーム NW における宅内通信機器の省電力化—

○野村紘子・氏川裕隆・藤原稔久・田所将志・鈴木謙一・
吉本直人 (NTT)

5. [特別招待講演] エラスティック光ネットワークの技術動向
神野正彦 (香川大)

6. [特別招待講演] Smart Fiber-Wireless (SFwi) ネットワークの実現に向けて
○西山大樹・加藤 寧 (東北大)

7. [特別招待講演] M2M アドホックネットワーク, センサネットワークの今後の展開
阪田史郎 (千葉大)

8. [特別招待講演] Software-Defined Networking 技術の最新動向と今後の展望
岩田 淳 (NEC)

15 日

1. 将来無線アクセス・モバイル光ネットワークにおける光アクセスシステムの検討課題
○寺田 純・吉本直人 (NTT)

2. 将来無線アクセス・モバイル光ネットワークにおける動的 TWDWM-PON の適用
○飯田大輔・桑野 茂・可児淳一・
寺田 純 (NTT)

3. 将来無線アクセス・モバイル光ネットワークにおける光伝送帯域削減に関する検討
○久保尊広・浅井孝浩・
奥村幸彦 (NTT ドコモ)

4. 誤り訂正符号を用いた映像メディアの分散保存配信システムの一検討
○北村巨彦・小倉 毅・君山博之・
藤井竜也 (NTT)

5. Message Routing with Bloom Filter for Name-Based Home Ad Hoc Networks
○Tharinda Nishantha Vidanagama・
Hidenori Nakazato (Waseda Univ.)

6. BitTorrent における補助ピアを用いた効率的なファイル転送手法
○李 吉憲・金光永煥・中里秀則 (早大)

7. User-Focused API Design for NSCW and Multimodal Interaction
○Marc Carroll (Georgia Tech.)・
Yasuhiro Mochida・Daisuke Shirai・Tatsuya Fujii (NTT)

8. Superimposed SPIT Fraud Prevention Using One Class Classification-based Call Pattern Analysis
○Kentaro Toyoda・Iwao Sasase (Keio Univ.)

9. ヘテロジニアスセルラネットワークにおける UE の移動予測に基づいた近隣スモールセルの先読み起動方式
○原 進一郎・笹瀬 巖 (慶大)

10. 火災検知データの優先度を考慮した経路選択を用いた無線センサ森林火災監視システム
○古閑卓磨・原 進一郎・
笹瀬 巖 (慶大)

11. クラスタツリー無線センサネットワークにおける低遅延化のための適応的アクティブ制御方式
○甲斐成美・阪田史郎・
小室信喜 (千葉大)

☆CS 研究会今後の予定 [] 内発表申込締切日

12 月 5 日 (木), 6 日 (金) 京都工繊大 60 周年記念館 [締切済] テーマ: 画像符号化, 通信・ストリーム技術, 一般

1 月 23 日 (木), 24 日 (金) 八丈島 [11 月 8 日 (金)] テーマ: コア・メトロシステム, 光アクセスシステム・次世代 PON, ブロードバンドアクセス方式, (広域) イーサネット, 光伝達網 (OTN), 高速インタフェース, アナログ光伝

送, 量子通信, 一般

2 月 休会

【発表申込先】 下記研究会発表申込システムからお申込み下さい。
<http://www.ieice.org/jpn/ken/kenmoushikomi.html>

【問合先】

梅原大祐 (京都工繊大)

TEL [075] 724-7471, FAX [075] 724-7400

寺田 純 (NTT)

E-mail: kanji2013@csken.org

◎最新情報は, CS 研究会ホームページを御覧下さい。

<http://www.ieice.org/cs/cs/jpn/>

—東北支部における開催—

★回路とシステム研究会 (CAS)

専門委員長 山路隆文 副委員長 金子美博

幹事 三友敏也・篠宮紀彦 幹事補佐 越田俊介

★システム数理と応用研究会 (MSS)

専門委員長 中村祐一 副委員長 山根 智

幹事 山口真之介・中田 充 幹事補佐 西脇大輔

日時 11 月 6 日 (水) 13:00~17:50

7 日 (木) 8:30~16:50

会場 花巻南温泉峡渡り温泉さつき (<http://www.watarionsen.co.jp/access.html>)

議題 グラフ, ベトリネット, ニューラルネット及び一般

6 日

MSS-1. Synchronizing 2D Arrays in Optimum-time

Hiroshi Umeo (Osaka Electro-Comm. Univ.)

2. An algorithm for finding frequent appearing long string patterns from large scale databases
宇野毅明 (NII)

3. 論理関数の CNF 式から BDD の効率的な構築法

戸田貴久 (JST)

MSS-4. 動的組込みシステムの仕様記述言語の開発

○山根 智・酒井 誠 (金沢大)

5. オンライン文法圧縮

坂本比呂志 (九工大)

6. 高速かつ省領域な線形時間 LZ 分解アルゴリズム

後藤啓介 (九大)

MSS-7. PTZ カメラセンサネットワークにおける協調トラッキング

○浜田健太・林 直樹・高井重昌 (阪大)

8. Randomized Algorithms for Online Knapsack Problems

河瀬康志 (東大)

CAS-9. 矩形分割の $3n-4$ ビット表現の性質を利用した探索手法に関する研究

○小貝和史・藤吉邦洋 (東京農工大)

CAS-11. A Matching Problem in the Electricity Market using Network Flows

○Ryo Hase・
Norihiro Shinomiya (Soka Univ.)

CAS-12. [招待講演] Orthogonal Ray Graphs with Applications to Nanocircuit Design
Shuichi Ueno (Tokyo Inst. of Tech.)

7 日午前

CAS-1. 人工学級ゲームを用いたプレイヤー行動のモデリング

○龍田篤弥・谷 賢太郎 (新潟大)・加藤浩介 (広島工大)・
前田義信 (新潟大)

2. 拡張文字列パターンのクラスに対する GPU 上の並列照合アルゴリズムとその性能評価 笹川裕人 (北大)

CAS-3. セルオートマトンを用いた出口位置を考慮した避難行動シミュレーション ○横川京平・谷 賢太郎・萩原さなえ (新潟大)・小西孝史 (富山短大)・前田義信 (新潟大)

4. GPU を用いた並列ソートアルゴリズムの実装と評価 小池 敦 (NII)

CAS-5. A Note on Two-Directional Orthogonal Ray Graphs and Related Graphs ○Asahi Takaoka・Satoshi Tayu・Shuichi Ueno (Tokyo Inst. of Tech.)

6. Bounding Dilation of Separator-Based Graph Embeddings into Grids 松林 昭 (金沢大)

MSS-7. 東洋医学の陰陽五行説に基づいた五臓六腑のペトリネットモデルの提案 ○王 佳希・長田栄二 (山口大)・呉 朝 (山口短大)・中田 充・葛 崎偉 (山口大)

8. Bumpy Pyramid Folding 上原隆平 (北陸先端大) 7 日午後

9. [招待講演] 計算幾何学に関するチュートリアル講演 大西建輔 (東海大)

MSS-10. [招待講演] システムのスマートな制御を可能とするシステム数理と応用—エレベーターの制御を例として— 高橋宏治 (東工大)

MSS-11. マルチカーエレベータのかご制御と割り当て問題に対する CP/MIP ハイブリッド手法 ○峰岸達矢・宮本俊幸 (阪大)

MSS-12. エレベーターにおける乗客輸送の Mark Flow Graph に基づく基本モデルとシミュレーション ○秋山雪菜・高橋宏治 (東工大)

MSS-13. エレベーターにおけるカゴ及びシャフト制御論理の Mark Flow Graph に基づく基本モデルと Sequential Function Chart による制御実現 ○塚本達也・高橋宏治 (東工大)

MSS-14. 動的稼働台数制御によるエレベータ省エネ群管理機能の開発 ○坂巻慶行・田中俊明・山田尚史 (東芝)・杉原俊雄 (東芝エレベータ)

CAS-15. Slicing Floorplan に対する ZDD (Sequence BDD) の構築 ○清水創介・高橋俊彦 (新潟大)

16. マイクロクラスタリングを用いた単語分類とトピック検知 中原孝信 (関西大)

17. Uniformly Random Generation of Floorplans 山中克久 (岩手大)

◆情報処理学会；アルゴリズム研究会連催

◎今回の研究会は合宿形式になり、会場に宿泊する場合、事前に申し込みが必要になります。宿泊の申込用紙は、各研専幹事にお問い合わせ下さい。

☆CAS 研究会今後の予定 [] 内発表申込締切日
1 月 27 日 (月), 28 日 (火) 日本丸訓練センター [未定]
テーマ：一般

【発表申込先】 下記研究会発表申込システムからお申込み下さい。
<http://www.ieice.org/jpn/ken/kenmoushikomi.html>

【問合せ先】

三友敏也 (東芝)
TEL [044] 549-2280, FAX [044] 520-1806
E-mail : toshiya.mitomo@toshiba.co.jp

◎回路とシステム研究専門委員会では、研究会の振興を目的として「回路とシステム研究会学生優秀発表賞」を制定しました。

優秀な学生発表は、3 月の総合大会にて表彰致しますので、奮って申し込み・投稿をお待ちしております。受賞資格は回路とシステム研究会で御自身で発表され、かつ予稿にて第一著者の IEICE 学生会員 (申し込み中でも可) の方です。詳しくは幹事までお問い合わせ下さい。

☆MSS 研究会今後の予定 [] 内発表申込締切日
1 月 30 日 (木), 31 日 (金) 豊田中研 [未定] テーマ：一般

【発表申込先】 下記研究会発表申込システムからお申込み下さい。
<http://www.ieice.org/jpn/ken/kenmoushikomi.html>

【問合せ先】

山口真之介 (九工大)
TEL [0948] 29-7572
E-mail : yamas@iizuka.isc.kyutech.ac.jp

★電磁界理論研究会 (EMT)

専門委員長 白井 宏 副委員長 佐藤源之
幹事 平山浩一・柴崎年彦 幹事補佐 中嶋徳正

日時 11 月 14 日 (木) 9:30~17:25

15 日 (金) 9:30~18:10

16 日 (土) 9:30~11:35

会場 星野リゾート青森屋 (三沢市古間木山 56. 青い森鉄道：三沢駅より徒歩 10 分。 <http://noresoreaomoriya.jp/>)

議題

14 日午前 基礎理論、散乱・回折 (I) (A 会場) (9:30~11:35)

1. 新相対論的電磁気学とハピ・エネルギー 高橋秀臣 (城所数値解析耐雷研)
2. 垂直ダイポールを波源とする完全導体円板による散乱電磁界解析—波源位置に関する一様な表現式—

○木下照弘 (東京工芸大)・黒木啓之・柴崎年彦 (都立産技高専)

3. V 字溝からの平面波散乱解析 ○林 純也・白井 宏 (中大)
4. 交流超電導ケーブルにおける磁界遮蔽と断熱管の渦電流損失—楕円関数の使用例— ○渡辺和夫 (フジクラ/千葉大)・日高 輝・明石一弥・大保雅哉・飯島康裕・永田雅克・吉田 学・伊藤雅彦・斉藤 隆 (フジクラ)

5. 厚みのある導体スリットによる E 偏波の平面波回折 ○長谷川 肇・白井 宏 (中大)・佐藤亮一 (新潟大)

14 日午後 1 数値解析 I (A 会場) (13:00~15:05)

6. 奥村・秦モデルを採用した 1 波モデルによる市街地伝搬の一推定法 内田一徳・○羽田野尚登・重富圭亮・武末正文 (福岡工大)

7. マイクロストリップ線路の折れ曲り部及びコーナー部における反射・放射特性 宮崎保光 (愛知工大)・後藤信夫 (徳島大)・○高橋港一 (愛知工大)

8. 0.5-10 GHz 電波ばく露による 10 g 平均 SAR と頭部内温度上昇のばらつき ○太田駿也・平田晃正・ラークソ イルッカ (名工大)

9. SBR 法に多重エッジ回折波を組み込むためのアルゴリズムの検討 ○前田崇秀・白井 宏 (中大)

10. Evaluation of Corner Diffraction using Modified Edge Representation (MER) with Fresnel Zone Localization for the Verification of Equivalent Edge Current at Arbitrary Point ○Ali Maifuz・小濱臣将・安藤 真 (東工大)

14 日午後 2 導波路、周期構造 (A 会場) (15:20~17:25)

11. 共振器を有するエアブリッジ型2次元フォトニック結晶スラ
ブ曲がり導波路の特性解析(II) ○中 良弘・
西本昌彦(熊本大)

12. 交互に誘電体円柱とエアホール円柱を配列した誘電体導波路
の伝搬特性とエネルギー分布 ○尾崎亮介・山崎恆樹(日大)

13. 横型 A-O 相互作用を用いた光導波型結合器の電磁界モード
特性 宮崎保光(愛知工大)

14. 周期的円柱配列付近に円柱を配置した構造による電磁波散乱
問題に対するスペクトル領域法の検討 渡辺仰基(福岡工大)

15. 層状の屈折率分布を持つ光ファイバの伝送特性解析
○鈴木祐介・古川慎一(日大)

15 日午前 高周波近似, 散乱・回折(II)(A 会場)(9:30~
11:35)

1. 矩形板の散乱問題に対する Local-MoM の適用
○小濱臣将・安藤 真(東工大)

2. 正弦波エッジによる平面電磁波の散乱
小見山 彰(阪電通大)

3. 過渡表面回折波に対する時間領域における近似解析
後藤啓次(防衛大)

4. 修正エッジ法による物理光学近似の線積分表現と, 回折波成
分の反射境界付近の振る舞いに関する検討 ○呂 鵬飛・
安藤 真(東工大)

5. 窓枠モデルによる平面電磁波の回折 ○佐藤亮一(新潟大)・
白井 宏(中大)

15 日午後 1 数値解析 II (A 会場)(13:00~14:40)

6. 地殻内にある線電流源から放射されるサブヘルツ電磁波の解
析 塩澤俊之(阪大)

7. 若年者及び高齢者における混成熱解析手法による温度上昇解
析 ○野村知輝・平田晃正・ラクソ イルッカ(名工大)

8. 境界型積分方程式法によるプラズモン共鳴の解析—電子顕微
鏡写真を用いた金属粒子モデルの作成—
大貫進一郎・○奥田太郎・竹内 嵩・岸本誠也(日大)

9. 電気自動車を充電するための無線電力伝送に伴う磁界に対す
る人体ばく露評価 ○Laakso Ilkka・平田晃正(名工大)

15 日午後 2 特別講演(A 会場)(15:00~17:00)

10. 航空機搭載小型合成開口レーダーの開発と運用
能美 仁(アロウエックテクノロジ)

11. 空中磁気・電磁探査による地質災害調査—噴火活動域及び津
波浸水域を例として 大熊茂雄(産総研)

15 日午前 アンテナ, 伝搬(B 会場)(9:30~11:35)

12. 電圧制御された終端条件を持つ 0 次共振器アンテナに関する
実験 ○福田純子・上田哲也・門 勇一(京都工繊大)・
伊藤龍男(UCLA)

13. PMCHWT-CBFM によるマイクロストリップアレーアンテ
ナの RCS 解析とメモリ削減効果 ○田中 泰・西岡泰弘・
稲沢良夫・宮下裕章(三菱電機)

14. 低交差偏波特性を有するリフレクトアレー用任意形状素子の
最適化について ○麻田智也・出口博之・
辻 幹男(同志社大)

15. HF 帯海上伝搬特性の予測と実測 ○西岡泰弘・小林立範・
中西孝行・稲沢良夫・宮下裕章(三菱電機)・
高橋智幸(関西大)・藤井智史(琉球大)・
花土 弘(NICT)・日向博文(国交省)

16. 自動車形状を考慮した市街地交差点における電波伝搬特性に
関する一検討 ○今井 卓・田口健治・柏 達也・
川村 武(北見工大)

15 日午後 1 レーダ・イメージング(B 会場)(13:00~14:40)

17. パッシブ・バイスタティックレーダによる近距離イメージン
グの基礎研究 ○佐藤源之・北城崇史(東北大)

18. 地中レーダ計測における不要反射波モデリングの土壌季節変
動に対する実験の実証 ○高橋一徳(東北大)・
イーゲル ヤン(ライプニッツ応用地球物理学研)・
プレーツ ホルガー(ドイツ土壤・地下水・UXO 除去センター)

19. 地中レーダによる埋設物の識別に関する実験的検討(II)
○西本昌彦・太田 亘・田邊将之・中 良弘(熊本大)

20. Fundamental study on high-resolution inspection of damaged
wooden building by synthetic aperture radar ○劉 海・
小山 クリステイアン・高橋一徳・佐藤源之(東北大)

16 日午前 ランダム, 数値解法(A 会場)(9:30~11:35)

1. 不均質ランダム粗面に関する伝搬損失の推定 内田一徳・
○橋本卓磨・李 峻赫・武末正文(福岡工大)

2. フルデータフローアーキテクチャによる 3 次元マイクロ波シ
ミュレータ・FDTD マシンの方式検討
○川口秀樹(室蘭工大)・松岡俊佑(旭川高専)

3. Maxwell-Schrodinger 方程式混合数値解析による電子状態制
御シミュレーション—光制御パルスの性能検証—
○竹内 嵩・大貫進一郎・佐甲徳栄・芦澤好人・
中川活二(日大)・田中雅宏(岐阜大)

4. 新しい離散化手法を用いた電磁波動散乱問題の数値解法
○新納和樹・西村直志(京大)

5. 統計力学的な方法を用いた誘電率揺らぎによる散乱断面積の
計算方法の提案 狐崎直文(青学大)

16 日午前 最適化(B 会場)(9:30~11:10)

6. Phase Vocoder を用いた話速変換における波形の歪みの抑制
○小林賢太(都立産技高専)・村上隆啓(明大)・
柴崎年彦(都立産技高専)

7. ドップラースペクトルによるパス分離と複素ニューラルネッ
トワーク処理に基づくフェージングチャネルの予測
○丁 天本・廣瀬 明(東大)

8. 差分境界要素法による誘電体非周期凹凸パターン効率の
な部分コヒーレント結像計算法 ○杉坂純一郎・安井 崇・
平山浩一(北見工大)

9. PSO を用いた埋設物探査アルゴリズムの初期段階における推
定の改善に関する検討 楠 敦志(大分大)

◆電気学会; 電磁界理論技術委員会連催

◎15 日研究会終了後に同会場にて懇親会(夕食を兼ねて)を予
定しています. 奮って御参加下さい.

【問合先】
平山浩一(北見工大)
E-mail: emt-secretary@ns.ieice.org

★ヒューマン情報処理研究会(HIP)

専門委員長 金子寛彦 副委員長 安藤英由樹・石井雅博
幹事 新井田 統・渋谷 進・水科晴樹
幹事補佐 清河幸子・望月理香

日時 11 月 19 日(火) 13:00~17:05
20 日(水) 10:05~15:55

会場 東北大学電気通信研究所
議題 「マルチモーダル」, 「感性情報処理」, 「視知覚とその応用」
及びヒューマン情報処理一般

19日

HIP-1. 無意味3連音節を用いた音素別明瞭度における話者映像の寄与の分析 ○長谷川 玄・坂本修一・阿部 享・大谷智子・鈴木陽一・川瀬哲明(東北大)

HIP-2. 楽音を含む音程の協和感と不協和感について

○山本由紀子(総研大)・仁科エミ・大西 仁(放送大)

HIP-3. 音声による情動表現の認知一年齢及びラジオ聴取頻度との関連 ○田中章浩(東京女子大)・伊藤 哲・外谷健司・大河原 聡(文化放送)・渡邊克巳(東大)

HIP-4. 遅延模写における視覚情報の短期的保持 ○菊池裕人・岩崎祥一(東北大)

HIP-5. 物体運動に伴う垂直視差変化が運動方向知覚に与える影響 ○足立 崇・金子寛彦(東工大)

HIP-6. 往復運動の振幅短縮現象における速度の影響

○梁 暢・岡嶋克典(横浜国大)

HIP-7. 即時の把握と数え上げ処理を促進させる視聴覚相互作用

○竹島康博・行場次朗(東北大)

HIP-8. コンテンツの違いがタスク負荷後の生理・心理状態に及ぼす影響 ○阪本清美・坂下誠司(パワテック)・山下久仁子・岡田 明(阪市大)

HIP-9. 自閉症傾向者における視覚表象の符号化特性—事象関連電位による検討— ○高橋純一(NCNP)・安永大地(金沢大)・行場次朗(東北大)

20日午前

HIP-1. 拡張現実における赤外光を用いた可変形マーカーの提案 ○原 佑太郎・児玉賢史(東京理科大)

HIP-2. ARにおける3Dグラスを用いた立体視とタンジブルの融合 ○梶山征央・児玉賢史(東京理科大)

HIP-3. 人物検出と顔向き推定に基づくTV視聴者の注視状態推定 ○高橋正樹・サイモン クリピングデル・奥田 誠・山内結子・苗村昌秀・柴田正啓(NHK)

HIP-4. 変化検出におけるソーシャルミスディレクションの影響—検出群と非検出群の違い— ○立花 良(東北大)・川畑秀明(慶大)

20日午後(13:15~)

HIP-5. 顔の魅力による視覚的注意の時間的変化 ○中村航洋・川畑秀明(慶大)

HIP-6. 頭部運動表示フィードバックの無意識頭部運動抑制効果 ○中井彬人(東北大)・矢入 聡(仙台高専)・鈴木陽一(東北大)・本郷 哲(仙台高専)・坂本修一(東北大)

HIP-7. 手の存在によって変容する視覚的注意 ○齋藤五大・行場次朗(東北大)

HIP-8. 絵画鑑賞による美的経験が時間知覚に及ぼす影響 ○新井志帆子・川畑秀明(慶大)

HIP-9. 時間再生課題における視聴覚相互作用の影響 ○朝岡 陸・行場次朗(東北大)

HIP-10. 視聴覚の感覚統合と時間順序判断における同時性の再較正 ○山本浩輔・川畑秀明(慶大)

◆映像情報メディア学会; コンシューマエレクトロニクス研究会/ヒューマンインフォメーション研究会連催

【問合先】

石井雅博(札幌市大)

E-mail: m.ishii@scu.ac.jp

★教育工学研究会(ET)

専門委員長 赤倉貴子 副委員長 小西達裕

幹事 國宗永佳・光原弘幸 幹事補佐 東本崇仁・森本容介

日時 11月22日(金) 10:00~16:45

会場 会津大学講義棟 M10 教室(会津若松市一箕町鶴賀, JR 会津若松駅からバス10分(タクシーで1,200円程度), <http://www.u-aizu.ac.jp/access.html> TEL [0242] 37-2715 渡部有隆, 程子学)

議題 Internet of Things と学習支援/一般

1. 学習者の動作及びページ移動履歴の分析

○渡邊栄治(甲南大)・尾関孝史(福山大)・小濱 剛(近畿大)

2. 進捗度別授業スタイルへの授業管理システム導入の課題—授業の現状と課題, 研究構想— 勝間田 仁(日本工大)

3. IT 基礎知識の理解度分析に基づく弱点克服学習システムの提案 ○高橋風樹・佐藤和彦(室蘭工大)

4. 学習履歴を活用した支援ツールのためのプログラミング学習基盤環境 ○大橋旭雄・野崎 要・伊藤雄貴・森本康彦(学芸大)・中村勝一(福島大)・宮寺庸造(学芸大)

午後

5. Web 情報検索インタフェース動的生成フレームワークのためのXMLメタデータエディタの開発 ○北村 学・千石一貴・山崎章裕・森谷 耀・佐藤和彦(室蘭工大)

6. XMLメタデータを用いたWeb情報検索インタフェースの動的生成手法の改善 ○千石一貴・北村 学・山崎章裕・森谷 耀・佐藤和彦(室蘭工大)

7. 音声認識を用いた講義映像の「あんな検索」 柳沼良知(放送大)

8. インターネット活用に関与した生徒の学習意欲の促進 長山知由理(お茶の水女子大)

9. プログラミング学習における例題提示型作問学習の有効性の検討 ○島田真也・青木優太郎・國宗永佳・新村正明(信州大)

10. 意味構造を考慮した表の操作手法 ○張 麗娜(学芸大)・青木浩幸(イテキスト研)・森本康彦(学芸大)・中村勝一(福島大)・宮寺庸造(学芸大)

11. 研究活動支援のための関連論文検索システムの開発 ○安藤由悦・上飯野拓也・佐藤和彦(室蘭工大)

12. プレゼンテーションスライドをベースとした学術論文作成・推敲支援システムの設計 ○森田裕彬・安齋洋行・中山祐貴・神長裕明(福島大)・宮寺庸造(学芸大)・中村勝一(福島大)

◆IEEE Education Society Japan Chapter 協賛

☆ET研究会今後の予定 []内発表申込締切日

1月11日(土) 目白大[11月8日(金)] テーマ: スキル教育と学習支援環境/一般

3月8日(土) 高知高専[1月14日(火)] テーマ: マルチメディア技術の教育活用/一般

【発表申込先】 下記研究会発表申込システムからお申込み下さい。 <http://www.ieice.org/jpn/ken/kenmouushikomi.html>

【問合先】 國宗永佳(信州大)

TEL & FAX [026] 269-5502

E-mail: kunimune@shinshu-u.ac.jp

○原稿締切日までに原稿がアップロードされない場合には、自動的に発表キャンセルとなります。原稿がない発表は認めていませんので御注意下さい。

★宇宙・航行エレクトロニクス研究会 (SANE)

専門委員長 齋藤宏文 副委員長 福島荘之介

幹事 辻 政信・灘井章嗣 幹事補佐 木寺正平・牧 謙一郎

日時 11月22日(金) 10:30~17:10

23日(土) 10:00~12:20

会場 22日:東北大学川内キャンパス萩ホール, 23日:東北大学東北アジア研究センター(仙台市青葉区川内41. JR仙台駅から仙台市営バス(9番乗り場)で東北大川内キャンパス・萩ホール前下車(12分). <http://www.tohoku.ac.jp/japanese/profile/campus/01/kawauchi/index.html> TEL [022] 795-6075 佐藤源之)

議題 第12回地下電磁計測ワークショップ「復興・遺跡調査」

22日午前

1. [特別講演] 震災から2年半を経て見えてきた課題—被災構造物の維持管理と健全度の把握— 久田 真(東北大)
2. マイクロ波によるRC構造物中の腐食鉄筋探査の一検討 三輪空司(群馬大)
3. 地中レーダ探査データを用いた砂浜堆積過程の可視化 有働恵子(東北大)
4. 東日本大震災の行方不明者捜索における地中レーダの適用 ○園田 潤(仙台高専)・渡邊 学(JAXA)・米澤千夏・佐藤源之(東北大)
5. Fundamental study of observation of landslide by GB-SAR observation; case study at Aratozawa ○Lilong Zou・Kazunori Takahashi・Motoyuki Sato (Tohoku Univ.)

22日午後(13:30~)

6. 電磁波を用いた建造物非破壊センシング技術の研究開発—25年度中間成果— ○佐藤源之・高橋一徳・劉 海・クリスチャン コヤマ(東北大)
7. 建造物非破壊センサーの研究開発(第一報)—単一周波数を用いたイメージングレーダー— ○弓井孝佳・浅野有美・森 康成・土井恭二(三井造船)
8. 建造物非破壊センサーの研究開発(第二報)—広帯域アンテナの開発— ○森 康成・浅野有美・弓井孝佳・土井恭二(三井造船)
9. 建造物非破壊センサーの研究開発(第三報)—ステップ周波数方式イメージングレーダー— ○土井恭二・浅野有美・弓井孝佳・森 康成(三井造船)
10. 建造物非破壊センサーの研究開発(第四報)—GPRを用いた木材のイメージング— ○浅野有美・弓井孝佳・森 康成・土井恭二(三井造船)
11. 20 GHz帯 GB-SARによる構造物内部計測の基礎実験 ○高橋一徳・劉 海・クリスチャン小山・佐藤源之(東北大)

12. 掘削時前方探査レーダのためのバケット一体型八木・宇田スロットアンテナの設計 ○茂木優人・三輪空司(群馬大)
13. Three-dimensional analysis of subsiding ground: a comparison of results using GPR-Slice and ArcGIS ○Donald Thieme (VSU)・Benjamin Davis (FSU)・Can Denizman (VSU)

○Donald Thieme (VSU)・Benjamin Davis (FSU)・Can Denizman (VSU)

23日午前

1. A compact polarimetric GPR system for detection of linear subsurface targets ○Hai Liu・Motoyuki Sato (Tohoku Univ.)
2. [特別講演] 宮城県における震災復興と遺跡調査の現状 佐久間光平(宮城県)

3. 震災復興を推進するアレイ型地中レーダによる遺跡計測 ○高橋一徳・リウ ハイ・佐藤源之(東北大)

4. Investigation on 3D migration of non-gridded GPR data ○易 利・佐藤源之・高橋一徳(東北大)

5. 墳丘の地中レーダによる遺跡調査 ○佐藤源之・高橋一徳(東北大)

◆IEEE AES Society Japan Chapter 共催

◎22日に懇親会を予定します。23日に地中レーダのデモンストラーションを予定しています。詳細問合せ、懇親会申込みは sato@cnea.tohoku.ac.jp まで、詳細情報は <http://cobalt.cneas.tohoku.ac.jp/users/sato/index-j.html>

☆SANE研究会今後の予定 []内発表申込締切日

12月2日(月), 3日(火) VAST/VNSC(2日) & Melia Hotel, Hanoi(3日) [締切済] テーマ: ICSANE 2013 (International Conference on Space, Aeronautical and Navigational Electronics)

12月20日(金) 日本工大 [締切済] テーマ: レーダ信号処理及び一般

1月23日(木), 24日(金) 長崎県美術館 [11月8日(金)] テーマ: 測位・航法及び一般

2月20日(木), 21日(金) 山口市内 [未定] テーマ: 未定

【発表申込先】 下記研究会発表申込システムからお申込み下さい。

<http://www.ieice.org/jpn/ken/kenmoushikomi.html>

【問合先】

灘井章嗣 (NICT)

TEL [042] 327-6496

E-mail: nandai@nict.go.jp

辻 政信 (JAXA)

TEL [050] 3362-7646

E-mail: tsuji.masanobu@jaxa.jp

★MEとバイオサイバネティクス研究会 (MBE)

専門委員長 中尾光之 副委員長 神保泰彦

幹事 渡邊高志・小谷 潔 幹事補佐 中村和浩・高山祐三

★ニューロコンピューティング研究会 (NC)

専門委員長 古川徹生 副委員長 小池康晴

幹事 宮下真信・林 勲 幹事補佐 木村聡貴・山崎 匡

◎本研究会はMBE研究会とNC研究会の併催です。研究会資料は各研究会ごとに発行されます。

日時 11月22日(金) 10:00~16:25

23日(土) 9:30~12:10

会場 東北大学大学院情報科学研究科青葉山キャンパス2階大講義室(仙台市青葉区荒巻字青葉6-3-09. 仙台駅前西口バスプール9番乗り場から, <http://www.is.tohoku.ac.jp/access/index.html> NC研:加納慎一郎(東北工大), MBE研:片山統裕(東北大). TEL [022] 795-7158 片山)

議題 BCI/BMIとその周辺, 一般

22日午前

MBE-1. 大脳皮質における興奮性神経回路の睡眠-覚醒状態依存的変化 ○中村有孝・辛島彰洋(東北大)・坪川 宏(東北福祉大)・片山統裕・中尾光之(東北大)

MBE-2. 受動的移動運動中のマウスにおける頭部加速度と海馬

- 脳波の測定と解析 ○石川大晃・片山統裕・辛島彰洋・中尾光之（東北大）
- MBE-3. 電極の埋め込み手術に伴う脳の機械的変形を局所フィールド電位の空間分布の変化に基づき推定する
○渡邊俊平・片山統裕・辛島彰洋・田中 徹・虫明 元・中尾光之（東北大）
- MBE-4. 左右耳に入力された刺激音による聴性誘発反応の解析—競合的刺激音の相互作用— ○車谷春香・田中慶太・栗城真也・内川義則（東京電機大）

22 日午後

- NC-5. スパースな局在興奮を持つ神経回路モデルの統計力学
○萬田 暁・北園 淳（東大）・大森敏明（神戸大）・岡田真人（東大/理研）
- NC-6. 予測の不確実性に応じた手首インピーダンス制御モデル
○小川展夢・神原裕行・小池康晴（東工大）
- NC-7. SSA を用いた脳波 SSVEP の 2 クラス判別
○白鳥友規・南波寛直・松本 隆・石山敦士（早大）
- NC-8. 連想記憶モデルを用いた確率的潜在構造抽出アルゴリズムの有効性の検証 ○若杉健介（東大）・桑谷 立（東北大）・永田賢二（東大）・麻生英樹（産総研）・岡田真人（東大/理研）
- NC-9. 音声聴取前後の脳波位相関係により促進される音声コミュニケーション ○小野島隆之（京大）・北城圭一（理研）・水原啓暁（京大）
- 共通-10. [招待講演] 人工細胞モデルの設計と構築
野村 M. 慎一郎（東北大）

23 日 BCI

- NC-1. 人の高次視覚野脳活動データを用いた脳型画像認識アルゴリズム—遮蔽のある歩行者画像認識への適用—
○星野博之・大脇崇史（豊田中研）・倉重宏樹・上野賢一・Topi Tanskanen・Kang Cheng・加藤英之（理研）
- NC-2. 文字入力データを用いた P300 speller の入力意思判別に関する検討 ○河合康平・吉川大弘・古橋 武（名大）
- MBE-3. EEG のチャンネル間における相関を用いたてんかん脳波解析とモデル構築 ○渡辺俊平・森 康久仁（千葉大）・斉藤陽一・原田 元（脳波計量解析研）・松葉育雄（千葉大）
- MBE-4. てんかん患者に見られる発作脳波のカオス性の検討
○岡本康希・森 康久仁（千葉大）・斉藤陽一・原田 元（脳波計量解析研）・松葉育雄（千葉大）
- MBE-5. 安定分布の特性指数を用いたてんかん発作脳波の解析
○木船雅弥・吉田謙介・森 康久仁（千葉大）・斉藤陽一・原田 元（脳波計量解析研）・松葉育雄（千葉大）
- MBE-6. ライフル射撃競技での得点向上のための宅内練習支援用システム 島田洋一（金沢工大）

◆MBE：日本生体医工学会；生体信号計測・解釈研究会/ME とバイオサイバネティクス研究会共催

NC：日本神経回路学会，IEEE Computational Intelligence Society Japan Chapter 共催

☆MBE 研究会今後の予定 [] 内発表申込締切日

12 月 21 日（土） 岐阜大サテライトキャンパス [締切済] テーマ：ME，一般

1 月 24 日（金），25 日（土） 佐賀大 テーマ：ME，一般

【問合せ先】

中村和浩（秋田県立脳血管研究センター）
〒010-0874 秋田市千秋久保田町 6-10
TEL [018] 833-0115, FAX [018] 833-2104

第一種研究会開催案内

E-mail：knam@akita-noken.jp

☆NC 研究会今後の予定 [] 内発表申込締切日

・12 月 21 日（土） 岐阜大サテライトキャンパス [締切済] テーマ：ME，一般 MBE 研究会 併催 日本神経回路学会，IEEE CIS-Japan 共催 岐阜大学人間医工学研究開発センター 成果報告会同時開催

【問合せ先】

宮下真信（沼津高専）
TEL [055] 926-5782
E-mail：miyasita@numazu-ct.ac.jp

・1 月 20 日（月），21 日（火） 九工大若松キャンパス [11 月 15 日（金）] テーマ：ニューロコンピューティングの実装及び人間科学のための解析・モデル化，一般

[招待講演] 身体知覚の時空間的適応性 宮崎 真（山口大）
日本神経回路学会，IEEE CIS-Japan，日本生体医工学会共催

【発表申込先】 発表申込システムより電子的に行ってください。

<http://www.ieice.org/ken/program/index.php?tgid=NC>

【問合せ先】

林 勲（関西大大学院総合情報学研究科）
TEL [072] 690-2448
E-mail：ihaya@cbii.kutц.kansai-u.ac.jp

★情報セキュリティ研究会 (ISEC)

専門委員長 田中俊昭 副委員長 櫻井幸一・角尾幸保

幹事 伊豆哲也・岩田 哲 幹事補佐 花岡悟一郎・三宅 優

★ライフインテリジェンスとオフィス情報システム研究会(LOIS)

専門委員長 若原俊彦 副委員長 岡本 学

幹事 山元規靖・茂木 学 幹事補佐 小館亮之

日時 11 月 28 日（木） 13：30～17：05

29 日（金） 10：30～15：25

会場 東北大学青葉山キャンパス青葉記念会館 4F 大研修室 (401) (仙台市青葉区荒巻字青葉 6-6. 仙台駅西口バスプール (09) より工学部系由「動物公園循環」(719 系統)，「宮教大」(715 系統)，「宮教大・青葉台」(710 系統)あるいは「宮教大・成田山」(713 系統) 行きに乗車し，「工学部中央」で下車して下さい。 <http://www.eng.tohoku.ac.jp/map/?menu=campus&area=c> 「C 03」の建物 TEL [022] 795-6092 水木敬明)

議題 情報セキュリティ，ライフログ活用技術，ライフインテリジェンス，オフィス情報システム，一般

28 日

- 医療情報流通サービスにおけるアクセス履歴提示方法の提案
○倉 恒子・吉田芳浩・宮島麻美・橋本順子・森村一雄・前田裕二（NTT）
- ヘルプデスクにおける製品事故情報の推定—感情極性と製造物責任法に関する訴訟情報から— ○輪島幸治（産技大）・小河誠己・古川利博（東京理科大）
- セルフモニタリングのための食事行動予測に基づく食事記録支援と対話ロボットからの助言 ○石黒景亮・神原誠之（奈良先端大）・萩田紀博（奈良先端大/ATR）
- カードベース暗号プロトコルに対する攻撃に関する考察
○水木敬明・静谷啓樹（東北大）
- Multi-Party Private Set Intersection Protocol に関する研究
○三本知明・宮地充子（北陸先端大）

告 17

6. [招待講演] ライフログに関するプライバシーの課題とプライバシー保護データマイニングの展望 菊池浩明 (明大)

29 日午前

1. ファインダビリティに着目したマルチスクリーンシステムの提案 小林 透 (長崎大)
2. ネットワーク符号化を用いたノード間リンクロス率の推定手法の評価について ○福田洋治 (愛知教大)・白石善明 (名工大)・毛利公美 (岐阜大)
3. 個人向けセンサボックスのための実装フレームワーク考察 ○大柳章裕・まつ本真佑・佐伯幸郎・中村匡秀 (神戸大)

29 日午後 (13:05~)

4. 部分群判定問題を用いた lossy 認証方式 ○長谷川真吾・磯辺秀司 (東北大)
5. 情報システムの利用環境に応じた脆弱性評価手法の提案 ○亀谷直希・佐藤 直 (情報セキュリティ大)
6. 異種分散 Web サービスに基づくコンテキストウェアサービスの管理フレームワークの設計と実装 ○高塚広貴・まつ本真佑・佐伯幸郎・中村匡秀 (神戸大)
7. ホームネットワークにおける住宅ログを活用したコンテキストウェアサービスの検討 ○渡邊雄一・増田哲也・中村匡秀・まつ本真佑・佐伯幸郎 (神戸大)
8. ホームネットワークシステムにおけるバーチャルエージェントのためのサービスフレームワーク ○堀内大祥・まつ本真佑・佐伯幸郎・中村匡秀 (神戸大)

☆ISEC 研究会今後の予定 [] 内発表申込締切日

12 月 11 日 (水) 機械振興会館 [締切済] テーマ: 一般

[問合せ先]

岩田 哲 (名大)

TEL [052] 789-5722, FAX [052] 789-5723

E-mail: isec-sec@mail.ieice.org (幹事, 幹事補佐宛)

☆LOIS 研究会今後の予定 [] 内発表申込締切日

1 月 16 日 (木), 17 日 (金) 長崎歴史文化博物館 [未定]
テーマ: ライフログ活用技術, オフィス情報システム, ビジネス管理, 一般

[発表申込先] 下記研究会発表申込システムからお申込み下さい。

<http://www.ieice.org/jpn/ken/kenmoushikomi.html>

[問合せ先]

山元規靖 (福岡工大情報工学部)

〒811-0295 福岡市東区和白東 3-30-1

FAX [092] 606-0758

E-mail: nori@fit.ac.jp

——信越支部における開催——

★光通信システム研究会 (OCS)

専門委員長 水落隆司 副委員長 富澤将人

幹事 乾 哲郎・斎藤恒聡

★光ファイバ応用技術研究会 (OFT)

専門委員長 富田 茂

幹事 泉田 史・大塚健一郎 幹事補佐 山田裕介・大村真樹

◎本研究会は OCS 研究会と OFT 研究会の併催です。研究会資料は各研究会ごとに発行されます。

日時 11 月 21 日 (木) 14:00~17:30

22 日 (金) 9:00~14:40

会場 長岡技術科学大学 (長岡市上富岡町 1603-1. バス長岡駅大手 (西) 口 7 番線から技大前行き乗車約 30 分またはタクシー長岡駅大手 (西) 口から 8.5 km 約 20 分. <http://www.nagaokaut.ac.jp/j/access.html> 福村好美)

議題 光アクセスシステム・次世代 PON, 地上・衛星放送システム, 衛星通信システム, CATV システム, イーサネット, 伝送監視制御, 光ファイバケーブル・コード, 通信用光ファイバ, 光線路保守監視・試験技術, 光ファイバ測定技術, 地上・衛星放送関連デバイス・機器・設備, 家庭用受信デバイス・機器, ホーリーファイバ, 機能性光ファイバ, 光ファイバ線路構成部品, 光回路部品, 周波数有効利用技術, 変復調技術, 電磁界解析及びシミュレーション技術, 無線・光伝送境界領域, 光ケーブル布設技術, 光ファイバ線路設計技術, 光ファイバ線路構成部品信頼性, 空間・可視光伝送, 一般

21 日

1. Eye blinking of the e-Learner is Visualized in the Virtual Class ○Asanka D. Dharmawansa・中平勝子・福村好美 (長岡技科大)
- OCS-2. Radio over Fiber によるミリ波帯アレーアンテナの 2 次元ビーム制御 ○西川佳宏 (東工大)・大石将之・秋葉重幸 (KDDI 研)・広川二郎・安藤 真 (東工大)
- OFT-3. 強度変調方式に基づく LPG 振動センサの高感度化—カスケード型 LPG の作製と振動計測への応用— ○竹内 誠・田中 哲・月田 統・手倉森新伍・内村良太郎・和田 篤・高橋信明 (防衛大)

OFT-4. 両端固定光ファイバカールコードの振動に伴う偏光回転特性と侵入位置検知への応用 ○水島明光・立田光廣 (千葉大)

OFT-5. 光ファイバにおける側面送受光特性改善の検討 坪川 信 (早大)

OFT-6. 光線路無瞬断切替における時間遅延キャリブレーションの検討 岡本圭司 (NTT)

OFT-7. 短余長接続技術 ○山口 敬・松田貴治・森岡寛達・瀧澤和宏 (フジクラ)

OCS-8. 波長分散特性を制御した高非線形ファイバ ○平野正晃・山本義典 (住友電工)・クオ ビル・ラディック ストーヤン (UCSD)

22 日午前

OCS-1. 12 コアマルチコアファイバ用溶融延伸型ファンイン/ファンアウトデバイス ○植村 仁・大道浩児・竹永勝宏・松尾昌一郎 (フジクラ)・齊藤晋聖・小柴正則 (北大)

OFT-2. 側方入出射を利用したマルチコア光ファイバ接続の軸回転調整 ○田中正俊・八若正義・藤巻洋介・谷口浩一 (三菱電線)

OFT-3. マルチコアファイバ用ファンアウト部品 ○島川 修・荒生 肇・春本道子・佐野知巳・井上 享 (住友電工)

OCS-4. 偏波多重光伝送におけるトレーニング系列を用いた In-band 光 S/N 推定 ○岡本聖司・木坂由明・山崎悦史・石原浩一・片岡智由 (NTT)

OCS-5. フレキシブルグリッドネットワークにおける光チャンネルモニタの提案 ○岸川博紀・河原光貴・福徳光師 (NTT)

OCS-6. B-OTDR を用いた光ファイバ仮想温度測定技術の応用についての検討 ○馬 麟・辻川恭三・半澤信智・

山本文彦 (NTT)

OFT-7. 散乱光スペクトルモニタリングによる音響雑音補償コヒーレント OTDR ○飯田裕之・戸毛邦弘・伊藤文彦 (NTT)
22 日午後 (13:25~)

OCS-8. Y-00 (光通信量子暗号) を用いたセキュア光アクセスシステムに関する実験検討 ○二見史生・広田 修 (玉川大)

OCS-9. C 帯バースト光送信器を用いた上り 2.5 Gb/s 伝送実験による TWDM-PON への適用検討 ○野田雅樹・庵原 晋・吉間 聡・末廣 雄・三田大介・白井 聡・野上正道 (三菱電機)

OCS-10. WDM/TDM-PON 用高速波長選択型バースト送受信器の提案と動作検証 ○田口勝久・浅香航太・木村俊二・吉本直人 (NTT)

◆電気学会; 通信研究会, 映像情報メディア学会; 放送技術研究会連催

☆OCS 研究会今後の予定 [] 内発表申込締切日

1 月 23 日 (木), 24 日 (金) 大賀郷公民館 (八丈島) [11 月 8 日 (金)] テーマ: コア・メトロシステム, 光アクセスシステム・次世代 PON, ブロードバンドアクセス方式, (広域) イーサネット, 光伝達網 (OTN), 高速インタフェース, アナログ光伝送, 量子通信, 一般

2 月 27 日 (木), 28 日 (金) 沖縄ポートホテル [11 月 29 日 (金)] テーマ: 光波センシング, 光波制御・検出, 光計測, ニューロ, 光ファイバ (ホーリーファイバ, マルチコアファイバ等含む) 伝送とファイバ光増幅・接続技術, 光ファイバ計測応用, 一般

【発表申込先】 下記研究会発表申込システムからお申込み下さい。
<http://www.ieice.org/jpn/ken/kenmoushikomi.html>

【問合先】

斎藤恒聡 (古河電工)
TEL [0436] 42-1725, FAX [0436] 42-9340
E-mail: tsune@ch.furukawa.co.jp

◎OCS ホームページ

<http://www.ieice.org/~ocs/jpn-new/index.php>

◎OCS 研究会では, 2007 年より「光通信システム研究会 奨励賞」及び「光通信システム研究会 論文賞」を設立しました。毎年 9 月~翌年 8 月の OCS 研究会に投稿した論文を対象に選考し, 翌年 12 月の光通信システムシンポジウムにて表彰します。詳しくは OCS ホームページを御覧下さい。

☆OFT 研究会今後の予定 [] 内発表申込締切日

1 月 23 日 (木), 24 日 (金) 東京 [11 月 1 日 (金)] テーマ: 一般

2 月 27 日 (木), 28 日 (金) 沖縄ポートホテル [11 月 29 日 (金)] テーマ: 光波センシング, 光波制御・検出, 光計測, ニューロ, 光ファイバ (ホーリーファイバ, マルチコアファイバ等含む) 伝送とファイバ光増幅・接続技術, 光ファイバ計測応用, 一般

【発表申込先】 下記研究会発表申込システムからお申込み下さい。
<http://www.ieice.org/jpn/ken/kenmoushikomi.html>

【問合先】

大村真樹 (住友電工)
TEL [045] 853-7167, FAX [045] 851-1565
E-mail: ohmura@sei.co.jp

◎OFT 研究会では, 2011 年 1 月より「奨励賞」, 「学生奨励賞」を新設しました。一般講演の中から選定しますので, 積極的な御投稿をお願い致します。

第一種研究会開催案内

◎選奨規定については, OFT ホームページを参照下さい。

<http://www.ieice.org/cs/oft/jpn/>

——東海支部における開催——

★情報理論研究会 (IT)

専門委員長 竹内純一 副委員長 大濱靖匡
幹事 野村 亮・日下卓也 幹事補佐 井坂元彦

日時 11 月 26 日 (火) 13:35~16:50

会場 伊東ホテル聚楽 (伊東市岡 281. JR 伊東駅から送迎バス 5 分, 徒歩 20 分. <http://www.hotel-juraku.co.jp/ito/access/> TEL [0557] 37-3161 (会場) 松本隆太郎)

議題 若手研究者のための講演会 (招待講演のみ)

1. [招待講演] 線形帰還シフトレジスタ理論とその発展
松井 一 (豊田工大)
2. [招待講演] 再生成符号と秘密分散への応用
桑門秀典 (関西大)
3. [招待講演] 通信路符号化理論の新しい潮流—有限長解析—
八木秀樹 (電通大)
4. [招待講演] 空間結合の最新動向—空間結合 LDPC 符号を中心に—
竹内啓悟 (電通大)

◆IEEE IT Society Japan Chapter 共催

☆IT 研究会今後の予定 [] 内発表申込締切日

1 月 27 日 (月) 阪市大文化交流センター [11 月 8 日 (金)]
テーマ: 一般

【発表申込先】 下記研究会発表申込システムからお申込み下さい。
<http://www.ieice.org/jpn/ken/kenmoushikomi.html>

【問合先】

情報理論研究会幹事
E-mail: it-sec@mail.ieice.org (幹事, 幹事補佐)

——北陸支部における開催——

★超音波研究会 (US)

専門委員長 梅村晋一郎 副委員長 橋本研也・松川真美
幹事 美谷周二朗・山口 匡 幹事補佐 野村英之

日時 11 月 11 日 (月) 13:00~17:45
12 日 (火) 9:30~12:30

会場 金沢工業大学扇が丘キャンパス (野々市市扇が丘 7-1. JR 金沢駅から路線バスで約 30 分. タクシーで 20 分. http://www.kanazawa-it.ac.jp/about_kit/ogigaoka.htm TEL [076] 248-9469 會澤康治)

議題

11 日

1. レーザ光と物質との相互作用による超音波に関する基礎研究
○得永嘉昭・深田晴己・山口敦史 (金沢工大)・南出章幸 (金沢高専)
2. レーザ誘起創発的応力波の伝搬に関する実験的検討とヒト培養細胞に与える影響
○會澤康治・富永惇司・折坂駿介・小木美恵子・得永嘉昭 (金沢工大)
3. 浮遊細胞におけるレーザ誘起創発的応力波による遺伝子導入の実験的検討
小木美恵子・○杉山尚玖・柳澤隆康

告 19

- 西村 駿・會澤康治・富永惇司・得永嘉昭 (金沢工大)
4. レーザ誘起創発的応力波による遺伝子導入の問題点とその検討
○得永嘉昭・折坂駿介・會澤康治・
小木美恵子 (金沢工大)
5. 段差形状小型超音響ブライムムーバーの実用化に向けて一
スタック位置がシステムに及ぼす影響の基礎検討—
○川本 暁・坂本眞一・折野裕一郎・乾 義尚・
池之上卓己 (滋賀県立大)・渡辺好章 (同志社大)
6. 医用弾性計測のための適応処理を用いた変位検出法
○山本真理子・吉澤 晋・梅村晋一郎 (東北大)
7. キャビテーション援用超音波加熱治療における超音波 RF 信
号の非相関を用いた治療イメージング ○松浦景子・
高木 亮・佐々木翔也・吉澤 晋・梅村晋一郎 (東北大)
8. 250 MHz 超音波振動子を用いたラット臓器の観察
○山口 匡・入江 奏・井上健太・伊藤一陽・
吉田憲司 (千葉大)
9. 超音波画像を用いた肝線維化の定量推定におけるビーム幅の
影響評価シミュレーション ○森 翔平・平田慎之介・
蜂屋弘之 (東工大)

12 日

1. 植物カボックの葉のレーザー誘起光熱信号の計測研究—葉の切
断前後の信号の周波数依存性の検討—
○南出章幸 (金沢高専)・小木美恵子・得永嘉昭 (金沢工大)
2. 強制振動を用いた液滴物性測定 ○石綿友樹・美谷周二朗・
酒井啓司 (東大)
3. EMS 法を用いた極低トルク下でのゾル・ゲル物性評価
○平野太一・酒井啓司 (東大)
4. NMIJ における超音波パワー計量標準の研究開発—天秤法と
カロリーメトリ法— ○内田武吉・菊池恒男 (産総研)
5. 弾性チューブの音響特性に基づいた分布型力センサ
中村健太郎 (東工大)
6. 超音波を用いた原位置透水試験法の検討 ○黒原雄大・
平岡伸隆・中野峻也・田中克彦・藤本将光・
深川良一 (立命館大)

◆日本音響学会；超音波研究委員会，IEEE UFFC Society Japan
Chapter 共催

☆US 研究会今後の予定 [] 内発表申込締切日

- 11 月 23 日 (土) 同志社大室町キャンパス寒梅館 [締切済]
テーマ：水中音響，一般 (共催：海洋音響学会)
- 12 月 18 日 (水) 日大駿河台キャンパス [締切済] テーマ：
強力超音波，一般 (共催：日本塑性加工学会超音波応用加工
分科会)
- 1 月 関西大 [未定] テーマ：応用 (電気) 音響，超音波，一
般 (音響・超音波サブソサイエティ合同研究会)
- 2 月 21 日 (金) JAXA 調布航空宇宙センター [未定] テー
マ：アコースティックイメージング，非破壊検査，一般 (共
催：日本非破壊検査協会超音波部門，日本音響学会アコース
ティックイメージング研究会)

【発表申込先】 下記研究会発表申込システムからお申込み下さい。

<http://www.ieice.org/jpn/ken/kenmoushikomi.html>

【問合先】

山口 匡 (千葉大)
TEL & FAX [043] 290-3267
E-mail : yamaguchi@faculty.chiba-u.jp
美谷周二朗 (東大)
TEL [03] 5452-6122, FAX [03] 5452-6123

E-mail : mitani@iis.u-tokyo.ac.jp

◎最新の情報はホームページで御確認下さい。

<http://www.ieice.org/~us>

— 関西支部における開催 —

★ヒューマンコミュニケーション基礎研究会 (HCS)

専門委員長 渡辺昌洋 副委員長 伊藤京子・松田昌史

幹事 井上智雄・渡邊伸行

幹事補佐 林 勇吾・小森政嗣・田中貴紘

日時 11 月 9 日 (土) 9:30~17:20

会場 大阪大学豊中キャンパスオレンジショップ (豊中市待兼山
町 1-3. 大阪モノレール柴原駅下車北西へ徒歩約 10 分.
<http://www.cscd.osaka-u.ac.jp/access/> TEL [06] 6850-
6111 小川浩平)

議題 感情とコミュニケーション及び一般

1. 表情と発言の齟齬によるエージェントの承諾表現がユーザー
に与える印象の評価 ○西中順平・米澤朋子 (関西大)
2. エージェントの非言語情報と発言の矛盾による承諾表現の印
象変化 ○西中順平・吉田直人・米澤朋子 (関西大)
3. 物語性を活用した AR 文字学習手法の提案 ○前川紗那・
米澤朋子 (関西大)
4. 議論の妥当性モデルを用いたオンライン議論の参加者分類
○朱 成敏 (総研大)・武田英明 (NII)
5. SNS の感情分析をトリガーにしたウェアラブルカメラによるプ
ライバシー侵害の要因分析 ○奈良育英・高田さとみ・
高田美樹・大本茂史・岸本拓也・周 子胤・
嶋田 茂 (産技大)
6. Anxiety in adults who stutter: assessment and treatment
implications ○Shin Ying Chu・Jun Aoki・
Koichi Mori (NRCD)

午後 (12:30~)

7. 状況性を考慮した社会的なアンドロイドの実現
渡辺美紀 (阪大)
8. センサーアレイシステムによる身体技能解析
○濱田隆一 (阪大)・山本知幸 (NICT)・石黒 浩 (阪大)
9. Analysis of Human-like Tactile Response of Humanoid Robot
○Fabio DallaLibera・Fransiska Basoeki・
Hiroshi Ishiguro (Osaka Univ.)
10. 適応的な目線行動を伴ったプレゼンテーションを行うアンド
ロイド ○星川智也・小川浩平・石黒 浩 (阪大)
11. The Philosophy of the Feeling of Presence
Masashi Kasaki (Osaka Univ.)
12. バーチャルリアリティ環境における臨 (隣) 人感の事象関連
電位による評価 ○寺本 渉・清水乃輔 (室蘭工大)・
浅井暢子 (京都文教大)
13. バツと動かし，ギュッと押し！ —有声音・無声音と動
作強度及び大きさとの刺激反応適合性—
○平田佐智子 (東大/産総研)・
山田陽平 (奈良教大/産総研)・中川 岳 (筑波大)・
永井聖剛 (産総研)
14. 擬音語・擬態語テキストを利用した持続的コミュニケーション
ンチャンネルの提案 ○中 祐介・木村圭介・中谷友香梨・
米澤朋子 (関西大)

15. 繰り返し非ゼロ和ゲームを用いたアンドロイドの人らしさ評価
 〇三宅雄大・寺田和憲(岐阜大)・吉川雅博・松本吉央(産総研)・高橋英之(阪大)・伊藤 昭(岐阜大)
16. むいぐるみロボットの身体動作によるオブジェクト所有表現の有効性
 〇吉田直人・米澤朋子(関西大)
17. 鑑賞者の有無によるダンス学習者の感情と身体動作の違い
 〇鹿内菜穂・八村広三郎(立命館大)
18. 公共交通機関内における身体接触による不快感と痴漢判断の関係
 〇五十嵐由夏・大森馨子・和氣洋美(神奈川大)・巖島行雄(日大)
19. パンチすると嫌になる一身体運動と人物の好意評価との関係一
 〇山田陽平(奈良教大)・八木善彦(立正大)・永井聖剛(産総研)

20. 省エネ行動に向けたタイミング通知インタフェースの効果とその影響
 〇岸 康敬・伊藤京子・西田正吾(阪大)
- ☆HCS 研究会今後の予定 [] 内発表申込締切日
 2月1日(土), 2日(日) 鹿児島大郡元キャンパス [11月11日(月)] テーマ: コミュニケーションの心理とライフステージ, 及び一般

【発表申込先】 下記研究会発表申込システムからお申込み下さい。
<http://www.ieice.org/jpn/ken/kenmoushikomi.html>

【問合せ先】

渡辺昌洋 (NTT)
 E-mail: watanabe.masahiro@lab.ntt.co.jp
 ◎HCS 研究会ホームページを御覧下さい。
<http://www.ieice.org/~hcs/>

★信頼性研究会 (R)

専門委員長 木村光宏 副委員長 馬渡宏泰
 幹事 安里 彰・岡村寛之
 幹事補佐 田村信幸・マラット ザニケエフ

日時 11月14日(木) 14:00~16:30
 会場 中央電気倶楽部(大阪市北区堂島浜 2-1-25. <http://www.chuodenki-club.or.jp/map/map.html> TEL [06] 6345-6351 杉谷全令)

議題 半導体と電子デバイスの信頼性, 信頼性一般

1. 研究開発, 故障解析をサポートする最新のエックス線技術—エックス線検査の基礎から応用まで, 革新技術による観察応用事例を紹介します。— 夏原正仁(島津製作所)
2. ロックインサーモグラフィによる効率的な非破壊故障個所の同定 長友俊信(DCGシステム)
3. 熱衝撃ウイスカの成長に及ぼす基板のNi-Sn金属間化合物の影響 〇斎藤 彰・岡本 朗・岩堀禎浩・小川 誠・元木章博(村田製作所)
4. 温度サイクルによるウイスカの成長一考察 伊藤貞則(イケン)
5. 残存エラー数に基づくソフトウェアのバイズ信頼性解析 貝瀬 徹(兵庫県立大)
6. LSIの高信頼化設計における課題と展望 〇高山浩一郎・安里 彰(富士通)

◆IEEE Reliability Society Japan Chapter 共催 日本信頼性学会 協賛

☆R 研究会今後の予定 [] 内発表申込締切日
 12月13日(金) 機械振興会館 [締切済] テーマ: 信頼性国

第一種研究会開催案内

際規格, 保全性, 信頼性一般

2月21日(金) パナソニック「松心会館」[12月5日(木)]
 テーマ: 機構デバイスの信頼性, 信頼性一般 (共催: 継電器・コンタクトテクノロジー研究会, IEEE CPMT JAPAN, IEEE Reliability Society Japan Chapter, 協賛: 日本信頼性学会)

【発表申込先】 下記研究会発表申込システムからお申込み下さい。
<http://www.ieice.org/jpn/ken/kenmoushikomi.html>

【問合せ先】

安里 彰(富士通)
 E-mail: asato@jp.fujitsu.com

★音声研究会 (SP)

専門委員長 川端 豪 副委員長 河井 恒
 幹事 鈴木基之・戸田智基 幹事補佐 大谷大和・大庭隆伸

日時 11月21日(木) 14:00~17:15
 22日(金) 10:15~15:00

会場 奈良先端科学技術大学院大学先端科学技術研究推進センター1階研修ホール(生駒市高山町 8916-5. 最寄りの駅から大学まではバスが便利です. 詳しいバスのスケジュールは <http://www.naist.jp/accessmap/pdfs/busschedule.pdf> http://www.naist.jp/accessmap/index_j.html キャンパスマップ http://www.naist.jp/campusmap/index_j.html 4番の建物)

議題 合成, 生成, 韻律, 音声一般

21日 合成・変換

1. 統計的歌声声質変換における知覚年齢に基づく声質制御
 〇小林和弘・戸田智基・ニュービグ グラム・サクテイ サクリアニ・中村 哲(奈良先端大)
2. ハイブリッド式電気音声強調法における音源特徴量予測の評価
 〇田中 宏・戸田智基・グラム ニュービグ・サクリアニ サクテイ・中村 哲(奈良先端大)
3. 複合ウェーブレットトラジェクトリモデルに基づく音声合成
 〇北条伸克・亀岡弘和・嵯峨山茂樹(東大)
4. HMM 音声合成における変調スペクトルに基づくポストフィルタ
 〇高道慎之介・戸田智基・Graham Neubig・Sakriani Sakti・中村 哲(奈良先端大)

音声生成

5. 三次元磁気センサシステムにおける送信コイルの配置の最適化についての検討 〇内田秀継・若宮幸平・鎗木時彦(九大)
6. 外部音響励振法を用いた声道特性の測定に関する検討
 〇上江洲安史・松田祥弘・鎗木時彦(九大)

22日午前 オーガナイズドセッション「音声情報処理技術を利用した第二言語の教育・学習支援」1(招待講演)

1. [招待講演] 音声情報処理技術を用いた計算機援用型外国語学習 峯松信明(東大)
- オーガナイズドセッション「音声情報処理技術を利用した第二言語の教育・学習支援」2(招待講演)

2. [招待講演] 英語発音矯正ソフト「GlobalvoiceCALL」の取り組み 藤田雅也(HOYA サービス)

22日午後 オーガナイズドセッション「音声情報処理技術を利用した第二言語の教育・学習支援」3(一般講演)(13:30~)

3. Automatic Prediction of Intelligibility of Spoken Words in Japanese Accented English 〇Teeraphon Pongkittiphon・

Nobuaki Minematsu (Univ. of Tokyo)・
Takehiko Makino (Chuo Univ.)・
Han-Ping Shen (National Cheng Kung Univ.)・
Keikichi Hirose (Univ. of Tokyo)

- 舌特徴空間における言語学習者の違いを比較するための正規化とマッチング手法 ○守屋周祐・矢口勇一・照沼直樹・佐藤綜洋・ウィルソン イアン (会津大)
- 音声認識技術を活用した日本語韻律自動出力システムの開発と改良 ○松崎 寛・今井新悟・古川雅子 (筑波大)

◆日本音響学会；音声研究会共催，IEEE Signal Processing Society Japan Chapter 協賛

◎21日研究会終了後，懇親会を予定しております。

◎会期中は紅葉の季節と重なっているため，奈良県内のホテルが埋まる可能性があります。宿泊の御予約はお早めをお願い致します。

★超音波研究会 (US)

専門委員長 梅村晋一郎 副委員長 橋本研也・松川真美
幹事 美谷周二朗・山口 匡 幹事補佐 野村英之

日時 11月23日(土) 13:00~16:35

会場 同志社大学室町キャンパス (京都市上京区今出川通烏丸東入。地下鉄烏丸線：今出川駅から徒歩1分。http://www.doshisha.ac.jp/information/campus/access/muromachi.html TEL [0774] 65-6292 松川真美)

議題 水中音響，一般

1. Sonar Performance Predictions in the Ocean of High Variability Young-Nam Na (ADD)
2. Sonar strategy of wild echolocating bats (*Pipistrellus abramus*) during foraging flight in the field—Analysis of 3-D flight trajectory and pulse direction measured by a microphone array system— ○Shotaro Watanabe・Miwa Sumiya (Doshisha Univ.)・Emyo Fujioka (FIRST Aihara Project)・Ikkyu Aihara (RIKEN)・Yoshiaki Watanabe・Hiroshi Riquimaroux・Tetsuo Ohta・Shizuko Hiryu (Doshisha Univ.)
3. [招待講演] Acoustic tomography experiment in Hiroshima Bay ○Arata Kaneko・Chuanzheng Zhang・Noriaki Gohda (Hiroshima Univ.)
4. [招待講演] Characteristics of oceanic ambient noise measured in coastal waters around the Korean Peninsula ○Bong-Chae Kim・Bok Kyoung Choi・Byoung-Nam Kim (KIOST)
5. Overview of the last five years studies for ambient noise imaging with acoustic lens ○Kazuyoshi Mori・Hanako Ogasawara・Toshiaki Nakamura (National Defense Academy)・Takenobu Tsuchiya・Nobuyuki Endoh (Kanagawa Univ.)
6. The analysis of sound propagation of very shallow area at Hashirimizu Port ○Hanako Ogasawara・Kazuyoshi Mori・Toshiaki Nakamura (National Defense Academy)

◆海洋音響学会，日本音響学会；超音波研究委員会，IEEE UFFC Society Japan Chapter 共催

☆US研究会今後の予定 [] 内発表申込締切日

12月18日(水) 日大駿河台キャンパス [締切済] テーマ：強力超音波，一般 (共催：日本塑性加工学会超音波応用加工分科会)

1月 関西大 [未定] テーマ：応用 (電気) 音響，超音波，一般 (音響・超音波サブソサイエティ合同研究会)

2月21日(金) JAXA 調布航空宇宙センター [未定] テーマ：アコースティックイメージング，非破壊検査，一般 (共催：日本非破壊検査協会超音波部門，日本音響学会アコースティックイメージング研究会)

【発表申込先】 下記研究会発表申込システムからお申込み下さい。
http://www.ieice.org/jpn/ken/kenmoushikomi.html

【問合先】

山口 匡 (千葉大)

TEL & FAX [043] 290-3267

E-mail: yamaguchi@faculty.chiba-u.jp

美谷周二朗 (東大)

TEL [03] 5452-6122, FAX [03] 5452-6123

E-mail: mitani@iis.u-tokyo.ac.jp

◎最新の情報はホームページで御確認下さい。

http://www.ieice.org/us

★電子デバイス研究会 (ED)

専門委員長 原 直紀 副委員長 前澤宏一

幹事 上田哲三・葛西誠也 幹事補佐 松永高治・鈴木寿一

★電子部品・材料研究会 (CPM)

専門委員長 高野 泰 副委員長 野毛 悟

幹事 圓佛晃次・佐藤知正 幹事補佐 小館淳一・岩田展幸

★レーザ・量子エレクトロニクス研究会 (LQE)

専門委員長 松尾慎治 副委員長 近藤正彦

幹事 田中 有・有賀 博

日時 11月28日(木) 10:30~17:30

29日(金) 9:30~17:10

会場 大阪大学吹田キャンパス理工学図書館ホール (吹田市山田丘2-2。阪急電車千里線：北千里駅(終点)下車東へ徒歩約15分，大阪モノレール：阪大病院前駅下車徒歩約5~15分，阪急バス：・千里中央発「阪大本部前行」，「茨木美穂ヶ丘行」阪大医学部前または阪大本部前下車徒歩約5~15分・北千里発「阪大病院線」，近鉄バス・阪急茨木市駅発「阪大本部前行」(JR茨木駅経由)いずれも，阪大医学部前または阪大本部前下車徒歩約5~15分。http://www.osaka-u.ac.jp/ja/access/accessmap.html TEL [06] 6879-7765 近藤正彦)

議題 窒化物及び混晶半導体デバイス，及び一般

28日午前

1. InGaN 半導体レーザのワット級高出力化とその応用展開
○萩野裕幸・左文字克哉・吉田真治・瀧川信一・瀧澤俊幸・森本 廉・春日井秀紀・山中一彦・片山琢磨 (パナソニック)
2. m 面 GaN の異方性ドライエッチングによるテクスチャーの形成とテクスチャー形成による LED 光取り出し効率の向上
○藤田稔之・山田篤志・井上 彰・加藤 亮・横川俊哉 (パナソニック)
3. 350 nm 紫外 LED 光取り出し効率改善に関する研究

○中嶋 翼・竹田健一郎・岩谷素顕・上山 智・竹内哲也・赤崎 勇 (名城大)・天野 浩 (名大)

4. 内部集光レーザを用いた窒化物半導体デバイス用基板のそり制御—シリコン基板への応用— ○青田奈津子・会田英雄・武田秀俊 (並木精密宝石)

28 日午後 (13:30~)

5. 表面活性化ボンディング法により形成した Si/SiC ヘテロ接合の電気特性 ○西田将太・梁 劍波・森本雅史・重川直輝 (阪市大)・新井 学 (新日本無線)
6. 表面活性化ボンディングによるタンデム太陽電池の作成 ○梁 劍波・重川直輝・西田将太・森本雅史 (阪市大)
7. InGa_N/Ga_N MQW 太陽電池における MQW 構造最適化に関する考察 ○渡邊則之・満原 学・横山春喜 (NTT)・梁 劍波・重川直輝 (阪市大)
8. Ga_N 自立基板上低キャリア厚膜 n-Ga_N ショットキー接触の評価 ○塩島謙次・木原雄平・青木俊周 (福井大)・金田直樹・三島友義 (日立金属)
9. 低 Mg ドープ p-Ga_N ショットキー接触の AC 動作 ○塩島謙次・青木俊周 (福井大)・金田直樹・三島友義 (日立金属)
10. 高輝度電子ビーム源を目指した NEA 表面 p-Ga_N の量子効率 ○前川拓也・本田善央・天野 浩・西谷智博 (名大)
11. MOVPE 法による Ga_N 及び AlGa_N への C ドーピングに関する研究 ○若杉侑矢・本田善央・天野 浩 (名大)
12. A novel method for crystallizations of aluminum nitride ○Wu Pei Tsen・Mitsuru Funato・Yoichi Kawakami (Kyoto Univ.)
13. トンネル接合を用いた多接合窒化物半導体の検討 ○黒川泰視・合田智美・加賀 充・岩谷素顕・竹内哲也・上山 智 (名城大)・赤崎 勇 (名城大/名大)・天野 浩 (名大)

29 日午前

1. 赤色発光 Eu 添加 Ga_N/AlGa_N 多重量子井戸構造の OMVPE 成長と発光特性 ○荒居孝紀・若松龍太・李 東建・小泉 淳・藤原康文 (阪大)
2. 有機金属気相エピタキシャル法により作製した Eu, Si 共添加 Ga_N における欠陥準位の深準位過渡応答測定 ○柴田宗一郎・小泉 淳・藤原康文 (阪大)
3. 加圧 MOVPE 法による InGa_N 厚膜成長に関する研究 ○山下康平・本田善央・山口雅史・天野 浩 (名大)
4. 薄膜 3C-SiC 緩衝層を用いた Si 基板上 Ga_N 成長 ○片桐正義・泉 健太・三宅秀人・平松和政 (三重大)・奥 秀彦・浅村英俊・川村啓介 (エフ・ウオーター R&D)
5. サファイア上 AlN 緩衝層の N₂-CO アニールと MOVPE 法による高温 AlN 成長 ○西尾 剛・三宅秀人・平松和政 (三重大)・福山博之 (東北大)
6. 減圧 HVPE 成長を用いた 6H-SiC 基板上への AlN 成長における核形成制御 ○北川 慎・三宅秀人・平松和政 (三重大)

29 日午後 (13:30~)

7. 270 nm 帯深紫外 LED の大面積形成 ○美濃卓哉 (理研/パナソニック)・平山秀樹 (理研)・野口憲路・高野隆好・椿 健治 (理研/パナソニック)
8. 透明 p 型 AlGa_N を用いた高効率深紫外 LED の実現 ○前田哲利・平山秀樹 (理研)
9. AlGa_N 系深紫外 LED の開発 ○一本松正道・平野 光 (創光科学)・天野 浩 (名大)・赤崎 勇 (名城大)

10. 高効率深紫外 LED を目指したピラー AlN バッファの開発 ○豊田史朗 (埼玉大/理研)・鎌田憲彦 (埼玉大)・平山秀樹 (理研)

11. ALD-Al₂O₃ を有する InAlN MOS 構造の電気的特性に対する作製プロセスの影響 ○千葉勝仁・中野拓真・赤澤正道 (北大)

12. ZrO₂/Al₂O₃ 積層膜をゲート絶縁膜に用いた n-Ga_N MIS ダイオードの界面特性 ○樹神真太郎・徳田博邦・葛原正明 (福井大)

13. 電気化学的手法による Ga_N 多孔質構造の形成と光電極特性 ○熊崎祐介・渡部晃生・谷田部然治・佐藤威友 (北大)

14. Ga_N-HEMT スwitching 回路における不要電磁波の放射特性の評価 ○井手利英・鍛冶良作・清水三聡 (産総研)・水谷研治・上野弘明・大塚信之・上田哲三・田中 毅 (パナソニック)

◎28日研究会終了後、懇親会を予定していますので御参加下さい。

☆ED 研究会

【問合先】

上田哲三 (パナソニック)

TEL [06] 6906-4940, FAX [06] 6906-2426

E-mail: ueda.tetsuzo@jp.panasonic.com

葛西誠也 (北大)

TEL [011] 706-6509, FAX [011] 716-6004

E-mail: kasai@rciqe.hokudai.ac.jp

☆CPM 研究会

【問合先】

佐藤知正 (神奈川大)

TEL [045] 481-5661, FAX [045] 491-7915

E-mail: satout02@kanagawa-u.ac.jp

☆LQE 研究会今後の予定 [] 内発表申込締切日

12月13日(金) 機械振興会館 [締切済] テーマ: 半導体レーザ関連技術, 及び一般

1月23日(木), 24日(金) 同志社大 (今出川) [11月1日(金)] テーマ: 光-無線融合 NW, 新周波数 (波長) 帯デバイス, フォトニック NW・デバイス, フォトニック結晶, ファイバとその応用, 光集積回路, 光導波路素子, 光スイッチング, 導波路解析, 一般

【発表申込先】 下記研究会発表申込システムからお申込み下さい。

<http://www.ieice.org/jpn/ken/kenmoushikom.html>

【問合先】

田中 有 (富士通研)

TEL [046] 250-8251, FAX [046] 250-8146

E-mail: yu_tanaka@jp.fujitsu.com

有賀 博 (三菱電機)

TEL [0467] 41-2906, FAX [0467] 41-2519

E-mail: Aruga.Hiroshi@ab.MitsubishiElectric.co.jp

◎LQE 研究会ホームページ

<http://www.ieice.org/lqe/jpn/>

◎LQE 研究会では平成 18 年度より「LQE 奨励賞」を設けました。対象は発表年度の 4 月 1 日時点で 32 歳以下の若手研究者 (学生を含む) です。積極的に御投稿下さい。

★インターネットアーキテクチャ研究会 (IA)

専門委員長 石橋圭介

副委員長 秋山豊和・地引昌弘・中村 豊

幹事 衛藤将史・松浦知史

幹事補佐 義久智樹・山本 寛・渡里雅史

日時 11月1日(金) 13:10~16:00

会場 グランドプリンスホテル広島 (広島市南区元宇品町 23-1)

<http://www.princehotels.co.jp/hiroshima/>

議題 学生セッション, 一般

学生セッション, 一般

1. パーソナライズド視聴空間を創るクラウド型ライブストリーミングシステムの開発 ○田中克哉・松下知佳生・横山彰之(広島市大)・近堂 徹(広島大)・前田香織(広島市大)
2. 乳児の状態推定とその母親への影響に関する一検討 ○金澤莉奈・佐藤生馬・藤野雄一(公立はこだて未来大)
3. Wi-Fi ネットワーク環境の普及, 及び利用状況の実験評価—北九州市小倉北区魚町銀天街での実験— ○曾我健祐(福岡工大)・野林大起・塚本和也(九工大)・田村 瞳(福岡工大)
4. OpenFlow を用いたトラフィック量に応じた動的経路制御方法の提案 ○中村一彦・林 優一(東北大)・石井秀治・田向忠雄・河合栄治・下條真司(NICT)・曾根秀昭(東北大)

ポスターセッション

5. [ポスター講演] IP モビリティ機能を持たない端末のためのモビリティ支援ルータの開発 ○林 直樹(広島市大)・近堂 徹(広島大)・前田香織(広島市大)・相原玲二(広島大)

◆日本学術振興会; インターネット技術第163委員会共催

◎15:45~学生研究奨励賞表彰式を行います。

☆IA 研究会今後の予定 [] 内発表申込締切日

12月19日(木), 20日(金) 広島市大〔締切済〕テーマ: 性能評価とシミュレーション, 信頼性技術, スループットやトラフィックの計測, 品質(QoS)制御, 輻輳制御, トラフィック・フロー制御, オーバーレイネットワーク・P2P, IPv6, マルチキャスト, ルーティング, DDoS 及び一般

1月30日(木), 31日(金) 機械振興会館〔未定〕

2月27日(木), 28日(金) 未定〔未定〕

【発表申込先】 下記研究会発表申込システムからお申込み下さい。

<http://www.ieice.org/jpn/ken/kenmoushikomi.html>

【問合せ先】

IA 研究会幹事連絡先

E-mail: ia-submission@mail.ieice.org

◎IA 研究会ホームページ

<http://www.ieice.org/cs/ia/jpn/index.htm>

★医用画像研究会 (MI)

専門委員長 清水昭伸 副委員長 増谷佳孝・森 健策

幹事 河田佳樹・木村裕一 幹事補佐 北坂孝幸・本谷秀堅

日時 11月7日(木) 9:30~16:50

会場 広島市立大学講堂小ホール (広島市安佐南区大塚東 3-4-

1. <http://www.hiroshima-cu.ac.jp/page/content0002.html>

青山正人)

議題 画像による生体計測

放射線治療での画像処理

1. EOB プリモビスト MRI を用いた肝放射線治療後の局所肝機能の推定—EOB MRI 画像と放射線治療線量分布図の融合手法の開発— ○檜垣 徹・中村優子・木村智樹・永田 靖・栗井和夫(広島大)
2. 2D/3D レジストレーションに基づく高精度放射線治療時における患者体内4次元線量分布自動推定システムの開発 ○仲本宗泰・有村秀孝・中村和正(九大)・塩山善之(佐賀ハマト)・溝口明日実(久留米大病院)・広瀬貴章(九大病院)・本田 浩(九大)・梅津芳幸・中村泰彦(九大病院)・平田秀紀(九大)

心臓

3. 周期性を考慮したFFDによる心電図同期心臓CT画像の動態解析 ○浜岡裕之・古川 亮・青山正人・馬場雅志・宮崎大輔(広島市大)・青木広宙(千歳科技大)・日浦慎作(広島市大)
4. 主成分分析を用いた左心室形状の動態解析 ○高谷一真・青山正人・古川 亮(広島市大)・青木広宙(千歳科技大)・宮崎大輔・馬場雅志・日浦慎作(広島市大)・山本秀也・木原康樹(広島大)

特別講演

5. [特別講演] アクティブステレオ画像計測を応用した医用生体計測 ○青木広宙(千歳科技大)・川崎 洋(鹿児島大)・佐川立昌(産総研)・古川 亮(広島市大)

午後 表示技術(13:40~)

6. 高次元特徴量空間を用いた対話型ボリューム可視化方法 ○竹本真太郎・中尾 恵(京大)・佐藤哲大・杉浦忠男(奈良先端大)・松田哲也(京大)
7. 放射光CT画像による肺二次小葉の肺ミクロ構造解析 ○福岡泰規・河田佳樹・仁木 登(徳島大)・梅谷啓二(高輝度光科学研究センター)・中野恭幸(滋賀医科大)・大松広伸(国立がん研究センター東病院)・森山紀之(東京ミッドタウンクリニック)・伊藤春海(福井大)

臓器抽出アルゴリズム

8. Superpixels を用いた3次元CT像からの肝領域抽出手法の開発 ○早田啓介・大宮 淳・近藤敏志(パナソニックヘルスケア)・高山 強・竹村知晃(パナソニックメディカルソリューションズ)
9. 大腸NBI内視鏡画像の領域分割 ○平川 翼・玉木 徹・ライチエフ ビセル・金田和文・小出哲士・小南陽子・宮木理恵・松尾泰治・吉田成人・田中信治(広島大)
10. 多時相CT像からの膵臓抽出処理の改良 ○渡部秀文・清水昭伸(東京農工大)・縄野 繁(国際医療福祉大)
11. Radial Structure Tensor 及び機械学習に基づく縦隔リンパ節検出手法 ○小田紘久・羅 雄彪・二村幸孝・小田昌宏(名大)・北坂孝幸(愛知工大)・岩野信吾(名大)・本間裕敏(札幌厚生病院)・高島博嗣(札幌南三条病院)・森 雅樹(札幌厚生病院)・名取 博(恵和会西岡病院)・森 健策(名大)

☆MI 研究会今後の予定 [] 内発表申込締切日

1月 沖繩近辺〔未定〕テーマ: 未定

【発表申込先】 下記研究会発表申込システムからお申込み下さい。

<http://www.ieice.org/jpn/ken/kenmoushikomi.html>

【問合せ先】

医用画像研究会世話人

E-mail : mi-submit@mail.ieice.org

上記で連絡がつかないとき

本谷秀堅 (名工大情報工学科)

TEL [052] 735-5434

E-mail : hontani@nitech.ac.jp

★コンピュータシステム研究会 (CPSY)

専門委員長 吉永 努 副委員長 安里 彰・中島康彦

幹事 中野浩嗣・入江英嗣 幹事補佐 井上浩明・大川 猛

日時 11月8日(金) 9:00~18:05

会場 広島大学東広島キャンパス広島大学学生会館レセプション
ホール (東広島市鏡山 1-3-2. JR 西条駅からバス 20 分, JR
広島駅からバス 75 分. http://www.hiroshima-u.ac.jp/gecbo/p_3e2399.html TEL [082] 424-5363 中野浩嗣)

議題 クラウド, ネットワーク及び一般

プロセッサ及びアクセラレーション

- レジスタ値の部分更新による低消費エネルギー指向ヘテロジニアス・クラスタ型プロセッサ ○川合翔麻・小林良太郎 (豊橋技科大)・嶋田 創 (名大)
- 割り込み要求線バンドルによる高信頼割り込みインタフェースの評価 ○野村隼人 (豊橋技科大)・嶋田 創 (名大)・小林良太郎 (豊橋技科大)
- The Approximate String Matching on the Hierarchical Memory Machine, with Performance Evaluation ○Duhu Man・Koji Nakano・Yasuaki Ito (Hiroshima Univ.)
- GPU を用いたハフ変換の実装 ○逢郷典大・中野浩嗣・伊藤靖朗 (広島大)

認識アーキテクチャ

- 大腸 NBI 拡大内視鏡画像診断支援のためのリアルタイム特徴量抽出アーキテクチャ ○三島 翼・重見 悟・Hoang Anh-Tuan・小出哲士・玉木 徹・Raytchev Bisser・金田和文・小南陽子・宮木理恵・松尾泰治・吉田成人・田中信治 (広島大)
- 大腸 NBI 拡大内視鏡画像診断支援のためのリアルタイムタイプ識別アーキテクチャ ○重見 悟・三島 翼・坂下慶勝・Hoang Anh-Tuan・小出哲士・玉木 徹・Raytchev Bisser・金田和文・小南陽子・宮木理恵・松尾泰治・吉田成人・田中信治 (広島大)
- Pipeline Scanning Architecture for Traffic Sign Detection with Computation Reduction ○Anh-Tuan Hoang・Masaharu Yamamoto・Mutsumi Omori・Tetsushi Koide (Hiroshima Univ.)
- 局所特徴量を用いたリアルタイム速度標識認識アーキテクチャ ○山本真晴・ホアン イン トゥワン・大森睦己・小出哲士 (広島大)

午後 招待講演

- 〔招待講演〕 Google クラウドが実現する大規模並列クエリサービス 佐藤一憲 (ゲージル)
- 〔招待講演〕 ビッグデータの今と HW/SW を融合したアプリケーションの実力 一志達也 (日本 IBM)
- ストレージシステム
- データ処理基盤における加速器連携機構の検討 ○川島英之 (筑波大)・三好健文 (イーツー・ジャパン)
- フラッシュ向け Linux スワップシステムの評価

第一種研究会開催案内

○丹 英之 (アルファシステムズ/JST)・緑川博子 (成蹊大/JST)

- 耐障害性を考慮したオブジェクトストレージへのファイルストレージバックアップ方式 赤川悦太郎 (日立)
 - ネットワークシステム
 - P2P ファイル共有システムのための木構造ベースの整合性維持手法 ○中島大志・藤田 聡 (広島大)
 - マスターピアの負荷分散を考慮した P2PAOI 管理手法 ○田村陽介・藤田 聡 (広島大)
 - Autonomous System 間のトラフィックを抑制した P2P コンテンツ配信システム ○神崎俊太・藤田 聡 (広島大)
 - クラウドシステム
 - クラウド環境における透過的データアクセスと計算リソースの動的共有手法 ○中島拓真・吉見真聡・入江英嗣・吉永 努 (電通大)
 - クラウド上での Hadoop ジョブの性能変動 ○合田憲人・Omar Abdul-Rahman・坂根栄作・本山一隆 (NII)
 - 仮想システム間の連携を考慮した配備エンジンの提案と実装 ○鈴木和宏・繁田聡一・山島弘之・福山訓行 (富士通研)
- ◎研究会終了後, 懇親会を予定しておりますので御参加下さい。
☆CPSY 研究会今後の予定 [] 内発表申込締切日
11月27日(水)~29日(金) 鹿児島県文化センター [締切済]
テーマ: デザインガイア 2013—VLSI 設計の新しい大地—

【問合先】

安里 彰 (富士通)

TEL [044] 754-3233, FAX [044] 754-3214

E-mail : asato@jp.fujitsu.com

★応用音響研究会 (EA)

専門委員長 岩谷幸雄 副委員長 三好正人・荻木禎史

幹事 戸上真人・水町光徳 幹事補佐 宮部滋樹

★マルチメディア情報ハイディング・エンリッチメント研究会(EMM)

専門委員長 越前 功 副委員長 新見道治・西村竜一

幹事 鶴木祐史・川村正樹 幹事補佐 栗林 稔・小嶋徹也

日時 11月14日(木) 13:00~18:00

15日(金) 9:15~17:45

会場 県立広島大学サテライトキャンパスひろしま (広島市中区
大手町 1-5-3. 広電紙屋町西より徒歩 2 分または広島バスセン
ターより徒歩 3 分. <http://www.pu-hiroshima.ac.jp/site/satellite/> TEL [082] 258-3131 生田 顕)

議題 異種メディア融合, コンテンツ処理, メディア検索, 電子透かし, 一般

14日

- デシベル評価とエネルギー観測に整合した相関情報推定と応答分布予測 生田 顕・折本寿子・小川仁士・肖 業貴 (県立広島大)
- 体内音を用いた不快感情検出の基礎的検討 ○上田平拓之・緑川洋一・秋田昌憲 (大分大)
- 視聴覚教育工学での音波・EM 波・倫理間相関の一局面—Blended Learning と Relationism-First 下の散策・実測へ— ○藤田幸史 (尾道市大)・太田光雄 (広島大名)・生田 顕 (県立広島大)・河尻義孝 (日の丸産業)
- 切り抜き攻撃に耐性を持つ DCT-OFDM 型電子透かし方式

告 25

- 八家匡希・栗林 稔・森井昌克（神戸大）
5. 複製の検知を目的とした2次元コード用電子透かしの進化的設計
○小野智司・前原 武・宮本龍二・谷山大介・坂口裕一・池田 亮・谷口康太郎・中山 茂（鹿児島大）
6. 色情報を用いた文字パターンへの付加情報埋め込み
○奥木翔平・菅谷至寛・大町真一郎（東北大）
7. マイクロホンアレーにおける音質補正フィルタに関する検討
○岸本涼鷹・桑原佑輔・藤井健作（兵庫県立大）・棟安実治（関西大）・森本雅和（兵庫県立大）
8. 予測誤差に基づく適応符号帳を用いたMPEGサラウンド方式の改善検討
○岸 洋平・釜野 晃・大谷 猛（富士通研）・鈴木政直（富士通）
9. 高分子材料溶液を用いたオーディオ機器の雑音低減と音質改善
○喜多雅英・西村公伸（近畿大）

15日午前

1. 音源分離技術を利用した音楽電子透かし法
○村田晴美（中京大）・萩原昭夫（近畿大）
2. 音韻修復現象に着目した音声半開示スクランブル法
○山本克彦・朱 治・鶴木祐史（北陸先端大）・青木直史（北大）
3. 多面的な探索を提供するアプリ検索インタフェースの評価
梶山朋子（青学大）
4. 拡張音響現実に用いる2種の音響デバイスの音声了解度比較
○小林洋介（山形大）・穴沢直也（日立アドバンスデジタル）・近藤和弘（山形大）
5. 二輪車・歩行者用拡張音響現実型端末の風雑音対策の検討
○三浦正範・近藤和弘（山形大）

15日午後（12:45～）

6. [招待講演] 情報ハイディングへの音楽理論の応用
萩原昭夫（近畿大）
7. CSN-SS信号による残響時間測定の効率化について
○中原優樹・金田 豊（東京電機大）
8. インパルス応答測定のための有色疑似雑音の検討
○篠原 亮・金田 豊（東京電機大）
9. 分布振動モード形スピーカの振動特性解析手法
○高柳昂平・鮫島俊哉・河原一彦（九大）
10. 単一ドットを用いた印刷物への情報付加方式における攻撃耐性の考察
○北澤宏泰・金田北洋・岩村恵市（東京理科大）・越前 功（NII）
11. 拡張現実システムにおける難視性パターンの前景耐性の評価
○乾 智貴・金田北洋・岩村恵市（東京理科大）・越前 功（NII）
12. 3Dプリンタ出力物内部の二次元コードの検出
○今井政敬・茂出木敏雄・廣川慧吾・加藤大樹・有吉俊雄・櫻井快勢（DNP）

◆日本音響学会；電気音響研究会共催

☆EA研究会今後の予定〔 〕内発表申込締切日

12月13日（金）、14日（土）金沢大サテライトプラザ〔未定〕テーマ：一般

1月 関西大〔未定〕テーマ：応用（電気）音響，超音波，一般（音響・超音波サブサイエティ合同研究会）

2月 休会

【発表申込先】 下記研究会発表申込システムからお申込み下さい。

<http://www.ieice.org/jpn/ken/kenmoushikomi.html>

【問合せ先】

水町光徳（九工大）

TEL [093] 884-3245, FAX [093] 884-3203

E-mail: mizumach@ecs.kyutech.ac.jp

☆EMM研究会今後の予定〔 〕内発表申込締切日

1月27日（月）、28日（火）東北大〔未定〕テーマ：臨場感生成，ユニバーサルメディア，デジタルエンタテインメント，一般

【発表申込先】 下記研究会発表申込システムからお申込み下さい。

<http://www.ieice.org/jpn/ken/kenmoushikomi.html>

【問合せ先】

西村竜一（NICT）

TEL [0774] 98-6404, FAX [0774] 98-6967

E-mail: ryou@nict.go.jp

★アンテナ・伝播研究会（A・P）

専門委員長 新井宏之 副委員長 長 敬三

幹事 高橋 徹・榊原久二男 幹事補佐 道下尚文

★無線通信システム研究会（RCS）

専門委員長 府川和彦 副委員長 村田英一・岡本英二

幹事 小西 聡・ベンジャブール アナス

幹事補佐 星野正幸・増野 淳・森田基樹・岡崎彰浩・三上 学

◎本研究会はA・P研究会とRCS研究会の併催です。研究会資料は各研究会ごとに発行されます。

日時 11月20日（水）14:00～18:05

21日（木）10:00～18:35

22日（金）9:20～15:45

会場 松江テルサ（松江市朝日町478-18。JR松江駅北口より徒歩1分。<http://www.sanbg.com/terrsa/> TEL [0852] 31-5550（会場）森田基樹（NEC）

議題 アダプティブアンテナ，等化，干渉キャンセラ，MIMO，無線通信，一般

20日 AP1（大会議室）（14:00～15:15）

A・P-1. 45度直線偏波薄板積層導波管スロットアレーアンテナの広帯域設計
○戸村 崇・広川二郎・平野拓一・安藤 真（東工大）

A・P-2. Uスロット装荷円形MSAを用いた直線偏波ラジアルラインMSAアレーアンテナの設計法
○木村雄樹・齊藤作義・木村雄一（埼玉大）

A・P-3. 中空方形同軸線路を用いた一層構造並列給電スロットアレーアンテナ
○佐野 誠・広川二郎・安藤 真（東工大）

AP2（大会議室）（15:25～16:40）

A・P-4. FDTD法を用いた周期構造中に非周期波源が存在するモデルの解析
○坂本寛明・宇野 亨・有馬卓司（東京農工大）

A・P-5. オンチップアンテナのイオン照射による放射効率の改善
○矢尾裕樹・平野拓一・岡田健一・広川二郎・安藤 真（東工大）

A・P-6. アンテナ配置の対称性を利用した空間固有モード減結合法
○村田健太郎・本間尚樹（岩手大）

RCS3（大会議室）（16:50～17:40）

RCS-7. マルチユーザMIMOシステムにおけるフィールド実験結果
○長橋崇晴・宮坂浩平・秋山拓也・松江英明・山口一弘（諏訪東京理科大）・蓮井昭夫・上角久仁夫・

降幡聡史 (安曇野市)・滑 孝和・福井 博・坂本弘孝・宇野 誠 (ミライト・テクノロジズ)・七松 敏 (中央リド-情報通信研)

RCS-8. 次世代空港面通信規格 AeroMACS の仙台空港における事前評価 ○森岡和行・金田直樹・ニッ森俊一・本田純一・河村暁子・米本成人・住谷泰人 (電子航法研)

RCS1 (中会議室) (14:00~15:15)

RCS-9. ブロック対角ビームフォーミングを用いる基地局間連携マルチユーザ MIMO におけるビームフォーミング行列制御法の比較評価 ○野中信秀・樋口健一 (東京理科大)

RCS-10. DFT-Precoded OFDMA における Star QAM のキュービックメトリックを考慮した信号空間配置の検討 ○森 千尋 (東京都市大)・川村輝雄 (NTT ドコモ)・佐和橋 衛 (東京都市大)

RCS-11. OFDM-MIMO 多重におけるターボ SIC 信号分離を用いたときの MCS 選択誤り及びチャネル推定誤差の影響の検討 ○韓 冰 (東京都市大)・川村輝雄・柿島佑一 (NTT ドコモ)・佐和橋 衛 (東京都市大)

RCS2 (中会議室) (15:25~16:40)

RCS-12. カオス MIMO-OFDM 伝送の復号計算量削減に関する検討 ○稲葉悠馬・岡本英二 (名工大)

RCS-13. GI 越えマルチパス環境のための SDM MIMO-OFDM 用チャネル等化器 ○竹内知明 (NHK-ES)・渋谷一彦 (NHK)

RCS-14. 周辺環境適応型チャネル棲み分けに基づく動的マルチチャネル配置法 ○松村祐輝・天間克宏 (東北大)・石原浩一・ヒランタ アベ-セーカラ・熊谷智明 (NTT)・安達文幸 (東北大)

RCS4 (中会議室) (16:50~18:05)

RCS-15. マルチユーザ MIMO 実験システムにおけるタイミング同期及び周波数オフセット補償に関する一検討 ○佐藤弘基・村田英一 (京大)

RCS-16. 有相関伝搬路における BP アルゴリズムを用いた大規模 MIMO 信号検出法に関する検討 ○福田 航・安孫子卓史・西村寿彦・大鐘武雄・小川恭孝 (北大)・大渡裕介・岸山祥久 (NTT ドコモ)

RCS-17. Multicast protocol for adhoc network environments ○Martinez Aldo・Takuro Sato (Waseda Univ.)

21 日午前 AP3 (大会議室) (10:00~10:50)

A・P-1. LOS-MIMO 伝送における狭ビーム形成によるパラレル伝送について ○白井孝明・西森健太郎・堅岡良知・牧野秀夫 (新潟大)

A・P-2. 時変動マルチユーザ MIMO システムにおけるチャネル予測手法の効果に関する考察 ○山口歌奈子・小川恭孝・西村寿彦・大鐘武雄 (北大)

AP4 (大会議室) (11:00~11:50)

A・P-3. Very Large MIMO における実伝搬データを用いた線形制御法の性能評価 ○堅岡良知・西森健太郎 (新潟大)・トラン ゴクハオ・今井哲朗 (NTT ドコモ)

A・P-4. 直交指向性を用いたミリ波 MIMO 通信の位置ずれ許容性に関する検討 ○新井麻希・関 智弘・平賀 健・坂元一光・俊長秀紀・中川匡夫 (NTT)

RCS5 (中会議室) (10:00~10:50)

RCS-5. QZSS ショートメッセージ SS-CDMA 通信における周波数偏差の影響 ○平 明德・三宅裕士・亀田 卓・末松憲治・高木 直・坪内和夫 (東北大)

RCS-6. QRM-MLD とチャネルランキングを適用した HTRCI-MIMO/OFDM における非線形高速フェージング補償 ○井田悠太 (山口大)・夜船誠致 (広島市大)・安 昌俊 (千葉大)・松元隆博・松藤信哉 (山口大)

RCS6 (中会議室) (11:00~11:50)

RCS-7. マルチユーザ MIMO-OFDM システムにおけるインプリシットフィードバックの実験評価 ○福園隼人・村上友規・工藤理一・鷹取泰司・溝口匡人 (NTT)

RCS-8. LTE-Advanced 下りリンクにおける Smart Vertical MIMO の CSI フィードバックの量子化ビット数に関する屋外伝送実験検討 ○武田大樹・井上祐樹・齊藤敬佑・川村輝雄・安藤英浩 (NTT ドコモ)

21 日午後 特集セッション MIMO 技術の更なる進化に向けて 1 (大会議室) (13:00~14:00)

共通-9. [依頼講演] マイクロセル環境における FD-MIMO 性能評価のための基地局側垂直方向チャネル特性の実験的検討—屋外-屋内伝搬環境の場合 (O2I シリア) — ○北尾光司郎・今井哲朗・齋藤健太郎・奥村幸彦 (NTT ドコモ)

共通-10. [依頼講演] MIMO アンテナシステムのセンシング応用について ○本間尚樹・今野恵太 (岩手大)・西森健太郎 (新潟大)・竹村暢康・満井 勉 (日本サミツ研究所)・佐藤宏明・恒川佳隆 (岩手大)

特集セッション MIMO 技術の更なる進化に向けて 2 (大会議室) (14:10~15:40)

共通-11. [依頼講演] PSAM QO-STBC マクロダイバーシティとその展開 唐沢好男 (電通大)

共通-12. [依頼講演] LTE-Advanced 下りリンクにおける Smart Vertical MIMO の屋外伝送実験 ○井上祐樹・武田大樹・齊藤敬佑・川村輝雄・安藤英浩 (NTT ドコモ)

共通-13. [依頼講演] Full-dimensional MIMO (FD-MIMO): Opportunities and Challenges ○Oussama Souihli・Yasuyuki Hatakawa・Satoshi Konishi (KDDI R & D Labs)

IEEE AP-S Japan Chapter 特別講演 (大会議室) (15:50~16:40)

A・P-14. [特別講演] 赤外線光逆散乱のコンピュータビジョン的アプローチ (口頭発表) 玉木 徹 (広島大)

URSI-F 特別講演 (大会議室) (16:50~17:40)

A・P-15. [特別講演] 衛星搭載レーダによる地球規模雨滴粒径分布推定—航空機実験から GPM/DPR まで— (口頭発表) ○古津年章 (島根大)・井口俊夫 (NICT)

招待講演 1 (大会議室) (17:50~18:35)

共通-16. [招待講演] 高速時変伝送路に適した差動時空符号化とその無線通信システムへの応用 久保博嗣 (立命館大)

22 日午前 AP5 (大会議室) (9:20~10:35)

A・P-1. 周波数特性を有するマルチバンド信号の到来方向推定に関する検討 ○寺田 翼・西村寿彦・小川恭孝・大鐘武雄 (北大)・山田寛喜 (新潟大)

A・P-2. 遅延の広がり OFDM のガードインターバルを超えるマルチパス環境における最大比合成ダイバーシティ特性の等価伝送路モデルによる解析 [III] —基本式の導出と提案手法のまとめ— ○唐沢好男・鄭 鶯仙 (電通大)

A・P-3. インプリシットフィードバックビーム形成を用いた複数 AP 同時送信技術 ○村上友規・福園隼人・鷹取泰司・溝口匡人 (NTT)

AP6 (大会議室) (10:45~12:00)

A・P-4. 多重波環境マイクロ波センサに適した生体方向推定法

- の評価 ○今野恵太・笹川 大・本間尚樹 (岩手大)・西森健太郎 (新潟大)・竹村暢康・満井 勉 (サンス日本研究所)・佐藤宏明・恒川佳隆 (岩手大)
- A・P-5. OQPSK 信号を利用した MIMO センサ用伝搬チャネル推定の実環境評価 ○田代 翼・西森健太郎 (新潟大)・満井 勉・竹村暢康 (サンス日本研)
- A・P-6. 分散 MIMO アンテナの有用性評価 ○佐藤友博・高橋応明・伊藤公一 (千葉大)・天野良晃・中野雅之・山口 明 (KDDI 研)

RCS7 (中会議室) (9:20~10:35)

- RCS-7. OFDM 伝送における干渉推定に基づく繰り返し復号法
○依田尚賢・大槻知明 (慶大)・増野 淳・杉山隆利 (NTT)
- RCS-8. Massive MIMO-OFDM システムにおけるエクスプリシットフィードバック法
○工藤理一 (NTT)・サイモン アーマー・ジョーマギーアン (ブリストル大)・溝口匠人 (NTT)

- RCS-9. サブキャリア送信電力制御を用いたブラインド型アダプティブアレー
○丸田一輝・増野 淳・杉山隆利 (NTT)

RCS8 (中会議室) (10:45~12:00)

- RCS-10. 下りリンク NOMA におけるマルチユーザ電力割り当て及びスケジューリング法に関する検討
○ベンジャブール アナス (NTT ドコモ)・Anxin Li (ドコモ北京研)・岸山祥久 (NTT ドコモ)・原田 篤 (ドコモ北京研)・中村武弘 (NTT ドコモ)

- RCS-11. LTE-Advanced 上での端末間直接通信のためのリソース制御の検討
○山崎智春・榮祝剛洋・藤代真人・守田空悟 (京セラ)

- RCS-12. QAM 信号を一次変調に用いた差動時空間符号化方式の検討
○梅田周作・加藤泰典・塚本 薫・岡崎彰浩・石津文雄 (三菱電機)

22 日午後 チュートリアル講演 (大会議室) (13:00~13:50)

- 共通-13. [チュートリアル講演] 移動通信用基地局アンテナの開発と現状
○井原泰介・川合裕之・吉原龍彦 (NTT ドコモ)

招待講演 2 (大会議室) (14:00~14:45)

- 共通-14. [招待講演] マルチユーザ MIMO システムにおけるユーザ端末共同干渉キャンセル
村田英一 (京大)

RCS9 (大会議室) (14:55~15:45)

- RCS-15. 2 ホップ再生量子化中継伝送における LLR 適応量子化に関する一検討
○野川裕一朗・衣斐信介・三瓶政一 (阪大)
- RCS-16. サイクリックプレフィックスの周期性を用いた自律端末間同期手法に関する一検討
○奥山達樹・衣斐信介・三瓶政一 (阪大)

RCS10 (中会議室) (14:55~15:45)

- RCS-17. Stochastic Resonance and The Secrecy Capacity of Wiretap Channels
○Oussama Souhli (KDDI R & D Labs)・Tomoaki Ohtsuki (Keio Univ.)
- RCS-18. マルチユーザ MIMO のためのプロジェクトION・オペレータを用いたブロック対角化 THP
○板倉達哉・田野 哲 (岡山大)

◆IEEE AP-S Japan Chapter, URSI-F 共催

◎21日研究会終了後、懇親会を予定していますので御参加下さい。

☆A・P 研究会今後の予定 [] 内発表申込締切日

- 12月12日(木) 機械振興会館〔締切済〕 テーマ：一般
- 12月20日(金) 沖縄県内〔11月10日(日)〕 テーマ：無線設備・アンテナシステム測定技術
- 1月8日(水)~10日(金) Le Quy Don Technical Univ.

(Hanoi)〔締切済〕 テーマ：Vietnam-Japan International Symposium on Antennas and Propagation

1月22日(水), 23日(木) 宝山ホール (鹿児島県文化センター)〔11月10日(日)〕 テーマ：電波伝搬, 一般

2月6日(木) (開催日変更) 小島プレス (愛知県)〔12月6日(金)〕 テーマ：一般

【発表申込先】 下記研究会発表申込システムからお申込み下さい。
<http://www.ieice.org/jpn/ken/kenmoushikomi.html>

【問合先】

榊原久二男 (名工大)

E-mail: ap_ac-secretary@mail.ieice.org

☆RCS 研究会今後の予定 [] 内発表申込締切日

12月19日(木), 20日(金) 高松市文化芸術ホール〔締切済〕 テーマ：モバイル, アドホック, ユビキタス, 無線, セキュリティ, マルチアクセス, アクセスネットワーク・UserNetworkInterface, Home ネットワーク, 一般

1月23日(木), 24日(金) 九大〔11月5日(火)〕 テーマ：無線通信のための信号処理及び一般

【発表申込先】 下記研究会発表申込システムからお申込み下さい。
<http://www.ieice.org/jpn/ken/kenmoushikomi.html>

【問合先】

森田基樹 (NEC)

E-mail: racs_ac-entry@mail.ieice.org

——四国支部における開催——

★知能ソフトウェア工学研究会 (KBSE)

専門委員長 松浦佐江子 副委員長 飯島 正

幹事 糸野文洋・竹内広宜 幹事補佐 後藤隆彰・青木善貴

日時 11月1日(金) 13:30~17:50

2日(土) 9:30~14:15

会場 愛媛大学城北キャンパス校友会館研究交流スペース (松山市文京町3. 松山空港からリムジンバスでJR松山駅下車後, 路面電車で「赤十字病院前」下車(約40分). <http://www.ehime-u.ac.jp/access/johoku/index.html> TEL [089] 927-8525 阿萬裕久)

議題

1日

- IC カードを用いた出席管理システムの設計と実装
○三谷素弘・堀 幸雄・今井慈郎 (香川大)
- 安否確認のための Twitter を活用した情報収集システム
○京兼正和・堀 幸雄・今井慈郎 (香川大)
- ファイル編集履歴に基づいてデザインパターン適用事例を分析する手法の検討
○浦田大地・吉田則裕・藤原賢二・飯田 元 (奈良先端大)
- [招待講演] ソフトウェアメトリクスとその関連分野の研究動向について
阿萬裕久 (愛媛大)
- 学習支援のためのスマートフォンアプリ開発の問題点
○窪田英人・堀 幸雄・今井慈郎 (香川大)
- Reviewer Recommendation for Software Peer Review based on Review History of Patch Files: A Case Study of the Android Open Source Project
○Patanamon Thongtanunam・Ana Erika Camargo Cruz・Norihito Yoshida・Hajimu Iida (NAIST)

2日午前

1. Ontology design based on community knowledge to enhance open source activity ○Khan Md. Mahfuz Salam ・ Tetsuro Nishino (Univ. of Electro-Comm.)
2. シナリオを利用したサブゴール選択のための要求の妥当性及び評価に関する研究 ○岡野道太郎・中谷多哉子(筑波大)
3. 要求変更の予測を行うための分析枠組みの提案 ○中谷多哉子(筑波大)・妻木俊彦(NII)
4. ACCシステムを対象としたアシュアランスケース適用実験 松野 裕(電通大)

2日午後

5. JavaScriptを使用したWebサイトのアクセシビリティ評価支援 ○大原圭木(早大)・岩田 一(神奈川工科大)・白銀純子(東京女子大)・深澤良彰(早大)
6. 屋内シミュレーションのための知識のDSL表現とその利用 ○飯島 正・岩佐貴俊(慶大)

☆KBSE研究会今後の予定 []内発表申込締切日
1月27日(月), 28日(火) 機械振興会館 [11月6日(水)]
テーマ:一般

【発表申込先】 下記研究会発表申込システムからお申込み下さい。

<http://www.ieice.org/jpn/ken/kenmoushikomi.html>

【問合先】

松浦佐江子(芝浦工大)

E-mail: matsuura@se.shibaura-it.jp

◎最新の情報はKBSE研究会ホームページで御確認下さい。

<http://www.sayo.se.shibaura-it.ac.jp/kbse/>

——九州支部における開催——

★情報通信システムセキュリティ研究会 (ICSS)

専門委員長 菊池浩明 副委員長 三宅 優・盛合志帆
幹事 西出隆志・白石善明 幹事補佐 植田 武

日時 11月12日(火) 13:00~16:30

会場 西新プラザ(福岡市早良区西新2-16-23. 西新駅7番出口より徒歩約10分. <http://www.kyushu-u.ac.jp/university/institution-use/nishijin/> TEL [092] 831-8104 西出隆志(筑波大))

議題 通信セキュリティ, 一般

1. [特別招待講演] Cyber Security Trends Analysis 2013 正木健介(NRI セキュア)
2. Webサイトへの攻撃に対する多段階トラヒック分析方式の評価 ○八木 毅・針生剛男(NTT)・高倉弘喜(名大)
3. An Implementation of Automatic ACL Management using RCU List Manipulation Primitives ○Ruo Ando (NICT) ・ Masaki Hashimoto ・ Toshiharu Harada (IISEC)
4. On the Risk of DNS Cache Vulnerability "Ghost Domain Names" ○Hiroaki Kikuchi (Meiji Univ.) ・ Tomohiro Arimizu (Tokai Univ.)
5. 実行命令系列の出現頻度に着目したOEP特定手法の提案 ○中村徳昭・森井昌克(神戸大)・伊沢亮一・井上大介・中尾康二(NICT)
6. PC固有のIDを用いた暗号化によるローカルエリアネットワークにおけるセキュリティー向上の提案 ○吉村康佑・児玉賢史・明石重男(東京理科大)

7. 非負値行列分解を用いたボットネット検出実験

○川村勇氣(九大)・島村隼平(ケルウイト)・中里純二(NICT)・吉岡克成(横浜国大)・衛藤将史・井上大介(NICT)・竹内純一(九大)・中尾康二(NICT)

【問合先】

三宅 優(KDDI 研)

TEL [049] 278-7367, FAX [049] 278-7510

E-mail: icss-request@mail.ieice.org

◎最新情報は, ICSS研究会ホームページを御覧下さい。

<http://www.ieice.org/~icss/index.html>

★ネットワークシステム研究会 (NS)

専門委員長 漆谷重雄 副委員長 平松 淳

幹事 木下和彦・柴田哲良 幹事補佐 金子雅志

★コミュニケーションクオリティ研究会 (CQ)

専門委員長 高橋 玲 副委員長 板倉英三郎・矢守恭子

幹事 岡本 淳・平栗健史 幹事補佐 山崎康広

★情報通信マネジメント研究会 (ICM)

専門委員長 高野 誠 副委員長 登内敏夫・木下和彦

幹事 増田 健・野村祐士 幹事補佐 湯本一磨

◎本研究会はNS研究会とCQ研究会, ICM研究会の併催です。研究会資料は各研究会ごとに発行されます。

日時 11月14日(木) 9:30~18:30

15日(金) 9:25~16:10

会場 福江文化会館(五島市池田町1-2. 福江空港からバスで13分, 福江港から徒歩で10分. http://www3.city.goto.nagasaki.jp/contents/living/detail.php?content_id=2243&category_id=704)

議題 ネットワーク品質, ネットワーク計測・管理, ネットワーク仮想化, ネットワークサービス, 一般

14日午前 ICM1 (A会場) (9:30~11:10)

ICM-1. TCPフロー制御の特性を用いたパッシブ計測による物理帯域推定方式 ○大川尚義・野村祐士(富士通研)

ICM-2. ITシステムの障害対応効率化に向けたネットワークトラヒック可視化技術の検討 ○山崎謙太・加藤真理子・平島陽子・森村知弘(日立)

ICM-3. 階層的なロケータ番号自動割当てプロトコル HANA の監視・可視化システムの設計と実装 ○藤川賢治(NICT)・林 経正(NTT)・酒井明彦(TNT)・原井洋明(NICT)

ICM-4. 仮想化ネットワークの管理手法に関する一検討 ○西尾 学・武 直樹(NTT)

NS1 (B会場) (9:30~11:10)

NS-5. Improved Social Utility of P2P Streaming with a VBR-Based Substream Design

Marat Zhanikeev (Kyushu Inst. of Tech.)

NS-6. 制御パケット判別による遅延挿入形P2PTVトラヒック誘導方式のQoS/QoE評価 ○篠崎友希・三好 匠(芝浦工大)・オリヴィエ フルモー (UPMC)

NS-7. ネットワークバス上の複数区間の利用可能帯域計測手法 鯉谷和正・○長谷川 剛・村田正幸(阪大)

NS-8. リンクアグリゲーションを考慮したTCP/IPベースの

ファイル転送方式 ○山中顕次郎・青木道宏・漆谷重雄 (NII)

招待講演 1 (A 会場) (11:20~12:05)

共通-9. [招待講演] NTT コミュニケーションズの OpenFlow/SDN の取り組み ○伊藤幸夫 (NTT コミュニケーションズ)

14 日午後 CQ1 (B 会場) (13:20~15:00)

CQ-10. 複数 TCP コネクションを利用した音声通信方式の音質評価 ○里田浩三・二瓶浩一 (NEC)・吉田裕志 (NEC/東工大)

CQ-11. 特定エリア内における情報共有の配信制御方法 ○小倉一峰・山崎康広・藤田範人 (NEC)

CQ-12. P2P データストレージシステムにおける需給関係の平均モデル ○内田真人 (千葉工大)・飯塚秀明 (明大)・杉野 勲 (総務省)

CQ-13. 新たな農業の展開と品質向上に関する一考察 山崎達也 (新潟大)

招待講演 2 (A 会場) (15:35~16:20)

共通-14. [招待講演] サービス品質向上のためのネットワーク状態推定・予測技術 ○里田浩三・大芝 崇 (NEC)・吉田裕志 (NEC/東工大)・中島一彰 (NEC)

特別講演 1 (A 会場) (16:25~16:50)

共通-15. [特別講演] Video Quality Experts Group (VQEG) の最新動向 ○河野太一・林 孝典 (NTT)

招待講演 3 (A 会場) (16:55~17:40)

共通-16. [招待講演] Bring Your Own Network (BYON) の実証に向けた仮想化対応無線ネットワーク設備の開発 ○荘司洋三・中内清秀・伊藤 学・鐘 雷 (NICT)

招待講演 4 (A 会場) (17:45~18:30)

共通-17. [招待講演] ネットワーク計測の楽しみ一部分から全体へ、検査・診断から予防へー 鶴 正人 (九工大)

15 日午前 ICM2 (B 会場) (9:25~10:40)

ICM-1. GUI 制御と仮想環境によるシステム連携フレームワークの検討 ○小矢英毅・中島 一・増田 健 (NTT)

ICM-2. 網情報管理のための分散グラフデータベースの評価 ○松野 淳・宮澤雅典・林 通秋 (KDDI 研)

ICM-3. OSS 装置の冗長化を考慮した仮想マシン配置手法の提案 ○中里彦俊・清水雅史 (NTT)

CQ2 (C 会場) (9:25~10:40)

CQ-4. 仮想コンテンツセントリックネットワークにおける CCN ルータのキャッシュ性能解析 ○塚本圭一郎・大杉海斗 (阪大)・大崎博之 (関西学院大)・長谷川 亨・村田正幸 (阪大)

CQ-5. OpenFlow ネットワークを用いたリンク品質の効率的なアクティブ計測手法の提案 ○渋谷恵美・立花篤男・長谷川輝之 (KDDI 研)

CQ-6. On the Locality of Interactions in Social Networks ○Sho Tsugawa (Univ. of Tsukuba)・Hiroyuki Ohsaki (Kwansei Gakuin Univ.)

NS2 (B 会場) (10:50~12:30)

NS-7. 多様なアプリケーションの通信品質要求を考慮した集約パケット構成手法 ○沢辺亜南・塚本和也・尾家祐二 (九工大)

NS-8. 競争環境下における ISP のコンテンツ課金の効果 ○上山憲昭 (阪大/NTT)

NS-9. コンテンツ指向網におけるインターネット誘導情報の制約付き配布制御方式 ○柿田将幸・谷川陽祐・戸出英樹 (阪府大)

NS-10. Network-based Fast Handover for Mobile Receiver in CCN ○Zhiwei Yan・Ruowei Guo・Yong-Jin Park (Waseda Univ.)

CQ3 (C 会場) (10:50~12:30)

CQ-11. A VANET Routing Protocol Considering MAC Efficiency ○Celimuge Wu・Satoshi Ohzahata (Univ. of Electro-Comm.)・Yusheng Ji (NII)・Toshihiko Kato (Univ. of Electro-Comm.)

CQ-12. 全ユーザ効用最大化をめざした周波数共用システムにおけるサービス品質制御 ○宮坂朋宏・矢野一人・有吉正行・小林 聖 (ATR)

CQ-13. 複数の無線通信サービスが混在した環境における使用アプリケーションを考慮した基地局割り当て問題 ○亀田栄一・篠宮紀彦 (創価大)

CQ-14. 移動受信環境における ISDB-T 緊急警報放送の信号検出特性 高橋 賢 (広島市大)

15 日午後 NS3 (B 会場) (13:30~14:45)

NS-15. 異常トラフィック検出のためのロバスト主成分分析手法 ○松田崇弘・森田達也・工藤隆則・滝根哲哉 (阪大)

NS-16. サイクル構造に着目した障害復旧方式における OpenFlow の分散コントローラによる実装 ○長野純一・篠宮紀彦 (創価大)

NS-17. 小型加速器中性子源による通信システムのソフトウェア試験技術 ○岩下秀徳・新井 薫・坂入 健・小川宏明 (NTT)・古坂道弘・鬼柳善明・平賀富士夫・佐藤博隆 (北大)

NS4 (B 会場) (14:55~16:10)

NS-18. A Study of Mobile Performance Prediction to Control Wasteful Video Delivery toward GreenICN ○Haruki Izumikawa・Hidenori Konishi・Jiro Katto (Waseto Univ.)

NS-19. レートレス符号を用いたパケット到達遅延保証方式 ○林 佑樹・鈴木 順・菅 真樹・吉川隆士 (NEC)

NS-20. 携帯端末における省電力を実現する最適経路ナビゲーションの性能解析 ○金井謙治・甲藤二郎 (早大)・村瀬 勉 (NEC)

◎14 日 13:20~15:25, A 会場 ネットワーク仮想化時限研究専門委員会主催の第二種研究会が開催されます。プログラムは以下を参照：<http://www.ieice.org/~nv/%e7%a0%94%e7%a9%b6%e4%bc%9a/>

☆NS 研究会今後の予定 [] 内発表申込締切日

12 月 19 日 (木), 20 日 (金) 高松市文化芸術ホール [締切済] テーマ: モバイル, アドホック, ユビキタス, 無線, セキュリティ, マルチアクセス, アクセスネットワーク・UserNetworkInterface, Home ネットワーク, 一般

1 月 23 日 (木), 24 日 (金) 琉球大 [未定] テーマ: ネットワークソフトウェア (ソフトウェアアーキテクチャ, ミドルウェア), NW アプリケーション, SOA/SDP, NGN/IMS/API, 分散制御・ダイナミックルーティング, グリッド, NW 及びシステム信頼性, NW 及びシステム評価, 一般

【発表申込先】 下記研究会発表申込システムからお申込み下さい。
<http://www.ieice.org/jpn/ken/kenmoushikomi.html>

【問合先】
NS 研究会幹事及び幹事補佐
E-mail: ns-secretariat@mail.ieice.org
金子雅志 (NTT) TEL [0422] 59-2847

柴田哲良 (NTT) TEL [0422] 59-3205

◎最新情報は、NS 研ホームページを御覧下さい。

<http://www.ieice.org/cs/ns/jpn/>

◎プログラム確定後の発表キャンセルは原則できませんので御注意下さい。

☆CQ 研究会今後の予定 [] 内発表申込締切日

1月24日(金) 東京都市大 [未定] テーマ:映像/音声サービスの品質, メディア品質, ネットワークの品質・QoS制御, 次世代/新世代ネットワークアーキテクチャ, 災害時のネットワークとコミュニケーション, 一般 (仮)

【発表申込先】 下記研究会発表申込システムからお申込み下さい。

<http://www.ieice.org/jpn/ken/kenmoushikomi.html>

【問合先】

岡本 淳 (NTT)

TEL [0422] 59-6526, FAX [0422] 59-6364

平栗健史 (日本工大)

TEL [0480] 33-7658, FAX [0480] 33-7680

E-mail: cq_ac-kanji@mail.ieice.org

◎最新情報は、CQ 研究会ホームページを御覧下さい。

<http://www.ieice.org/cs/cq/jpn/>

☆ICM 研究会今後の予定 [] 内発表申込締切日

1月16日(木), 17日(金) 長崎歴史文化博物館 [未定]
テーマ: ライフログ活用技術, オフィス情報システム, ビジネス管理, 一般

【発表申込先】 下記研究会発表申込システムからお申込み下さい。

<http://www.ieice.org/jpn/ken/kenmoushikomi.html>

【問合先】

ICM 研究会幹事

E-mail: icm-kanji@mail.ieice.org

◎<http://www.ieice.org/icm/jpn/>

★情報ネットワーク研究会 (IN)

専門委員長 浅見 徹 副委員長 小林秀承

幹事 五十嵐弓将・荒井大輔 幹事補佐 野村啓仁・大下裕一

★モバイルネットワークとアプリケーション研究会 (MoNA)

専門委員長 井上真杉 副委員長 森野博章

幹事 北形 元・金子晋丈

幹事補佐 小林基成・上坂大輔・大和田泰伯

◎本研究会は IN 研究会と MoNA 研究会の併催です。研究会資料は各研究会ごとに発行されます。

日時 11月21日(木) 13:00~17:45

22日(金) 9:00~15:00

会場 熊本大学黒髪南地区総合研究棟2階204多目的会議室(熊本市中央区黒髪2-39-1。熊本駅前からバスで約25分。http://www.kumamoto-u.ac.jp/campusjouhou/map_kurokami_2の23番の建物)

議題 ホームネットワーク, ユビキタスネットワーク, モバイルネットワーク, クラウドコンピューティング, コンテキストウェア, 位置情報サービス, e-コマース, モバイルアプリケーション及び一般

21日 MoNA1 (学生特別セッション)

MoNA-1. マルチ BSSID を活用した仮想化による無線 LAN 端

末の省電力化 ○近藤加奈子・小川将克 (上智大)

MoNA-2. 消費電力量制約付きプリフェッチに基づく Wi-Fi オフローディング手法の設計と評価 ○尾上佳久・玉井森彦・

安本慶一 (奈良先端大)

MoNA-3. 通信被害地域における要救助者間の情報共有手法の評価と考察 ○竹本裕明・

ジェーン ルイ フレスコ ザモーラ・榎原 茂 (奈良先端大)・

妙中雄三 (東大)・高井峰生 (UCLA/阪大)・

金田 茂 (阪大)・山口 英 (奈良先端大)

MoNA-4. 携帯端末を用いた TV コンテンツ推定によるユーザーの興味センシング ○木田裕一朗・奥野淳也・青木俊介・

瀬崎 薫 (東大)

IN1

IN-5. クラウド環境における仮想マシン間通信の最適化に関する検討—OVS への L3 機能委譲による遅延の低減—

○松本敦嗣 (SCSK)・横山重俊 (NII)

IN-6. データセンタ間ライブマイグレーション環境における遅延削減を目的としたマイグレーションの利用方法の提案

○永渕幸雄・寺本泰大・岸 寿春・小山高明・

北爪秀雄 (NTT)

IN-7. 複数アクティブ型仮想ルータ, 仮想 L3FW の効果に関する一報告 ○小山高明・寺本泰大・岸 寿春・永渕幸雄・

北爪秀雄 (NTT)

IN-8. YALMS: A Group Drive API for Cloud-Based Classrooms

○Marat Zhanikeev・Hiroshi Koide (Kyushu Inst. of Tech.)

招待講演

共通-9. [招待講演] HEMS に関わる宅内の標準化動向

楠 信吾 (三菱電機)

22日午前 IN2

IN-1. センシングデータ可視化のためのライフログ可視化フレームワーク MashMap の拡張 ○高橋昂平・佐伯幸郎・

まつ本真佑・中村匡秀 (神戸大)

IN-2. センサ位置推定再訪—最適化問題による定式化と解法—

○塩田茂雄・島村和希 (千葉大)

IN-3. 無線センサネットワークにおける受信電波強度に基づいた省電力情報伝播手法の提案と評価

○久松潤之 (阪電通大)・長谷川 剛・村田正幸 (阪大)

MoNA2

MoNA-4. 経路変更起因する冗長な TCP 再送制御の抑制手法の改善 ○明田修平・大月勇人・毛利公一・

瀧本栄二 (立命館大)

MoNA-5. サーバプッシュにおけるメッセージ配信処理スケジューリングのための RRC 状態推定方式 ○大西健夫・

城島貴弘 (NEC)

MoNA-6. Development of AMI Network Simulation Platform

○Takahiro Sagara (Hitachi)・Hoang Anh Tuan・

Joseph Chee Ming Teo・Ma Xiaoping・Ng Hai Heng・

Zhou Luying (I2R, A*START)

22日午後 IN3 (13:20~)

IN-7. 省電力マルチホップセンサーネットワークを構築するルーティングフレームワークの提案 松浦 洋 (NTT)

IN-8. 異なるハードウェア構成を収容可能なクラウド型ホームネットワークシステムの提案 ○鷹取敏志・中村匡秀・

まつ本真佑・佐伯幸郎 (神戸大)

IN-9. インترنتワーク誘導のためのコンテンツ人気度に応じたキャッシュ抑制制御に関する一検討 ○川端弘樹・

鬼塚貴希・高木由美・太田 能・玉置 久 (神戸大)
IN-10. ネットワークにおける2次感染を考慮したセキュリティ
リスク評価手法 ○野村啓仁・川田丈浩 (NTT)
◎21日研究会終了後、懇親会を予定していますので御参加下さい。

☆IN 研究会今後の予定 [] 内発表申込締切日

12月19日(木), 20日(金) 広島市大〔締切済〕テーマ:性能評価とシミュレーション, 信頼性技術, スループットやトラヒックの計測, 品質(QoS)制御, 輻輳制御, トラヒック・フロー制御, オーバーレイネットワーク・P2P, IPv6, マルチキャスト, ルーティング, DDoS及び一般

1月23日(木), 24日(金) 名古屋国際センター〔11月8日(金)〕テーマ:ネットワークソフトウェア, コンテンツ配信/流通, ソーシャルネットワーク(SNS), データ分析・処理基盤, ビッグデータ及び一般

2月 休会

【発表申込先】 下記研究会発表申込システムからお申込み下さい。

<http://www.ieice.org/jpn/ken/kenmoushikomi.html>

【問合せ先】

IN 研究会幹事及び幹事補佐

E-mail: in_ac-kanji-2007@mail.ieice.org

堀 賢治 (KDDI 研)

TEL [049] 278-7651, FAX [049] 278-7510

田坂和之 (KDDI 研)

TEL [049] 278-7574, FAX [049] 278-7510

◎IN 研究会ホームページ

<http://www.ieice.org/cs/in/jpn/>

◎なお、原稿の締切日を過ぎますと技報への掲載ができなくなり、原稿なしでの御発表となります。プログラム確定後の発表キャンセルは原則できませんので御注意下さい。

☆MoNA 研究会今後の予定 [] 内発表申込締切日

1月23日(木), 24日(金) 奥道後〔11月11日(月)〕テーマ:モバイルネットワーク, モバイルアプリケーション, アンビエントインテリジェンス, センサネットワーク, 一般及び技術展示

【発表申込先】 下記研究会発表申込システムからお申込み下さい。

<http://www.ieice.org/jpn/ken/kenmoushikomi.html>

【問合せ先】

北形 元 (東北大)・金子晋丈 (慶大)

E-mail: mona-web@mail.ieice.org

★マイクロ波研究会 (MW)

専門委員長 黒木太司

副委員長 九鬼孝夫・中津川征士・山中宏治

幹事 河合 正・山之内慎吾 幹事補佐 清水隆志・大平昌敬

日時 11月21日(木) 9:30~16:35

22日(金) 9:30~16:15

会場 鹿児島県文化センター (鹿児島市山下町5-3. JR 鹿児島中央駅から電車:朝日通り下車。 <http://www.houzanhall.com/access/> TEL [099] 223-4221 西川健二郎 (鹿児島大))

議題 マイクロ波一般

21日午前

1. 簡易な回路構成の結合回路を用いた Push-Push 発振器アレー

○田中高行・鯨島武留・相川正義・豊田一彦 (佐賀大)

2. ひずみ成分の周波数依存性を補償するデジタルプリディストータのデュアルバンド化 ○鈴木恭宜・大河原純哉・

植橋祥一 (NTT ドコモ)

3. DC 印加によるミキサの2次ひずみ補正システム

○藤原孝信・谷口英司 (三菱電機)

4. スパイラルインダクタについての発振回路の Q ファクタ解析—1 端子対等価回路による Q ファクタ比較—

伊山義忠 (熊本高専)

5. 方形導波管誘導性窓付き共振器の粒子群最適化アルゴリズムを用いた設計 ○原 幸平・平岡隆晴・豊嶋久道 (神奈川大)

21日午後 (13:30~)

6. J インバータを用いたリコンフィギャラブルバンドパスフィルタの帯域幅制御設計 ○加藤 匠・小林綾介・

山尾 泰 (電通大)

7. 非平衡型・右手/左手系複合線路の小型・高 Q スタブ共振器への応用 ○向田喬裕・高田 圭・斉藤賢吾・

田中慎一 (芝浦工大)

8. 変換電磁気学のための2次元分布定数異方性媒質について

○永山 務・真田篤志 (山口大)

9. 1 THz 帯における常温異常表皮効果の実験的評価

○林 賢宏・永井翔太郎・真田篤志 (山口大)

10. [特別講演] 2013年 IEEE MTT-S 国際マイクロ波シンポジウム出席報告 ○大平昌敬 (埼玉大)・

上田哲也 (京都工繊大)・岡崎浩司 (NTT ドコモ)・

桑田英悟 (三菱電機)・高橋宏行 (NTT)・

永井翔太郎 (山口大)・馬 哲旺 (埼玉大)・

山之内慎吾 (NEC)

22日午前

1. 94 GHz 帯イメージ NRD ガイド-同軸線路変換器の設計

○井上晋吾・黒木太司 (呉高専)

2. 先端短絡スロット線路結合構造を有するミリ波広帯域差動線路-導波管変換器 ○湯浅 健・大庭徹也・大和田 哲・

宮崎守泰 (三菱電機)

3. 直交差動出力6ポートブランチライン型ハイブリッド回路の解析 ○津浦正臣・谷口英司 (三菱電機)

4. Study on bandwidth characteristics of transmission lines on transparent flexible polyether sulfone thin film

○Young Yun・Jang-hyeon Jeong・Sung-Jo Han・

Ki-Jun Son・Jeong-Hoon Kim・Hong-Seung Kim・

Nak-Won Jang (Korea maritime and Ocean Univ.)

5. 共振器摂動法による誘電率評価と挿入孔の問題

○三浦太郎 (ザ・ミュー)・杉山順一 (産総研)

22日午後 (13:30~)

6. 高効率検波器設計法の提案 ○祝 翔平・西川健二郎・

榊 裕翔・嶋村 仁 (鹿児島大)

7. WiCoPT 実現に向けた入力信号と RF-DC 変換効率の関係性—CW/FSK/BPSK/QPSK/16QAM の比較—

○榊 裕翔 (鹿児島大)・吉田賢史 (JAXA)・桑原達明・

西川健二郎 (鹿児島大)・川崎繁男 (JAXA)

8. 60 GHz ミリ波帯における RF 回路の不完全性を考慮した EVM の特性解析 ○安藤生真・張 裕淵・タン ザカン・

荒木純道 (東工大)

9. 無線電力伝送とワイヤレスセンサシステムの通信制御の検討 ○前川千咲・漆原育子 (アース)・吉田賢史 (JAXA)・

佐藤 光 (アース)・川崎繁男 (JAXA)

10. RoF リンクを用いたキューブ人工衛星地球局 ○福島誠治・

島木隆行・船迫太志・山下広太・八野知博・
五十嵐保隆 (鹿児島大)

◆IEEE MTT-S Japan Chapter, IEEE MTT-S Kansai Chapter,
IEEE MTT-S Nagoya Chapter 協賛

◎19日研究会終了後、懇親会を予定していますので御参加下さい。

☆MW 研究会今後の予定 [] 内発表申込締切日

12月2日(月)~4日(水) KMUTNB, Thailand [締切済]
テマ: RF, Microwave, and Millimeter-wave Theory
and Techniques

12月19日(木), 20日(金) 埼玉大 [締切済] テマ: 学生
研究会/マイクロ波一般

【問合せ先】

清水隆志 (宇都宮大)

TEL & FAX [028] 689-6132

E-mail: tshimizu@cc.utsunomiya-u.ac.jp

河合 正 (兵庫県立大)

TEL & FAX [079] 267-4873

E-mail: kawai@eng.h-hyogo.ac.jp

★画像工学研究会 (IE)

専門委員長 藤井俊彰 副委員長 高村誠之・浜本隆之

幹事 久保田 彰・市ヶ谷敦郎 幹事補佐 三功浩嗣・松尾翔平

日時 11月25日(月) 14:00~16:30

26日(火) 9:00~12:10

会場 久留米工業高等専門学校産学連携テクノセンター棟2F

地域連携多目的室 (久留米市小森野 1-1-1. <http://apollo.cc.kurume-nct.ac.jp/kikaku/Access.html> 黒木祥光)

議題 高精細度画像処理・表示, 一般

25日

IE-1. スパース表現を用いた動画像符号化 ○伊瀬知洸平・
黒木祥光 (久留米高専)

IE-2. DCT 係数のスパース化を用いた準可逆符号化の一検討
○伊藤一樹 (中大)・チョン ジーン (NII)・
久保田 彰 (中大)・オルテガ アントニオ (USC)

IE-3. フィルタの最適選択と色空間変換を用いた PNG の圧縮特
性の改善 ○高橋哲平・久保田 彰 (中大)

IE-4. [招待講演] 映像符号化技術の産業への貢献と今後の展
開 如澤裕尚 (NTT)

26日

IE-1. 参照画像がない場合における画質の改善度の評価につ
いて ○小野直樹・田辺英彦 (九大)

IE-2. 画像の反復フィルタリングによる逆フィルタ
○于 子涵・浦浜喜一 (九大)

IE-3. 複数の統計量を用いた誤対応点除去による基礎行列の最
尤推定 ○奥谷 遼・黒木祥光 (久留米高専)

4. 混相流断層画像を基にした液滴の3次元形状の再構築

○松浦佑樹 (東京都市大)・大石正道 (東大)・
向井信彦 (東京都市大)・大島まり (東大)・
張 英夏 (東京都市大)

IE-5. 2値係数バイラテラルフィルタによる画像の計算量軽減平
滑化 ○張 宇・浦浜喜一 (九大)

IE-6. 半径順ボアソンディスクサンプリングによる2値点描画
○陶 俊晟・浦浜喜一 (九大)

IE-7. 多重露光写真の領域分割融合によるアート風 HDR 画像

第一種研究会開催案内

○本庄風斗・浦浜喜一 (九大)

◆映像情報メディア学会; メディア工学研究会/映像表現&コン
ピュータグラフィックス研究会連催

☆IE 研究会今後の予定 [] 内発表申込締切日

12月5日(木), 6日(金) 京都工繊大 60周年記念館 [締切
済] テマ: 画像符号化, 通信・ストリーム技術, 一般
2月 北大 [未定] テマ: ITS 画像処理, 一般

【発表申込先】 下記研究会発表申込システムからお申込み下さい。

<http://www.ieice.org/jpn/ken/kenmoushikomi.html>

【問合せ先】

市ヶ谷敦郎 (NHK)

E-mail: ie-kanji2013@mail.ieice.org

★VLSI 設計技術研究会 (VLD)

専門委員長 池田 誠 副委員長 澁谷利行

幹事 中武繁寿・峯岸孝行

★電子部品・材料研究会 (CPM)

専門委員長 高野 泰 副委員長 野毛 悟

幹事 圓佛晃次・佐藤知正 幹事補佐 小館淳一・岩田展幸

★集積回路研究会 (ICD)

専門委員長 山村 毅 副委員長 藤島 実

幹事 松岡俊匡・渡辺 理

幹事補佐 大内真一・吉田 毅・土谷 亮・範 公可

★コンピュータシステム研究会 (CPSY)

専門委員長 吉永 努 副委員長 安里 彰・中島康彦

幹事 中野浩嗣・入江英嗣 幹事補佐 井上浩明・大川 猛

★ディペンダブルコンピューティング研究会 (DC)

専門委員長 梶原誠司 副委員長 金川信康

幹事 中村友洋・土屋達弘

★リコンフィギャラブルシステム研究会 (RECONF)

専門委員長 弘中哲夫 副委員長 渡邊 実・本村真人

幹事 山田 裕・山口佳樹 幹事補佐 谷川一哉

◎本研究会は VLD/DC (共催)/IPSJ-SLDM 研究会 (連催) と
CPM/ICD 研究会, CPSY 研究会, RECONF 研究会の併催で
す。研究会資料は各研究会ごとに発行されます。

日時 11月27日(水) 8:50~16:50

28日(木) 8:30~18:00

29日(金) 8:30~15:00

会場 鹿児島県文化センター宝山ホール (鹿児島市山下町 5-3.

JR 鹿児島中央駅から電車: 朝日通り下車 (約 10 分), 鹿児島
空港から空港バス: 金生町下車 (約 60 分). <http://www.houzanhall.com/access/index.html> TEL [099] 223-4221 中原
啓貴 (鹿児島大))

議題 デザインガイア 2013—VLSI 設計の新しい大地—

27日午前 アルゴリズム (10:00~11:40)

VLD-1. A VLSI algorithm for computing correctly rounded
hypotenuse ○Hiroyuki Yataka・

Naofumi Takagi (Kyoto Univ.)

告 33

- VLD-2. 並列インデックス生成器の合成アルゴリズムについて
松永裕介 (九大)
- VLD-3. アナログ集積回路での近接共通重心配置に関する研究
○室辰健一郎・藤吉邦洋 (東京農工大)
- VLD-4. An Optimal Sample Preparation Algorithm for Digital Microfluidic Biochips
○Trung Anh Dinh・Shigeru Yamashita (Ritsumeikan Univ.)・Tsung-Yi Ho (National Cheng Kung Univ.)
- 27 日午後 招待講演 (13:00~13:50)
共通-5. [招待講演] ミニマルファブ構想—真に自由なデバイスづくり—
原 史朗 (産総研)
- 27 日後 信頼性 (1) (14:05~15:45)
VLD-6. PPC に基づく高歩留まり回路の発見的設計手法
○早苗駿一・原 祐子 (奈良先端大)・山下 茂 (立命館大)・中島康彦 (奈良先端大)
- VLD-7. 二重化よりも面積オーバーヘッドが少ない耐故障化手法
○松尾惇士・山下 茂 (立命館大)
- VLD-8. チェックポイント観測によるタイミングエラー予測手法
○五十嵐博昭・史 又華・柳澤政生・戸川 望 (早大)
- DC-9. 耐マルチサイクル過渡故障を指向した高位合成におけるコントローラの設計について
○石森裕太郎・中祖達也・岩垣 剛・市原英行・井上智生 (広島市大)
- 27 日午前 設計支援 (10:00~11:40)
10. マルチコアプロセッサを用いた並列論理シミュレーション手法
○とう文竹・竹内勇矢・豊永昌彦・村岡道明 (高知大)
11. FPGA を用いた論理シミュレーション手法
○松本夏樹・村岡道明 (高知大)
- VLD-12. SystemC と QEMU を用いた NoC のハードウェア/ソフトウェア・シミュレータ
○栗本陽介・福塚佑輔・谷口一徹・富山宏之 (立命館大)
13. FPGA を対象とした東データ方式による非同同期式回路の設計支援ツールセット
○滝澤恵多郎・齋藤 寛 (会津大)
- 27 日午後 FPGA 応用 (13:00~13:50)
RECONF-14. 太陽電波バースト観測用電波望遠鏡の分光器における並列 FFT に関して
中原啓貴・○知識陽平 (鹿児島大)・岩井一正 (国立天文台)・中西裕之 (鹿児島大)
- RECONF-15. EVMDD(k) に基づく LUT カスケードの更新法に関して
○櫛山賢佑・中原啓貴 (鹿児島大)・笹尾 勤 (明大)・松浦宗寛 (九工大)
- プログラマブルアーキテクチャ (1) (14:05~15:20)
VLD-16. ビアプログラマブルアーキテクチャ VPEX3S—動作速度を改善するための基本論理素子の改良—
○大谷 拓・堀 遼平 (立命館大)・吉川雅弥 (名城大)・藤野 毅 (立命館大)
- VLD-17. ビアプログラマブルアーキテクチャ VPEX4(1)—配線混雑度改善と低消費電力性能向上のための基本論理素子の改良—
○堀 遼平・大谷 拓・人見達郎・上口翔大 (立命館大)・吉川雅弥 (名城大)・藤野 毅 (立命館大)
- VLD-18. ビアプログラマブルアーキテクチャ VPEX4(2)—ベンチマーク回路を用いた性能評価—
○上口翔大・堀 遼平・大谷 拓 (立命館大)・吉川雅弥 (名城大)・藤野 毅 (立命館大)
- 27 日午前 アナログ集積回路及び集積回路基盤技術 (8:50~10:05)
ICD-19. 高速・低電力 AD 変換器における抵抗ラダーの歪自動補正技術
○吉村 渉・大島賢一 (鹿児島大)
- ICD-20. チップ電源網を考慮したノイズ低減のための協調設計
○小林遼太・大塚史記・市村 航・清重 翔・久保元樹・寺崎正洋・須藤俊夫 (芝浦工大)
- ICD-21. ビアプログラマブルアナログ (VPA) 回路設計とプログラマブルアナログ回路との性能比較
○上田佳祐・堀 遼平・汐崎 充・藤田智弘・藤野 毅 (立命館大)
- デジタル集積回路 (1) (10:20~12:00)
ICD-22. 耐タンパ性向上のための Hybrid Masking Dual-Rail ROM を用いた AES 暗号回路の性能評価
○鶴飼慎太郎・中井綱人・北村俊樹・久保田貴也・汐崎 充・藤野 毅 (立命館大)
- ICD-23. サイドチャネル攻撃耐性を持つ IO-Masked Dual-Rail ROM に統合可能な PUF 回路の検討と設計
○西村隆志・菅谷周平・竹内章浩・汐崎 充・藤野 毅 (立命館大)
- ICD-24. 最適周波数及び最適電圧を検出する量子化デコーダとこれを応用した DVFS 制御形動きベクトル検出プロセッサの開発
○小林伸彰・榎本忠儀 (中大)
- ICD-25. フレームレートの動的最適化に基づく低消費エネルギー物体追跡システムの提案
○江川瀬里奈・井上弘士 (九大)
- 27 日午後 デジタル集積回路 (2) (13:00~13:50)
ICD-26. 単一磁束量子デバイスを用いた次世代プロセッサのマイクロアーキテクチャ探索
○横田順平・津秦伴紀・井上弘士 (九大)・田中雅光 (名大)
- ICD-27. MTJ 素子を用いた不揮発 FPGA の電力効最適化手法
○鈴木大輔・夏井雅典・望月 明・羽生貴弘 (東北大)
- 3 次元集積回路・実装技術 (14:00~16:50)
共通-28. [招待講演] TSV を用いた 3 次元積層向け回路技術の開発
○長田健一・古田 太・武田健一 (日立)
- 共通-29. [招待講演] 縦横方向結合共振を用いた三次元クロック分配技術
○竹 康宏・三浦典之・石黒仁揮・黒田忠広 (慶大)
30. [招待講演] 3D/2.5D-IC 向けチップ間接続微細配線技術 (仮)
谷 元昭 (富士通研) 他
31. [招待講演] 調整中
田久真也 (東芝) 他
- 28 日午前 システム設計 (1) (8:30~10:10)
1. シングルコア向けのコードを NoC に実装するためのコード分割ツールの検討
○宮岡 悟・齋藤 寛 (会津大)
- VLD-2. 割込み処理を考慮したシステムレベル設計手法
○安藤友樹・石田薫史・本田晋也・高田広章・枝廣正人 (名大)
- VLD-3. Function-Level Profiling for Embedded Software with QEMU
○Tran Van Dung・Ittetsu Taniguchi (Ritsumeikan Univ.)・Takuji Hieda (Kyushu Univ.)・Hiroyuki Tomiyama (Ritsumeikan Univ.)
- VLD-4. 信頼性と時間オーバーヘッド間のトレードオフを考慮した面積制約にもとづく RDR アーキテクチャ向けフォールトセキュア高位合成手法
○川村一志・柳澤政生・戸川 望 (早大)
- 低消費電力技術 (10:25~12:05)
VLD-5. 細粒度パワーゲーティングを実装した CPU “Geyser-3” の開発と温度に適応した電源遮断制御
○宇佐美公良・工藤 優・松永健作・小坂 翼・鶴井敬大 (芝浦工大)

王 蔚涵・天野英晴 (慶大)・坂本龍一・
並木美太郎 (東京農工大)・近藤正章 (電通大)・

中村 宏 (東大)

VLD-6. 不揮発メモリを対象とした書き込み削減手法のエネルギー評価
○多和田雅師・木村晋二・柳澤政生・
戸川 望 (早大)

VLD-7. 書き込み電力最小カット部探索とそれを用いた不揮発論理回路の低電力化
○糸井優大・木村晋二 (早大)

8. サイクルタイム制約を考慮した低消費電力な束データ方式による非同同期式 AVR プロセッサの設計
○岩崎翔太郎・齋藤 寛 (会津大)

28 日午後 信頼性 (2) (13:20~15:00)

VLD-9. バルクと SOTB におけるアンテナダメージによるリングオシレータの発振周波数ばらつきの評価
○岸田 亮・小林和淑・藪内美智太郎 (京都工繊大)

DC-10. FPGA における複数の周波数特性を実現するためのリングオシレータ構成法の検討
○三宅庸資・門田正文・佐藤康夫・梶原誠司 (九工大)

VLD-11. 入力信号遷移時間を考慮した統計的静的遅延解析に関する研究
福田雄太郎 (中大)

DC-12. BAST におけるテストデータ量削減のためのインバータブロック構成法
○田中まりか・山崎紘史 (日大)・吉村正義 (九大)・新井雅之・細川利典 (日大)

ポスターセッション (15:15~16:45)

13. ポスターセッション

28 日午後 基調講演 (17:00~18:00)

共通-14. [基調講演] 世界初の宇宙帆船「IKAROS」が切り拓く宇宙大航海時代
森 治 (JAXA)

28 日午前 FPGA 実装 (8:30~9:45)

RECONF-15. 小規模再構成可能デバイス用ソフトコア・マイクロプロセッサ
○渡辺優一・山本泰輔・吉田雄揮・谷川一哉・弘中哲夫 (広島市大)

RECONF-16. 仮想 CGRA への Java ソフトウェアのマッピングと FPGA 実装
○小川裕喜・尼崎太樹・飯田全広・久我守弘・末吉敏則 (熊本大)

RECONF-17. 分離度フィルタの FPGA 実装におけるハードウェア量と検出精度のトレードオフ
○濱村甚平・土肥慶亮・柴田裕一郎・小栗 清 (長崎大)

自動合成と配置配線手法 (10:00~10:50)

RECONF-18. クリティカルパス長最小化を目的とした整数計画法に基づく PLD 配置配線手法
○西山大樹・稲木雅人・永山 忍・若林真一 (広島市大)

RECONF-19. ヘテロマルチプロセッサシステム向けプロセス間通信の自動合成
○石田薫史・安藤友樹・本田晋也・高田広章・枝廣正人 (名大)

招待講演 (11:05~11:55)

共通-20. [招待講演] VLSI の信頼性を向上させる再構成可能アーキテクチャ
○尾上孝雄・橋本昌宜 (阪大)・

密山幸男 (高知工科大)・Dawood Alnajjar・郡浦宏明 (阪大)

28 日午後 プログラマブルアーキテクチャ (2)

(13:20~15:00)

RECONF-21. SOTB を用いた低電力リコンフィギュラブルアークセラレータの実チップ評価
○蘇 洪亮・天野英晴 (慶大)

RECONF-22. SOTB トランジスタを用いた最初の Flex Power FPGA チップの評価
○馬 超 (産総研/明大)・

日置雅和 (産総研)・河並 崇 (金沢工大)・小笠原泰弘・

中川 格・関川敏弘 (産総研)・堤 利幸 (産総研/明大)・

小池汎平 (産総研)

RECONF-23. 差分光再構成型ゲートアレイの放射線耐性向上実装手法
○瀬尾真人・渡邊 実 (静岡大)

RECONF-24. 再構成デバイス MPLD の配置配線ツールを用いたアーキテクチャ評価
○山下智也・稲木雅人・谷川一哉・

弘中哲夫 (広島市大)・石黒 隆 (太陽誘電)

28 日午前 応用事例 (9:00~10:15)

25. Android における GPU を用いたリアルタイム視覚効果処理アプリケーションの実装
○程 明宇・北嶋 暁 (阪電通大)

26. 蓄電池内部温度管理に基づく最適温度充電システム

○山本祐介・北川友貴・加藤啓路・福井正博 (立命館大)

27. 沼島直流マイクログリッドの電源管理モデル化と最適化評価の一考察
池田岳穂・宮原良輔・渡邊亜美・

福井正博 (立命館大)

並列計算 (10:30~11:45)

VLD-28. CUDA を用いた根付き木における高速距離計算手法
○坂本裕樹・高島康裕 (北九州市大)

VLD-29. GPGPU を用いた VLSI チップ熱解析の一手法

○大村 崇・林 磊・孟 林・福井正博 (立命館大)

VLD-30. List Scheduling Algorithms for Task Graphs with Data Parallelism
○Yang Liu・Ittetsu Taniguchi・

Hiroyuki Tomiyama・Lin Meng (Ritsumeikan Univ.)

28 日午後 応用システム (13:20~14:35)

CPSY-31. LSI 内部に監視回路を搭載することによるハードウェア対ロイ対策手法の検討
○塚田靖史・板屋修平・

熊木武志 (立命館大)・吉川雅弥 (名城大)・

藤野 毅 (立命館大)

CPSY-32. GPU を用いた 3 次元 FDTD 法による電磁界シミュレーションの高速な可視化処理の実装
○青木宏太・

土肥慶亮・柴田裕一郎・小栗 清・藤本孝文 (長崎大)

CPSY-33. TinyCSE: 教育用小型計算機システム

○中村亮介・伊藤靖朗 (広島大)

29 日午前 テスト (8:30~10:10)

DC-1. データマイニング手法によるバーンインテスト結果予測の検討
○野々山 聡・佐藤康夫・梶原誠司 (九工大)・

中村芳行 (ルネサス エレクトロニクス)

DC-2. 遅延故障 BIST 向け LFSR シード生成法
○本田太郎・大竹哲史 (大分大)

DC-3. 論理 BIST におけるスキャンイン電力制御回路の TEG 評価について
○加藤隆明・喜納 猛・三宅庸資・佐藤康夫・

梶原誠司 (九工大)

DC-4. RTL 情報を用いた高品質遷移故障テスト生成法

○中島寛之・大竹哲史 (大分大)

高位合成 (10:25~12:05)

VLD-5. 高位合成のループパイプライン化におけるフォワードディングユニット生成技術
○日下部真吾・外山知人・

瀬戸謙修 (東京都大)

6. 高位合成における非一様依存性を持つ入れ子ループ向けのバッファ構成手法
○須田瑛大・高瀬英希・高木一義・

高木直史 (京大)

VLD-7. 高位合成における制御回路の構成方法の定量的評価

○祖父江亮哉 (立命館大)・原 祐子 (奈良先端大)・

谷口一徹・富山宏之 (立命館大)

VLD-8. HDR-mcd を対象としたクロックエネルギー優位な高位合成と実験評価
○阿部晋矢・史 又華 (早大)・

宇佐美公良 (芝浦工大/早大)・柳澤政生・戸川 望 (早大)

29 日午後 システムと設計技術 (13:20~15:00)

VLD-9. Scheduling of PDE setting and Timing Test for Post Silicon Skew Tuning Mineo Kaneko (JAIST)

VLD-10. A Tuning Method of Programmable Delay Element with an Ordered Finite Set of Delay Values for Yield Improvement ○Hayato Mashiko・Yukihide Kohira (Univ. of Aizu)

VLD-11. 共有型マルチ FPGA システムに向けた動的再配置手法と評価 ○右近祐太・大塚卓哉・青木 孝・関原悠介・宮崎昭彦 (NTT)

VLD-12. ストリーミング処理のためのプロセッサ構成に関する検討 ○関原悠介・山崎晃嗣・宮崎昭彦 (NTT)

29 日午前 招待講演 (9:00~9:50)

共通-13. [招待講演] いまシリコンバレーで旬なことウエアラブル, モバイル, Big Data, エコシステムー

木村康則 (米国富士通研)

29 日午前 FPGA 応用 (2) (10:05~11:45)

CPSY-14. FPGA を用いたストリーム解析処理向けアーキテクチャの検討 秋岡明香 (明大)

CPSY-15. 高位合成を用いたストリーム処理におけるマルチ FPGA システム向け回路分割手法の提案 ○國上太旗・天野英晴・宮島敬明 (慶大)

CPSY-16. A Flexible-Length-Arithmetic Processor Using Embedded DSP Slices and Block RAMs in FPGAs

○Md. Nazrul Islam・Kohan Sai・Hirotsugu Nakano・Yasuaki Ito (Hiroshima Univ.)

CPSY-17. マルチポート共有キャッシュを用いた FPGA 用マルチコアの性能向上の検討 ○金 紅坤・山口佳樹・児玉祐悦 (筑波大)

29 日午後 ネットワークオンチップ (13:20~14:10)

CPSY-18. マーケティングメモリスルータイプを用いた NoC ルータ

○安戸僚汰・加賀美崇紘・天野英晴 (慶大)・中瀬泰伸・渡邊政志・大石 司・清水 徹 (ルネサス エレクトロニクス)・中村維男 (慶大)

CPSY-19. チップ間ワイヤレス通信に CSMA/CD バスを用いた 3-D NoC アーキテクチャの検討 ○加賀美崇紘・松谷宏紀 (慶大)・鯉渕道紘 (NII)・天野英晴 (慶大)

◆情報処理学会; システム LSI 設計技術研究会連催. IEEE CAS 福岡チャプター共催

◎28 日の基調講演後に, サンロイヤルホテル (予定) にて懇親会を予定していますので御参加下さい.

(デザインガリア会場より送迎バスを出します)

会費は, 早割: 一般 5,000 円, 学生 4,000 円, 当日: 6,000 円を予定しています. 懇親会の申込方法など, 詳しくは各研究会の Web の案内を御覧下さい.

☆VLD 研究会

【問合先】

中武繁寿 (北九州市大)

E-mail: nakatake@kitakyu-u.ac.jp

◎VLD 研究会ホームページも御覧下さい.

<http://www.ieice.org/~vld/>

☆CPM 研究会今後の予定 [] 内発表申込締切日

11 月 28 日 (木), 29 日 (金) 阪大吹田キャンパス [締切済]
テーマ: 窒化物及び混晶半導体デバイス, 及び一般

【問合先】

告 36

小館淳一 (NTT)

E-mail: kodate.junichi@lab.ntt.co.jp

☆ICD 研究会

【問合先】

大内真一 (産総研)

E-mail: shinichi.ouchi@aist.go.jp

☆CPSY 研究会

【問合先】

安里 彰 (富士通研)

E-mail: asato@jp.fujitsu.com

☆DC 研究会今後の予定 [] 内発表申込締切日

12 月 13 日 (金) 和倉温泉観光会館 [締切済] テーマ: 安全性及び一般

【問合先】

吉村正義 (九大)

E-mail: yosimura@ait.kyushu-u.ac.jp

井上浩明 (NEC)

E-mail: h-inoue@ce.jp.nec.com

◎最新情報は, DC 研究会ホームページを御覧下さい.

<http://www.ieice.org/iss/dc/jpn/index.html>

☆RECONF 研究会

【問合先】

谷川一哉 (広島市大)

E-mail: tanigawa@hiroshima-cu.ac.jp

★人工知能と知識処理研究会 (AI)

専門委員長 松原繁夫 副委員長 菅原俊治・峯 恒憲
幹事 片上大輔・服部宏充

日時 11 月 28 日 (木) 13:00~17:20

29 日 (金) 10:00~16:10

会場 九州大学伊都キャンパスウエスト 2 号館大講義室 (I313)

(28 日) 第 5・第 6 講義室 (29 日) (福岡市西区元岡 744)

議題 「コンテキストを意識した知識の利用」及び一般

28 日

1. 仮説推論に基づく分子ネットワークモデルの補完
○山本泰生・岩沼宏治 (山梨大)
2. 大規模な環境におけるチーム編成の効率化について
○早野真史・菅原俊治 (早大)
3. Efficient Channel Division and Information Sharing Using Reinforcement Learning For Cooperative Multi-agent Systems
○Xue Zhang・Toshiharu Sugawara (Waseda Univ.)
4. MetroMaps versus Facets: What Exactly is the Ontological Context? Marat Zhanikeev (Kyushu Inst. of Tech.)
5. 共創支援環境のためのコンテキストトリポジトリとその応用について
○大園忠親・白松 俊・新谷虎松 (名工大)
6. 動きのあるプッシュ型 Web コンテンツに基づく共創支援環境の実現
○今井翔太・片山真也・白松 俊・大園忠親・新谷虎松 (名工大)
7. ジョブマッチングのための相互推薦手法の提案と評価
○佐川靖宜・峯 恒憲 (九大)
8. 誤差を含む位置情報の k-匿名化
○清 雄一・大須賀昭彦 (電通大)

29 日午前

1. マルチモーダル乗換案内システム Patrash の提案と試作

○中村啓之・高 原・張 紅亮・高 赫・清弘晃史・
峯 恒憲 (九大)

2. 既存プレゼン用スライドの操作情報付き動画変換に基づく
Web コンテンツ化について ○丹羽佑輔・白松 俊・
大園忠親・新谷虎松 (名工大)
3. 即応的プレゼンテーションのための PowerPoint スライドオ
ブジェクト操作機構の実現 ○山田裕之・丹羽佑輔・
白松 俊・大園忠親・新谷虎松 (名工大)

29 日午後

4. プログラム依存グラフを用いたマルチエージェントシミュ
レーションモデル改造支援 ○中嶋俊貴 (名大)・
八楨博史 (東京電機大)
5. 巡回アルゴリズムの効率を考慮したマルチロボット巡回清掃
の領域分割法の提案 ○加藤千紘・菅原俊治 (早大)
6. 留保価格を考慮した大規模複数ユニット組合せオークション
の近似価格決定に関する一考察 福田直樹 (静岡大)
7. ストリームデータ上の各種の頻出データのオンライン型マイ
ニングに関する一考察 ○岩沼宏治・山本泰生 (山梨大)
8. ユーザの観点に基づく電子掲示板からのコミュニケーション
抽出 ○里中晴日・砂山 渡 (広島市大)・
西村和則 (広島工大)
9. web からの行動目的ネットワークの構築 ○横山法子・
船越 要・戸田浩之・鷲崎誠司 (NTT)

◎28 日 19:00~21:00, 交流会を行います。

【問合先】

人工知能と知識処理研究会 幹事
E-mail: ai-staff@mail.ieice.org

—— 海外における開催 ——

★機構デバイス研究会 (EMD)

専門委員長 長谷川 誠 副委員長 関川純哉・久我宣裕
幹事 服部康弘・阿部宜輝 幹事補佐 上野貴博

日時 11 月 16 日 (土) 8:15~18:05
17 日 (日) 8:00~18:40

会場 華中科技大学 (中華人民共和国武漢市. <http://english.hust.edu.cn/> TEL +86-27-87559652 Li Zhenbiao)

議題 国際セッション IS-EMD2013

16 日午前

1. Contact corrosion of AgMo electrical contact material
○Yusheng Cui・Yali Wang・Cao Ling・
Lifu Hu (Metalor Technologies (Suzhou))・
Christine Bourda (Metalor Technologies France)・
Chi Leung (Metalor Technologies Americas)
2. Influence of different microstructures on electrical behavior of
the AgWC contact material ○Zhenyang Song・
Xiufang Zhang・Xiaoping Bai・
Wei Weng (Fuda Alloy Materials)
3. Effects of different preparation methods on the dynamic
electrical contact performances of Ag/LSCO(12) contacts
○Qing He・Hui Yang (Zhejiang Univ.)・
Lawson Chen (Wenzhou Hongfeng Electrical Alloy)・
Xianping Fan・Qianhong Shen (Zhejiang Univ.)・Xinhe Wu・
Chengfa Mu (Wenzhou Hongfeng Electrical Alloy)・

Lingjie Zhang (Zhejiang Univ.)

4. Simulation and analysis of temperature field and thermal
stress of composite contacts in electrical life test of DC relay
○Wenying Yang・
Dongyuan Li (Harbin Inst. of Tech.)・
Zhuanke Chen (Chugai USA)・
Guofu Zhai (Harbin Inst. of Tech.)
5. An Evaluating Method for Fundamental Dynamical Parame-
ters of Objects on a Printed Circuit Board—Natural Frequency,
Damping Ratio, and Mass— ○Shin-ichi Wada・
Keiji Koshida・Hiroaki Kubota (TMC)・
Koichiro Sawa (Nippon Inst. of Tech.)
6. An Evaluating Method for Fundamental Dynamical Parame-
ters of Objects on a Printed Circuit Board—Degradation of
Electrical Contacts using a Hammering Oscillation Mecha-
nism— ○Shin-ichi Wada・Keiji Koshida・
Saindaa Norovling・Hiroaki Kubota (TMC)・
Koichiro Sawa (Nippon Inst. of Tech.)
7. Synchronous Control System for Synthetic Test
○Jiang Yuan・Wu Jianwen・Wang Hefei (Beihang Univ.)
8. Analysis of the let-through current capability of PCB
○Hu Shutong・Li Xingwen (XJTU)
9. Evaluation of Noise Interference to a Coaxial Cable due to
Connector Contact Failure ○Yu-ichi Hayashi・
Takaaki Mizuki・Hideaki Sone (Tohoku Univ.)
10. Internal Gaseous Pressure Profile of MCB Circuit Breaker
During The Current Interruption—Experiment and Discus-
sion— Hai Chen (Siemens)
11. Study on the Breaking Characteristics of Low Voltage DC
Circuit Breaker in the Critical Low-current Situation
○Yunfeng Wang・Degui Chen・
Xingwen Li (Xi'an Jiaotong Univ.)・Ruiliang Guan・
Hongwu Liu (Changshu Switchgear MFG.)
12. Dynamic Simulation and Experiment on Electromagnetic
Repulsion Mechanism for DC Circuit Breaker Lin Xin・
○Cao Chen (Shenyang Univ. of Tech.)
13. Based On Intrinsic Mode Function Energy Tracking Method
Of Circuit Breaker Vibration Signal Feature Extraction Studies
○Sun Yihang・Wu Jianwen (Beihang Univ.)

16 日午後

14. Thermal and Mechanism Simulation in the Design of
Thermal Overload Relay ○Xun Shao・
Weihua Wang (Schneider Electric)
15. A novel method of bypass protection circuit for relay's arc-
suppression Xinjun Liu・Jing Wang・○Wenjia Zhang・
Dongsheng Jiang (Beijing Inst. of Space System Eng.)
16. The study for contact age of space relay under inrush current
effect Jiang Dongsheng
(Beijing Inst. of Space System Eng.)
17. Suppression of arc ignition for a DC current fuse using
transient current switched circuit ○Daisuke Hara・
Noboru Wakatsuki (Isinomaki Senshu Univ.)
18. Study of pre-arcing time-current characteristics for quartz
sand fuse Jiao Wang・○Hao Zhang・Zhiyuan Liu・
Jing Yan・Yingsan Geng (Xi'an Jiaotong Univ.)
19. Experimental study of the arc behavior in different gases

- Zhu Kai · Li Xingwen (XJTU)
20. Arc Blowing for Slowly Breaking Different Shape Silver-Tin Dioxide Contacts by Arc Guide with External DC Magnetic Field
○Yoshiki Kayano (Akita Univ.) · Hiroshi Inoue (The Open Univ.)
21. Experimental Study on Arc Duration under Different Atmospheres
○LI Chen · LI Zhen-biao · Wang Qian · LIU Du (HUST)
22. Magnetically Blowing out of Break Arcs Restricted by a Wall and a Pipe
○Kojun Konishi · Junya Sekikawa (Shizuoka Univ.)
23. Research on the Influence of Contact Distance on AC Arc Duration of Electromagnetic Relay
○Xuerong Ye · Han Zhao · Xinglei Cui · Huimin Liang · Guofu Zhai (Harbin Inst. of Tech.)
24. Kaolinite and Natural rubber Composite Foams for Insulation Preparation
○Nuchnapa Tangboriboon · Surarit Samattai (Kasetsart Univ.) · Anuvat Sirivat (Chulalongkorn Univ.)
25. Influence of annealing temperature on microstructure and static welding force of pure silver rivets
○Heng Wang · Suhua Li · Guowei Li · Wei Weng · Xiaoping Bai (Fuda Alloy Materials)
26. Effect of Different In Content on Microstructure of AgSnIn Alloy During Internal Oxidation
○Jie Li · Xiaofang Yan · Xiaoping Bai · Liqiang Liu · Suhua Li · Wei Weng (Fuda Alloy Materials)
27. A Study on Embedded F-SIR Type Transmission Line in IC Chip for Negative Group Delay Characteristics
○Xiaofan Yang · Yoshiki Kayano (Akita Univ.) · Hiroshi Inoue (The Open Univ.)
28. Vibration and noise analysis of three-phase permanent magnet synchronous motor with direct torque control
○XIA Jiakuan · LIN Tao (Shenyang Univ. of Tech.)
29. Influence of SVPWM control on Vibration and Noise of six-phase permanent magnet synchronous motor
○XIA Jiakuan · Wang Tong (Shenyang Univ. of Tech.)
30. Adaptive repetitive control to track periodic signals with Adaptive Notch Filter
Sun Yibiao · Wang Jie (Shenyang Univ. of Tech.)
31. Application Analysis of Saber and Matlab/Simulink in the Inverter circuit of H bridge
○XIA Jiakuan · HAN Wenze (Shenyang Univ. of Tech.)
- 17 日午前
1. Co-Simulation Technology of Intelligent Contactor
○Xu Zhihong · Tang Longfei (Fuzhou Univ.)
2. The Control Technology of Double Closed Loop and Self-correction for AC Contactors
○Tang Longfei · Xu Zhihong (Fuzhou Univ.)
3. Influence of Voltage on Various Characteristics of Ag Contacts for Electromagnetic Contactors
○Kiyoshi Yoshida · Koichiro Sawa (Nippon Inst. of Tech.) · Kenji Suzuki · Kouetsu Takaya (Fuji Electric FA Comp. & Sys.)
4. Study on arc characteristics of a DC bridge-type contactor in air and nitrogen at different pressure
○Xue Zhou · Wenyang Yang · Xinglei Cui · Guofu Zhai (Harbin Inst. of Tech.)
5. Research on Arcless Operation for AC Contactor
○Xili Wang · Zhiyong Wang · Yanli Liu · Fengyi Guo (Liaoning Technical Univ.)
6. Three-dimensional observation of damage shapes caused by break arcs on Ag and AgSnO₂ contact surfaces
○Daichi Kawamura · Makoto Hasegawa (Chitose Inst. of Sci. and Tech.)
7. The Time Variation of Contact Resistance of Silver Contacts after Contacting on Constant Contact Force
○Satoshi Ishikura · Junya Sekikawa (Shizuoka Univ.)
8. Spectroscopic observation of contact surface being eroded by break arcs
○Masato Nakamura · Junya Sekikawa (Shizuoka Univ.)
9. Experimental Investigation on the Role of Sphere Indenter in Measuring Contact Resistance of Flat Rivets
○Wanbin Ren · Yu Chen · Shengjun Xue (Harbin Inst. of Tech.) · Guenther Horn (ElConMat Consulting Associates) · Guofu Zhai (Harbin Inst. of Tech.)
10. Experimental study on root profile of molten bridge under different current at low opening speed
Xinyun Zhang · Guofu Zhai · Xue Zhou (Harbin Inst. of Tech.)
11. Simulation of interruption process of MCCB considering gas flow out effect
○Degui Chen · Liang Ji · Xingwen Li (Xi'an Jiaotong Univ.)
12. Influence of fabrication method on the arcing erosion behaviour of AgSnO₂ contact materials
○Wu Chunping · Yi Danqing (Central South Univ.) · Weng wei (FuDa Alloy Materials) · Zhou Jiemin (Central South Univ.) · Bai Xiaoping · Li Suhua (FuDa Alloy Materials)
13. Preparation of Ag/ZnO Electric Contact Materials Synthesized by Different Methods
○Wei Zhijun · Shen qianhong · Fan xianping · Yang hui · Chen Lawson (Zhejiang univ.)
14. An experimental study on influences of contact opening speeds on break arc characteristics of Ag and AgSnO₂ contacts
○Makoto Hasegawa (Chitose Inst. of Science and Tech.)
15. Theoretical models of dynamic welding of electrical contacts
○Adrian Sienicki · Piotr Borkowski (Lodz Univ. of Tech.)
- 17 日午後
16. Preparation of WC@SnO₂ core-shell composite and its application in AgSnO₂ contact material
○Qiu Jianmei · Shen qianhong · Fan Xianping · Yang Hui (Zhejiang Univ.) · Chen Lesheng (Wenzhou Hongfeng Electrical Alloy) · Zhang Lingjie (Zhejiang Univ.)
17. Influence of atmosphere gases on thermodynamic and transport properties of arc plasmas
○Takuya Hara · Junya Sekikawa (Shizuoka Univ.)
18. Simulation Research on Physical Characteristics of Low-voltage Switching Arc Plasma Sheath in Air
○Wanying Liu · Guogang Zhang · Pengfei Zhang · Yingsan Geng (XJTU)

19. Optimization of the direct current circuit breaker used for the traction system ○Qu Jianyu · Li Xingwen (XJTU)
20. Calculate Very Fast Transient Overvoltage by the Inverse Operation of the radiated transient electromagnetic field due to Switch Operation in Power Substation ○Weifeng Xin · Guogang Zhang · Jianqiang Wang · Weiguang Yuan · Kai Liu · Yingsan Geng (XJTU)
21. Effect of Various Atmospheric Temperature on the Contact Resistance of Sliding Contacts on Silver Slip Ring and Silver Graphite Brush ○Mifuyu Fuchimoto · Koichiro Sawa · Takahiro Ueno (Nippon Inst. of Tech.)
22. Reconsideration of the Application of Silver plating on Electrical Contacts in Signal Connectors ○Yilin Zhou · Shichao Ge · Chengming Yuan (Beijing Univ. of Posts and Telecommunications)
23. Analysis of signal characteristics for faulty connector in communication systems ○Rui Ji · Jinchun Gao · Gang Xie (Beijing Univ. of Posts and Telecommunications) · Chen Chen (Schlumberger)
24. Simulation of connector's vibration performance ○Xue-Yan Lin · Hui-Juan Long (Beijing Univ. of Posts and Telecommunications)
25. Study of Current-carrying performance in Pantograph-Catenary Sliding Electric Contact ○Chen Zhonghua · Shi Yinglong · Guo Fengyi (Liaoning Tech. Univ.)
26. Erosion Rate of Carbon Contacts by Arc Discharge in Various Fuels ○Koichiro Sawa · Cheng Chan Wei · Takahiro Ueno (Nippon Inst. of Tech.)
27. Influence of the electric field and magnetic field on current distribution of breaking arc in low voltage device ○Hongwu Liu · Ruiliang Guan · Nairui Yin · Weiwen Lu (Changshu Switchgear Mfg.)
28. The Trying of Reducing Low-voltage Apparatus' Contact Resistance and Temperature-rising Using Shape Memory Alloy (SMA) Tian Xinjiang (Hongmei Electronic)
29. Thermal Analysis on Spring Contacts of High Voltage Apparatus ○Ruochen Qiang · Chunping Niu · Xiaohua Wang · Yi Wu · Mingzhe Rong (Xi'an Jiaotong Univ.) · Guangyao Jin (Pinggao Group)
30. Prediction of temperature rise in MV Switching Cabinet ○Jian Liu · Joseph Yan (Univ. of Liverpool)
31. Study on Propagation Characteristics of PD-induced Electromagnetic Wave in GIS with T Shaped Structure ○Tianhui Li · Mingzhe Rong · Dingxin Liu · Xiaohua Wang (Xi'an Jiaotong Univ.)
32. Magnetic field simulation research of new TMF-AMF contacts ○Xiaoqin Wang · Shuping Sun · Wenyi Li · Lansuo Yang · Min Li (Tianjin Pinggao Intelligent Electric)
33. Computational study of arc behavior under external magnetic field in an SF6 circuit breaker Junmin Zhang · Minmin Niu (Beihang Univ.) · Junmin Zhang (Pinggao Group)
34. The influences of nozzle structural parameters on arc characteristics for an SF6 circuit breaker Junmin Zhang · Zhuo Wu (Beihang Univ.)

35. Experimental Research on Spark Discharge Characteristics of Automobile Ignition System Fengyi Guo · Zhiyong Wang · Kun Li (Liaoning Technical Univ.)

◆継電器・コンタクトテクノロジー研究会共催

☆EMD 研究会今後の予定 [] 内発表申込締切日

2月21日(金) パナソニック「松心会館」[12月5日(木)]
 テーマ:機構デバイスの信頼性, 信頼性一般(共催:継電器・コンタクトテクノロジー研究会, IEEE CPMT JAPAN, IEEE Reliability Society Japan Chapter, 協賛:日本信頼性学会)

【発表申込先】 下記研究会発表申込システムからお申込み下さい。
<http://www.ieice.org/jpn/ken/kenmoushikomi.html>

【問合先】

関川純哉(静岡大)

TEL & FAX [053] 478-1618

E-mail: tjsekik@ipc.shizuoka.ac.jp

久我宣裕(横浜国大)

TEL & FAX [045] 339-4279

E-mail: kuga@ynu.ac.jp

服部康弘(住友電装)

TEL [059] 382-8634, FAX [059] 382-8591

E-mail: yasuihiro-hattori@gate.sws.co.jp

阿部宜輝(NTT フォトニクス研究所)

TEL [046] 240-2262, FAX [046] 270-6421

E-mail: abe.yoshiteru@lab.ntt.co.jp

◎EMD 研究会に関する最新の情報は, <http://www.ieice.org/es/emd/jpn/>を御参照下さい。

—今後の予定—

★パターン認識・メディア理解研究会 (PRMU)

専門委員長 鷲見和彦 副委員長 柏野邦夫・黄瀬浩一

幹事 田中 宏・堀田政二 幹事補佐 島田敬士・井尻善久

☆PRMU 研究会今後の予定 [] 内発表申込締切日

2月13日(木), 14日(金) 福岡大 [12月10日(火)] テーマ:パターン認識・メディア理解の基礎と境界領域, 環境・エネルギーの課題

・技術テーマ:パターン認識・メディア理解の基礎と境界領域

・社会課題テーマ:環境・エネルギーの課題

・企画:ポスターセッション

画像や音声などを代表とする各種パターンメディアを認識・理解するための研究は, 様々な隣接分野と基礎理論や要素技術とを共有しています。それゆえ, 各分野の進展や研究成果は, 当該分野における貢献のみならず, 隣接分野へ波及する可能性も持ち合わせていると言えます。

本研究会では, パターン認識・メディア理解の基礎と境界領域に位置づけられる研究の発表をテーマセッションとして開催致します。パターン認識・メディア理解における課題を数理問題に翻訳・記述するモデリングや, 数理問題を解くアルゴリズムまたはアルゴリズムが有効に働く枠組み作りに関する研究は勿論のこと, 要素技術の適用範囲や性能限界の究明, 効率化や実装のための工夫, 理論面の妥協点を探る研究など, 応用先を問わず発表を広く募集致します。特に, 分野横断的な基礎研究や隣接分野の技術の導入, 他分野の異なる観点からパターン認

識・メディア理解の課題にアプローチを試みる研究などの発表を歓迎致します。

なお本年度から PRMU は社会課題テーマを毎回設定しており、今回のテーマ「環境・エネルギーの課題」に関する研究発表も募集致します。近年重要となっている環境問題やエネルギーを扱う研究分野は多岐にわたっていますが、パターン認識はそれらを支える重要な要素技術の一つになっています。本研究会では、環境やエネルギー問題を幅広く捉え、様々な応用事例の紹介や基礎的な手法の提案まで、パターン認識とメディア理解に関連する研究を議論する場を提供致します。

また今回は、クラウドネットワークロボット (CNR) 研究会と共催しており、社会に貢献する対話ロボットの実現を目的とした、人や環境の情報把握のためのセンシング技術・センシング情報からの知識構築技術・円滑なコミュニケーションや情報提供の実現に向けた対話技術に関する研究も合わせて募集致します。

上記のテーマセッションに加えて、一般セッションの発表も募集しております。多数の御投稿をお待ちしております。

【発表申込先】

下記研究会発表申込システムからお申し込み下さい。

<http://www.ieice.org/ken/program/index.php?tgid=PRMU>

◎パターン認識・メディア理解 (PRMU) 研究会では、今年も通常の口頭発表とは別にポスターセッションの発表を募集します。

本ポスターセッションは、主に学生や若手研究者を対象としたもので、未完成な研究を含む斬新な研究を対話形式で発表する場を研究会の一部として提供することによって、新しい研究テーマを発掘するとともに、本研究分野における特に企業人と学生及び学生間のネットワークを形成し、将来にわたって本研究分野を活性化していくことを目的としております。また、ポスターセッションの発表のみに限定した、PRMU ポスターセッション賞を設け、研究会期間内に表彰を行う予定です。是非御投稿を御検討下さいませようお願い致します。

【発表申込先】 下記研究会発表申込システムからお申し込み下さい。「講演の分類」で「ポスター講演」を選んで下さい。

<http://www.ieice.org/ken/program/index.php?tgid=PRMU>

【申込締切】 12月10日 (火)

【発表形式】 ポスター形式 (A0サイズのポスターを貼ることができます。)

【予稿】 1ページまたは2ページのアブストラクトに限定します。予稿執筆の締切は通常の発表と共通です。

【問合せ先】

鳥田敬士 (九大)

E-mail : atsushi@limu.ait.kyushu-u.ac.jp

◇ ◇ 第二種研究会開催案内 ◇ ◇

●第52回機能集積情報システム研究会

委員長 北神正人 (千葉大)

期日 平成25年11月8日 (金)

会場 山口大学常盤キャンパス工学部本館第3会議室 (宇部市常盤台2-16-1. <http://www.eng.yamaguchi-u.ac.jp/10info/access.html>)

本研究会は、電子情報通信学会・ディベンドブルコンピューティング研究専門委員会の下での第二種研究会として開催します。本研究会は、平成3年に設置された「ウェーハスケール集積システム時限研究専門委員会」以降、複数の時限研究専門委員会の下での研究会を経て現在の研究会に引き継がれました。

近年のLSI製造技術の進歩により、大規模かつ斬新な情報処理機能をシリコン・ウェーハあるいは大規模ICチップ上に集積・実装する情報システム FIIS (Functional Integrated Information System) の構築技術が注目されています。そこで、本研究会では次に示す幅広い研究分野を対象としています。

まず、ICチップ製造段階では、チップの歩留まり解析、歩留まり向上設計法、レイアウト解析、フォールト・トレラント手法などがあげられます。また、ICチップ上の情報システム構築 (SOC: System On Chip) 技術としては、IC内部の欠陥検出法 (テスト手法や BIST: Build In Self Test) や誤り訂正・回復技術、故障を許容する高並列プロセッサや相互結合網の再構成方式、耐故障再構成可能情報システムの構築技術、動的再構成可能情報システムの構築技術、低消費電力技術などがあげられます。更には、故障モデルの解析、信頼度解析、性能評価などの理論的解析手法もあげられます。

本機能集積情報システム (FIIS) 研究会は、上述したような技術を、応用分野の枠を超えた高性能・高信頼性・低消費電力のマイクロ情報システム実現のための強固な枠組みであると捉えています。本研究会では上記内容を中心としていますが、それらにとらわれず、各種応用研究を含めた広い研究分野からの研究発表を歓迎致します。

今回の第52回機能集積情報システム研究会は、山口大学常盤キャンパスにて開催致します。皆様奮って御参加下さい。

プログラム

1. FPGA のメモリ使用量削減による UAV 搭載 CP-SAR 画像処理システムの改良 ○飯塚 慧・難波一輝・Josaphat Tetuko Sri Sumantyo (千葉大)
2. フラッシュメモリにおけるページ間誤り訂正を用いたガベージコレクション ○板橋大貴・北神正人 (千葉大)
3. SI, PI, EMI の最適設計に向けた遺伝的アルゴリズムの適用 安永守利 (筑波大)
4. ザイリンクス FPGA の IODELAY を用いた低レイテンシなホットスポット ○加藤健太郎 (鶴岡高専)・小林春夫 (群馬大)
5. ストカスティックコンピューティングによる画像処理の FPGA 実装 ○砂盛大貴・大石卓也・石井章太・市原英行・岩垣 剛・井上智生 (広島市大)

◎最新の情報は Web ページ (<http://kaneko-www.cs.titech.ac.jp/fiis/>) を御覧下さい。

◎研究会終了後に懇親会を予定しております。御参加を希望され

る方は、下記問合せ先まで御連絡下さい。

参加資格 特に制限はありません

参加費 1,000円(会場でお支払い下さい。学生は無料です。)

【問合せ先】

難波一輝(千葉大大学院融合科学研究科)

E-mail: namba@faculty.chiba-u.jp

主催 ディペンダブルコンピューティング研究専門委員会

●第2回 IBISML チュートリアル

日時 平成25年11月10日(日) 10:00~18:00

11日(月) 10:00~12:00

会場 東京工業大学蔵前会館

議題 第2回 IBISML チュートリアル

10日午前 IBISML チュートリアル1

1. 機械学習概要 村田 昇(早大)

10日午後 IBISML チュートリアル2(13:30~)

2. 機械学習に基づく自然言語処理—全体概要と教師つき学習—
松本裕治(奈良先端大)

IBISML チュートリアル3

3. 機械学習に基づく自然言語処理—教師なし学習と最近の話題—
持橋大地(統計数理研)

11日午前 IBISML チュートリアル4

1. 機械学習とクラウドソーシング—機械の知と人間の知の融合—
鹿島久嗣(東大)

◎参加費有料ですが、第16回 IBIS ワークショップとは別に参加
申込が必要です。

主催 情報論的学習理論と機械学習研究専門委員会

●平成25年度第3回医療情報通信技術研究会

委員長 井家上哲史(明大)

期日 平成25年11月18日(月)

会場 京都工芸繊維大学松ヶ崎キャンパス (http://www.kit.ac.jp/01/01_110000.html)

テーマ 「医療情報通信技術一般」

参加費 一般4,000円(講演資料代を含む)、学生無料(講演資料代は別途2,000円)

プログラム <http://www.ieice.org/~mict/>に掲載されます。

【参加方法】 事前参加登録は不要です。参加を希望される方は、
当日、会場受付にお越し下さい。

【問合せ先】 幹事

金 ミンソク(東工大)

E-mail: mict-sec@mail.ieice.org

主催 医療情報通信技術時限研究専門委員会

●第6回情報ネットワーク科学研究会

委員長 会田雅樹(首都大東京)

副委員長 中村 元(KDDI)・成瀬 誠(NICT)・

巳波弘佳(関西学院大)

日時 平成25年11月22日(金) 13:00~18:00

会場 関西学院大学大阪梅田キャンパス10階1004教室

参加費 1,000円

プログラム

1. [招待講演] 知性と生命の起源を探索するアメーバ計算モデル

青野真士(東工大)

2. [招待講演] Homesick Levy walk—人と人の遭遇特性を反映

するモビリティモデル— 藤原明広・巳波弘佳(関西学院大)

3. 選択的ノード破壊によるネットワーク分断に耐性のある最適

ネットワーク設計 松井知美・巳波弘佳 他(関西学院大)

4. 相互依存ネットワークの次数相関の影響

渡辺駿介・樺島祥介(東工大)

5. [招待講演] 非線形振動子の同期とその実験について

池口 徹(埼玉大)

6. [招待講演] Using Noise and Fluctuations in Computation

フェルディナンド・ペパー(NICT)

◎最新情報や今後の研究会の予定等は情報ネットワーク科学時限
研究専門委員会のWebサイト <http://www.ieice.org/~netsci/>
を御参照下さい。

【問合せ先】

井上 武(NTT)・久保 健(KDDI)

村山立人(富山大)・作元雄輔(首都大東京)

E-mail: netsci-admin@mail.ieice.org

主催 情報ネットワーク科学時限研究専門委員会

●第27回光通信システムシンポジウム「グローバル戦略が拓く光通信の未来—新たなステージへのシナリオ—」

実行委員長 水落隆司(三菱電機)

実行副委員長 富澤将人(NTT)

光通信システム研究会(OCS)では、毎年12月に第二種研究会として光通信システムシンポジウムを企画しています。本年も12月12日(木)、13日(金)の両日、第27回光通信システムシンポジウムを開催致します。

概要

今年27回目を迎える光通信シンポジウムでは、「技術で勝って、グローバルビジネスでも勝つ」ことを目的に、グローバル戦略について俯瞰的に議論し、日本の光通信関連産業の新たな時代に向けた方向性を展望します。本シンポジウムでは、ビジネス・技術の両面を広く網羅する基調講演、招待講演、ワークショップ、ランプセッションを企画しています。更に将来の担い手となる若手の方を対象としたポスターセッション、光通信用部品・計測機器等の光通信関連製品の展示会、及び公的ファンドの委託研究等の最新研究成果を紹介する展示会も併設して開催致します。関係者多数の御参加をお待ちしております。

日時 平成25年12月12日(木) 12:30~21:10

13日(金) 8:50~16:35

会場 東レ総合研修センター(三島市末広町21-9, JR線三島駅より徒歩12分、タクシー2分。 http://www.toray.co.jp/location/loc_401.html)

【参加費、懇親会、宿泊】

参加費: 会員8,000円, 非会員11,000円, 学生1,000円

懇親会: 12日夕刻に開催

※宿泊については、OCSホームページにて最新の情報を御確認下さい。

【参加申込方法】

・光通信システム研究会(OCS)ホームページにて受け付けます。
<http://www.ieice.org/cs/ocs/jpn/>

・会場、宿泊室の収容人員に限りがございます。御希望に添えない場合もあることをあらかじめ御了承下さい。

- ・お申込の際に連絡頂いた情報は、OCS 研究会にて管理し、光通信システムシンポジウムの運営、及び、OCS 研究会からの連絡以外の目的には使用致しません。

プログラム

タイトル等変更の場合有、最新プログラムは、OCS ホームページを参照下さい。

<http://www.ieice.org/cs/ocs/jpn/>

12 日

1. [基調講演] サイエンス経済時代のイノベーションと日本の産業競争力 元橋一之 (東大)

2. 2013 年 OCS 表彰式

昨年 9 月～今年 8 月の光通信システム研究会で発表された論文から、特に優れた論文と若手講演者に対し、それぞれ論文賞と奨励賞を授与します。

3. ポスターセッション

昨年より引き続きポスターセッションを実施します。公募形式で原則 33 歳未満の方を対象としています(学術的内容に限りません)。前後半に分けて 2 部構成にて行います。

4. ワークショップ 1

[世界の成功例に学ぶ ICT 国際競争戦略]

- (1) モジュール型から統合型への回帰 田中辰雄 (慶大)
- (2) 光伝送市場におけるファウエイのグローバル R & D とビジネス展開 滝広真利 (ファウエイ・ジャパン)
- (3) Broadcom Drives the Next Wave of Innovation 高市良治 (Broadcom Japan)
- (4) 急成長するグローバル企業の製品開発 強さの秘密 小黒正樹 (元三星電子)

◎17:55～19:25 に懇親会を行います。

5. ランプセッション「光通信の夢を語ろう」

光通信システムの目指す先は超々大容量伝送だけなのでしょう。懇親会後のフランクな雰囲気の中で、皆さん日頃抱いている「夢」を披瀝しながら、明るい光通信技術の将来の姿について、参加者の皆様の間で自由に議論してみましょう。

オーガナイザ 米永一茂 (NTT)

13 日

6. [招待講演]

- (1) 未定 講演者調整中
- (2) 未定 府川和彦 (東工大)
- (3) Ethernet の歴史 (仮) 瀬戸康一郎 (日本エナ)

7. [IEEE ComSoc JC 記念講演] SDN, NFV の研究開発動向とフレキシブル NW 実現に向けた取り組み 島野勝弘 (NTT)

8. [IEEE PS JC 記念講演] ファイバにおける非線形光学過程の光通信への応用と展望 並木 周 (産総研)

9. ワークショップ 2

[これだけは聴いておきたい 400 G/1 T 光通信技術]

- (1) 規格・標準化/研究開発動向レビュー (仮) 大原拓也 (NTT)
- (2) 最先端光ファイバ (仮) 平野正晃 (住友電工)
- (3) 次世代 IT システムを実現する高帯域密度光 I/O 中川 茂 (日本 IBM)
- (4) 信号処理・非線形問題 (仮) 星田剛司 (富士通)

[展示会]

- 12 月 12 日 (木) 11:30～12:30, 14:00～15:10
12 月 13 日 (金) 8:00～8:50, 10:50～11:10, 12:30～13:50

[講演内容等に関する問合せ]

乾 哲郎 (NTT 未来ネットワーク研究所)

〒239-0847 横須賀市光の丘 1-1

TEL [046] 859-2455, FAX [046] 859-5541

E-mail: inui.tetsuro-ocs@lab.ntt.co.jp

[参加申込に関する問合せ]

斎藤恒聡 (古河電工)

〒290-8555 市原市八幡海岸通 6

TEL [0436] 42-1725, FAX [0436] 42-9340

E-mail: ocs@furukawa.co.jp

主催 光通信システム研究専門委員会

協賛 IEEE PS JC, IEEE ComSoc JC, 超高速フォトニックネットワーク開発推進協議会, フォトニックネットワーク研究専門委員会, 光通信インフラの飛躍的な高度化に関する時限研究専門委員会

◇ ◇ 第二種研究会発表募集案内 ◇ ◇

●第 3 回ネットワークソフトウェア (NWS) 研究会

委員長 新津善弘 (芝浦工大)

研究会の内容

通信ソサイエティ・ネットワークシステム (NS) 研究会配下の第二種研究会であり、ネットワークの変革がソフトウェア技術にもたらすインパクトや、ソフトウェアの技術革新がネットワークサービスに及ぼす変革に対して問題意識を持ち、ネットワークソフトウェア技術に対する要求条件や実現技術について研究・実用化の両面に関して議論を行う。

期日 平成 26 年 1 月 23 日 (木), 24 日 (金)

会場 名古屋国際センター (名古屋市)

テーマ: ネットワークとサービスのセキュリティ+一般 (IN 研究会併催)

概要

昨今、セキュリティ関連のニュースを見ない日はない。「つながりすぎた世界」(ウィリアム・H・ダビド著, ダイアモンド社)に書かれているように、世の中は、つながりすぎてしまったゆえに、様々な、想定しなかった問題が起きているのは確かである。特に、今後は、IoT (Internet of Things) 等の普及により、ますます、自分の知らないところで「つながりすぎて行く」ことが予想される。しかし、様々な経済活動の変化を押し留め、現在享受している生活の利便性を手放すことができないのも確かである。したがって、我々は、過去に戻るのではなく、つながった世界にうまく対応していく必要がある。そこで、第 3 回 NWS 研究会では、つながりすぎた世界=ネットワーク化された世界におけるセキュリティ関連の課題を中心に、以下のようなテーマで研究発表を募り、ネットワークソフトウェアの将来像に向けて、幅広く議論を行う。

- ・将来のネットワークのセキュリティに関するソフトウェア技術
- ・将来のサービスのセキュリティに関するソフトウェア技術
- ・スマートフォンアプリケーションのセキュリティに関するソフトウェア技術
- ・様々なセキュリティ関連事例と社会的課題
- ・その他一般

なお、第 3 回 NWS 研究会は IN 研究会との併催であり、IN 研

研究会参加者との意見交換が可能です。

本研究会の特徴

参加者の産学のバランスがよく、更に時間にとらわれず活発に議論する風土がありますので、発表者は様々な角度から多数のフィードバックを得ることができます。他研究会には例を見ない独特の発表形式を採用しておりますので、発表者は目的に応じた議論を自由に展開することができます。これにより、検討結果の発表だけでなく検討経過や問題提起等についても発表・議論して頂くことが可能です。

また、本研究会では、今後の更なる研究を促すことを目的として研究奨励賞を、また、議論を促進することを目的としてディスカッション賞をそれぞれ設けています。ディスカッション賞については、有意義なディスカッションをして下さった参加者が受賞対象となります。是非活発な議論をお願い致します。

【発表形式】 下記2種類の発表形式からお選び下さい。

- ・一般講演：掘り下げた議論を御希望の方向け 1件当たり標準で50分。発表者からのプレゼンテーションは20～25分とし、残りの時間を質疑応答に割り当てることで、深く掘り下げた議論や多様な視点からの広範なフィードバック獲得が可能となります。
- ・ポジションペーパー：構想段階等にて意見を収集したい方向け 1件当たり約5～10分程度で、一般講演するほどの内容ではないが、是非意見交換をしたい内容などについて、発表者の目的に応じた自由な形式で議論して頂けます。

各種締切

- ・一般講演申込み：12月17日（火）
- ・一般講演原稿提出：12月24日（火）
- ・ポジションペーパー申込み・原稿提出：12月24日（火）
- ・研究会参加申込み：12月24日（火）
- ・参加費振り込み：1月10日（金）

【一般講演の申込と原稿提出】

- ・申込方法
講演者氏名、共著者名、所属、講演題目、概要（400字程度）、連絡先（住所、E-mailアドレス、電話番号）、講演者の方の参加費種別（一般/学生）、予稿集の事前配布を希望される方はその旨を明記の上、期日までに電子メールでお申し込み下さい。講演者の方は参加申込みもされたものとみなしますので、下記参加申込みに関する注意事項も合わせて御確認下さい。予稿集の事前配布については下記注意事項を御確認下さい。
- ・原稿提出方法
PDFファイルにて、電子メールでお送り下さい。原稿の体裁は規定していませんが、PowerPointなどの発表スライドを原稿として提出される場合は、1ページ当り1スライドとなるようPDF化して下さい。発表スライドで頂きました原稿は、投稿状況に応じて1ページ当り2スライドまたは4スライドの形

式で予稿集へ掲載させていただきますので、あらかじめ御了承下さい。

【ポジションペーパーの申込と原稿提出】

申込方法は、上記の一般講演と同様です。原稿は、PDFファイル（A4判1枚・様式自由）にて、電子メールでお送り下さい。ポジションペーパーの申込・原稿提出は上記期日を過ぎてからも受け付けます。ただし期日以降の申込・原稿提出を御希望の方は、事前に電子メール等にてお問い合わせ下さい。また期日以降の申込では予稿集に原稿・氏名・所属が掲載されませんので御注意下さい。原稿については、別刷りを配布する予定です。

【参加申込】

氏名、所属、連絡先（住所、E-mailアドレス、電話番号）、参加費種別（一般/学生）、予稿集の事前配布を希望される方はその旨を明記の上、期日までに電子メールでお申し込み下さい。予稿集の事前配布については下記注意事項を御確認下さい。研究会に参加した方々の議論・意見交換活性化のため、予稿集に氏名・所属・E-mailアドレスを掲載予定ですが、問題等ございましたら御連絡下さい。

【参加費（予定）と支払方法】

一般 7,000円 学生 3,000円

参加費を期日までに下記口座へお振り込み下さい。なお、参加費には資料費を含みます。振込後の参加費の返還には応じかねますので、御了承下さい。請求書が必要な場合は、参加申込の際にその旨をお知らせ下さい。

振込先口座

銀行名：みずほ銀行 支店名：三鷹支店
口座名：ネットワークソフトウェア研究会
口座番号：普通 4298770

【予稿集の事前配布】

講演内容の理解促進及び質疑応答の更なる充実を目的に、希望する参加者の方へ予稿集を事前配布（郵送）します。事前配布を希望される方は、参加申込の際にその旨をお知らせ下さい。なお、期日までに参加費を振り込むことが事前配布の条件となりますので、御了承下さい。

【講演・参加申込先・原稿提出先】

原 大輔（NTT）
〒180-8585 武蔵野市緑町3-9-11
TEL〔0422〕59-6941
E-mail：ns-nws-secretariat@mail.ieice.org

【研究会全般に関する問合せ先】

奥谷武則（NTT）
TEL〔0422〕59-3805

主催 ネットワークシステム研究専門委員会ネットワークソフトウェア研究会運営委員会

◎<http://www.ieice.org/cs/ns/nws/>

期 日 2014年3月18日(火)~21日(金)

会 場 新潟大学(新潟市)

電子情報通信学会総合大会の講演申込み登録・原稿送付については、インターネットによる講演申込み・PDFによる原稿送信となっています。

募集期間

2013年11月8日(金)~2014年1月8日(水)17:00(厳守)

2014年総合大会ホームページ

http://www.toyoag.co.jp/ieice/G_top/g_top.html

(1) 講演申込みについて

「インターネット講演申込登録の受付期間」

「講演申込登録の修正・取消」

「論文集PDF原稿の送信期限」・「紙面による論文原稿の送付期限」については、すべて上記の期間となります。

(2) 講演機器について

講演機器はPCプロジェクターです。PCは御持参下さいませようお願い致します。

(3) 原稿の提出について

原稿提出期限内に原稿を頂けない場合は、講演申込み登録をされている場合でも講演申込みを取り下げたものと致しますので御注意下さい。

(4) 講演申込みWeb登録上のお願

講演申込み締切日とその2~3日前は回線が混雑して、アクセスに大変時間が掛かります。スムーズな登録のため余裕を持って早めの登録をして頂くようお願い申し上げます。

(5) 非会員の方も講演発表ができます。

講演参加費(予定)

※本学会員：不課税、本学会員外：消費税込

講演参加費につきましては、DVD論文集(全講演収録・プログラム)のほか聴講参加費が含まれますので、聴講申込みは必要ありません。(発行日：3月4日)

1月末に講演者の方に講演参加費の請求書を発送致しますので、請求書到着後、振込みを行って下さい。

一般セッション

名誉員・正員：10,000円(講演発表料+DVD)

学生会員：3,000円(講演発表料+DVD)

非会員：社会人：20,000円(講演発表料+DVD)

非会員：学生：6,000円(講演発表料+DVD)

シンポジウムセッション

名誉員・正員：11,000円(講演発表料+DVD)

学生会員：3,500円(講演発表料+DVD)

非会員：社会人：22,000円(講演発表料+DVD)

非会員：学生：6,500円(講演発表料+DVD)

*電気学会、照明学会、映像情報メディア学会、情報処理学会の会員、本会と協定を締結した海外の学会の会員は会員扱いとなります。

「講演申込みの流れ」

学会Web上の「講演申込み手順」に従って申込み登録を行い、正しく登録が受け付けられますと最後に、「受付番号」・「登録済内容にアクセスするためのパスワード」等が記入された「登録受理票」が表示されますので、申込者で必ずプリントアウトして保管して下さい。また、登録完了時点で入力項目の確認のために「E-mail」が申込者に送付されます。必ず内容の確認を行って下さい。講演申込み受付期間内は受付番号とパスワードにより登録データの修正・取消が可能です。詳細は「講演申込み内容の確認・修正」、「講演申込み内容の取消要領」に従って下さい。論文集原稿の投稿は、トップメニューにある「PDF原稿送信」から「受付番号」・「パスワード」を使って論文集原稿をPDFファイルで送信して下さい。(PDF原稿はメール添付での申込みはできません。)

なお、総合大会聴講参加・冊子講演論文集申込案内等については、2014年1、2月会告(ホームページ掲載)にて御案内致します。

〒105-0011 港区芝公園3-5-8 機械振興会館内

電子情報通信学会大会係

TEL [03] 3433-6691, FAX [03] 3433-6659

E-mail: taikai@ieice.org

●…… 講演会・講習会・学術研究集会等 …… ●

——東海支部——

●平成 25 年度第 4 回学生会講演会

日時 平成 25 年 11 月 6 日 (水) 13:00~15:00
会場 静岡大学浜松キャンパス 総合棟 21 教室 (浜松市中区城北 3-5-1)
演題 半導体レーザにおけるカオスと応用
講師 大坪順次 (静岡大)
参加費 無料
参加資格 会員以外の方でも入場できます。
その他 詳しくは東海支部 HP: <http://www.ieice.org/tokai/> を御覧下さい。
主催 電子情報通信学会東海支部

●平成 25 年度第 3 回一般講演会

日時 平成 25 年 11 月 18 日 (月) 15:00~16:30
会場 ウィンクあいち 1208 会議室 (名古屋市中村区名駅 4-4-38)
演題 災害の被害を小さくするために一最新のレーダ技術
講師 浦塚清峰 (NICT)
参加費 無料
参加資格 会員以外の方でも入場できます。
その他 詳しくは東海支部 HP: <http://www.ieice.org/tokai/> を御覧下さい。
主催 電子情報通信学会東海支部

——北陸支部——

●平成 25 年度第 2 回学生講演会

日時 平成 25 年 11 月 6 日 (水) 15:10~16:40
会場 福井工業高等専門学校一般教育棟 3 階合併教室 (鯖江市下司町)
演題 ワイヤレス電力伝送技術の基本と実用化に向けた課題
講師 庄木裕樹 (東芝)
参加費 無料
参加資格 会員以外の方も入場できますが、事前の参加申込みが必要です。詳しくは北陸支部 HP: <http://www.ieice.org/hokuriku/> を御覧下さい。
問合せ先 福井工業高等専門学校電子情報工学科 川上由紀
TEL [0778] 62-8308 kawakami@ei.fukui-nct.ac.jp
主催 電子情報通信学会北陸支部

●平成 25 年度第 3 回学生講演会

日時 平成 25 年 11 月 22 日 (金) 10:30~12:00
会場 富山大学工学部共通講義棟 210 教室 (富山市五福 3190)
演題 私の研究と大学遊歴
講師 王 小龍 (筑波大)
参加費 無料
参加資格 会員以外の方も入場できます。事前の参加申込みは不要です。詳しくは北陸支部 HP: <http://www.ieice.org/hokuriku/> を御覧下さい。
問合せ先 富山大学工学部知能情報工学科 参沢匡将
TEL [076] 445-6753 misawa@eng.u-toyama.ac.jp
主催 電子情報通信学会北陸支部
協賛 富山大学工学部

講演会・講習会・学術研究集会等

——関西支部——

●電気四学会関西支部専門講習会「M2M を支える技術と近未来展望—無線給電、省電力化、エネルギーハーベスティング—」

近年、コンピュータネットワークにつながれた機械同士が人間を介せず相互に情報交換して高度な制御やサービスを提供する技術 (M2M: Machine-to-Machine) への期待が高まっています。センサ情報による自動制御から、膨大な数のセンサやものがネットワークでつながる世界 (IoT: Internet of Things) へと着実に進んでいます。情報通信技術の進歩と通信の低価格化、クラウド化、センサ技術の発達及び高速無線通信の普及により、M2M 技術は実用レベルとなり、市場 (適用分野) も見えてきています。しかし一方で、解決すべき課題が残されているのも事実です。その一つに、膨大な数のセンサやものをつなぐシステムへの電源の供給があります。

本専門講習会では、M2M を支える技術として、センサネットワーク系の電力供給方法に焦点を当てて概要から応用までを最前線で御活躍の専門家の方々に御紹介頂きます。

皆様の御参加をお待ち申し上げております。

日時 平成 25 年 12 月 6 日 (金) 9:55~16:20
会場 中央電気倶楽部 513 号室 (大阪市北区堂島浜 2-1-25, ドージマ地下センター南詰を右側に上がり、右へ約 50 m, 左側のレンガ造り建物)

講演内容

- (1) 開講の挨拶 電子情報通信学会関西支部
- (2) M2M における省電力化技術とバッテリーレス端末について 山本高至 (京大)
- (3) 圧電薄膜を用いた MEMS エナジーハーベスト 神野伊策 (神戸大)
- (4) センサネットワークにおける極低電力回路技術 更田裕司 (東大)
- (5) ナノワット級無線通信端末構成技術 大嶋尚一 (NTT)
- (6) エレクトレット振動発電技術のセンサネットワークへの活用 森口 誠 (おもろ)
- (7) 閉講の挨拶 電子情報通信学会関西支部

聴講料 主催学会会員 (正員 10,000 円, 准員・学生員 無料), 非会員 (一般 12,000 円, 学生 2,000 円) (会員, 非会員共に消費税込み)

定員 80 名 (定員になり次第, 締め切らせて頂きます)

申込方法 開催日・会員種別・氏名・連絡先 (会社学校名・所属・郵便番号・所在地・電話番号) を電子情報通信学会関西支部の HP (<http://www.ieice.org/kansai/>) からお申込み下さい。なお、はがき、FAX、E-mail でも受け付けますので下記にお申込み下さい。

申込先 〒530-0004 大阪市北区堂島浜 2-1-25
中央電気倶楽部内関西電気関連学会事務センター
TEL [06] 6341-2529, FAX [06] 6341-2534
denki4g@ares.eonet.ne.jp

主催 電子情報通信学会・電気学会・照明学会・映像情報メディア学会各関西支部

●電気四学会関西支部専門講習会「電力系統と交直変換器の相互作用」

直流連系, 調相設備としての STATCOM, メガソーラーなど, 電力系統への交直変換器の適用は多岐に及びます。国内では、紀伊水道, 南福光, 東清水等, 他励変換器を用いた直流連系のほか, 自励変換器の適用先としては、犬山, 神崎, 伏木などの

電気所に設置された STATCOM や、各地で建設が進んでいるメガソーラーのパワーコンディショナーも増加しています。海外では、沖合風力発電からの直流送電にも自励変換器が導入されつつあります。しかし、電力系統への交直変換器の適用に際しては、電圧変動、高調波不安定、高調波共振、発電機軸ねじれ振動、過電圧など、電力系統と交直変換器の相互作用現象の発生に注意を払って未然に防ぐことが肝要です。当講習会では、これら相互作用の様相、発生メカニズム、対策について、代表的な設備での事例紹介も織り交ぜて、分かりやすく解説致します。系統連系用の交直変換装置の計画、設計、運用、研究、解析などに従事される技術者・研究者の方々はじめ、多くの皆様の参加をお待ちしています。

日 時 平成 25 年 12 月 19 日 (木) 13:30~17:00

会 場 中央電気倶楽部 513 号室 (交通等前掲参照)

題目と講師：(司会) 伊与田 功 (阪電通大)

- (1) 開講の挨拶 電気学会関西支部支部長
- (2) 電力系統と交直変換器の相互作用 (総論) 中島達人 (東京電力)
- (3) 相互作用を検討する共通参考情報 天満耕司 (三菱電機)
- (4) 事例調査 他励変換器 (HVDC) 今西隆夫 (関西電力)
- (5) 事例調査 他励変換器 (FC, BTB, 海外事例) 吉田忠美 (北陸電力)
- (6) 事例調査 自励変換器 (BTB, STATCOM) 黒田和宏 (日新電機)
- (7) 事例調査 自励変換器 (太陽光, 風力, 海外事例) 江口吉雄 (日立)
- (8) 質疑応答
- (9) 閉講の挨拶 電気学会関西支部総務企画幹事

参加費 (テキスト代別) :

主催学会 会員 4,000 円, 准員 1,500 円 (会員不課税), 会員外 5,000 円 (会員外消費税込み), 学生無料

テキスト 電気学会技術報告第 1291 号「電力系統と交直変換器の相互作用」(会員 2,436 円, 一般 3,045 円 (税込)) を使用します。希望者には特別価格 (2,200 円 (税込)) で頒布致します。テキストが必要な方は 12 月 5 日 (木) までに事前お申込みをお願い致します。

Web 申込ではテキストの要否欄に「要」を、はがき/FAX/E-mail には、「テキスト希望」と書いて下さい。はがきで申込みをされる場合は締切日必着でお願いします。テキストは当日お渡し致します。

定 員 60 名 (定員になり次第、締め切らせて頂きます。)

申込方法 電気学会関西支部 HP (<http://www2.iee.or.jp/ver2/kansai/>) からお申込み下さい。はがき、FAX または E-mail による申込みの場合、講習会題目、開催日、会員種別、氏名、連絡先 (会社あるいは学校名、所属、郵便番号、所在地、電話番号) 並びにテキストの要否を、下記の申込先まで御連絡下さい。後日、参加証と請求書をお送りします。なお、お知らせ頂きました個人情報は、行事を運営する目的以外に使用することはありません。

申込先 〒530-0004 大阪市北区堂島浜 2-1-25
中央電気倶楽部内関西電気関連学会事務センター
TEL [06] 6341-2529, FAX [06] 6341-2534
denki4g@ares.eonet.ne.jp

主 催 電子情報通信学会・電気学会・照明学会・映像情報メディア学会各関西支部

共 催 電気学会 電力技術委員会「電力系統と交直変換器の相互作用調査専門委員会」

●IEICE 関西支部 ICT 基礎講座「アルゴリズムから学ぶ暗号技術」

近年の情報通信関連開発では、必要とされる技術の多様化と開発期間の短縮により、若手技術者が OJT を通して基礎知識や基礎技術を習得することが難しくなっていると指摘されています。また、これまで予想されなかった分野で情報通信技術が適用されることも増えており、大学・大学院教育で身に付けた技術分野を越えた多彩な技術を取得する必要性が高まっています。

このような状況を鑑み、電子情報通信学会関西支部では、情報通信に関する様々な技術を集中講義形式で学習できる講座「IEICE 関西支部 ICT (Information and Communication Technology) 基礎講座」を開講しています。本講座は基礎的な知識や技術に重点を置きながら、基礎から展開して最先端技術へ至るまで講義・実習することを目的としています。各講座の受講者数を 10 名程度の少人数に絞ることで講師との双方向コミュニケーションを可能とし、短期間で先端技術の基礎を習得することを狙っております。今年度の第 4 回の講座として「アルゴリズムから学ぶ暗号技術」を下記のとおり開講致します。幸いなことに、これまで開催された講座は、受講生から大変高い評価を頂いております。皆様の積極的な受講をお待ちしております。

日 時 平成 25 年 12 月 20 日 (金) 9:40~16:50

会 場 中央電気倶楽部 215 号室 (交通等前掲参照)

内 容 TLS (旧称:SSL) で使用される主な暗号技術のアルゴリズムについて解説します。特に公開鍵暗号の動作原理を理解することを主なテーマとし、実装時に必要となる数論アルゴリズムについても詳細に解説します。また、フリーの計算機代数ソフトウェア PARI/GP による実習も行います。シラバスは下記 URL から御覧頂けます。

<http://www.ieice.org/kansai/ict/>

講 師 村上恭通 (阪電通大)

受講料 会員:8,000 円, 学生:2,000 円, 非会員:20,000 円 (会員、非会員共に消費税込み)

募集人数 5 名以上、最大 15 名 (開講 2 週間前までに申込み人数が 5 名に達しない場合、開講しないこともあります)

申込方法 関西電気関連学会事務センターに電子メールで申込み下さい。

問合先 〒530-0004 大阪市北区堂島浜 2-1-25

中央電気倶楽部内関西電気関連学会事務センター

TEL [06] 6341-2529, FAX [06] 6341-2534

denki4g@ares.eonet.ne.jp

主 催 電子情報通信学会関西支部

—— 本会・ソサイエティ・グループ・

研究専門委員会等主催・共催 ——

●電気学会・電子情報通信学会・情報処理学会 主催

日本技術者教育認定機構 (JABEE) 審査講習会・受審校向け講習会

日 時 2013 年 11 月 23 日 (土) 審査講習 10:00~16:55, 受審校向け講習 17:00~18:30

10:00~16:55 の審査講習を受講頂くと、JABEE 審査のオブザーバ資格が得られます。

場 所 電気学会会議室 (千代田区五番町 6-2, HOMAT HORIZON ビル 8F)

募集人員 50 名 (先着順)

交通手段 <http://www2.iee.or.jp/ver2/honbu/31-doc-honbu/map.pdf> を御参照下さい。

講習費用 10,000円(消費税含む)(審査講習のみ,受審校向け講習のみ受講の場合も同じ)

申込方法 電気学会技術者教育課に電子メールにて11月15日(金)までに以下の各項を御連絡下さい。

- ・所属機関名
- ・部署名
- ・役職
- ・氏名(ふりがな)
- ・所属学協会名(注.入会している学協会名は全て記載下さい)
- ・電子メールアドレス
- ・電話番号
- ・審査員養成講習会への参加経験(参加した年)
- ・質問事項があれば記載のこと

申込電子メール宛先 jabee-office@iee.or.jp

電子メールの題目に「2013年度JABEE審査講習会申込」と記載下さい。

支払方法 当日現金にてお支払い下さい。

問合せ先 一般社団法人電気学会技術者教育課(担当:荒井・佐藤)

TEL〔03〕3221-3710, FAX〔03〕3221-3704

E-mail: jabee-office@iee.or.jp

講習内容

- | | | |
|-------------|-------------------|---------|
| 9:30~10:00 | 登録・資料確認 | |
| 10:00~10:10 | 本講習会の位置付けと講習会後の資格 | 講師:佐藤之彦 |
| 10:10~10:45 | 認定制度の考え方と基本方針 | 講師:佐藤之彦 |
| 10:45~11:30 | 認定基準の解説 | 講師:古閑隆章 |
| 11:30~12:15 | 認定・審査の手順と方法 | 講師:長尾雅行 |
| 12:15~13:00 | 昼食・休憩 | |
| 13:00~13:45 | 自己点検書 | 講師:佐渡一広 |
| 13:45~14:30 | プログラム点検書・審査報告書 | 講師:藤田英明 |
| 14:30~15:15 | 審査の手引き(前半) | 講師:甲斐宗徳 |
| 15:15~15:25 | 休憩 | |
| 15:25~15:55 | 審査の手引き(後半) | 講師:小西博雄 |
| 15:55~16:10 | 審査チームの構成と倫理規定 | 講師:荒川 薫 |
| 16:10~16:55 | 認定・審査に関する質疑応答 | 司会:相知政司 |
| 16:55~17:00 | 休憩 | |
| 17:00~17:45 | 受審に関する留意点 | 講師:藤田英明 |
| 17:45~18:30 | 受審に関する質疑応答 | 司会:吉田明正 |
| 18:30 | 解散 | |

注)都合によりスケジュールが変更となる場合がありますので御了承下さい。

●MWE 2013 (2013 Microwave Workshops and Exhibition)

スマートな生活を創造するワイヤレステクノロジー

[マイクロウェーブワークショップ]

日時 平成25年11月27日(水) 10:00~16:30
28日(木) 9:00~16:30
29日(金) 9:00~16:30

会場 パシフィコ横浜アネックスホール・展示ホールD(横浜市西区みなとみらい)

参加費 無料

ワークショップダイジェスト代:一般:5,000円,学生:2,000円

事前登録不要.来場時に会場受付にて御登録下さい。

プログラムの詳細は<http://www.apmc-mwe.org/>で御確認下さい。

11月27日(水)[午前]

- (1) 開会式
- (2) 基調講演「電波政策の最新動向について」
竹内芳明(総務省)
- (3) 特別講演「ソフトウェア無線機の構築に向けて」
荒木純道(東工大)

[午後]

- (4) 基礎講座「実用的マイクロ波フィルタ設計の基礎と応用」
石崎俊雄(龍谷大)・平塚敏朗(村田製作所)
- 入門講座「材料技術者にやさしいマイクロ波回路の考え方」,「材料特性を考慮した高周波回路基板のスマートな使い方」
ワークショップ:「マイクロ波技術が支える無線電力伝送」,「携帯端末組込用小型アンテナ技術」

11月28日(木)[午前]

- (1) 基礎講座「基礎から学ぶ電磁界シミュレータの仕組み」
平野拓一(東工大)・田口光雄(長崎大)
- ワークショップ「マイクロ波医療応用の動向」,「近距離無線スマートセンサネットワーク」

[午後]

- (2) 基礎講座「マイクロ波増幅器設計の基礎」
高木 直(東北大)
- ワークショップ「変換電磁気学・メタマテリアル」,「移動体高速無線通信技術」,「電磁界シミュレーションの高速化技術の最前線」,「規範問題による電磁界シミュレータの精度の検証」

[ワークショップ終了後]

- (3) IEEE MTT-S Japan Young Engineer Award 授与式

11月29日(金)[午前]

- (1) 基礎講座「Sパラメータで理解するマイクロ波回路」
太田 勲(兵庫県立大)
- ワークショップ「ミリ波・テラヘルツハードウェアの最新動向」,「通信システムを支えるデジタルアシスト,キャリブレーション技術」

[午後]

- (2) 特別セッション<特別講演>「自動車電話・携帯電話の黎明期から成長発展期に至る無線方式・技術の研究開発」
奥村善久(金沢工大名誉教授),ほか4名
- ワークショップ「古典的フィルタ理論を超えた新しいマイクロ波フィルタの創造と設計」,「可変性・適応性を有するスマートなマイクロ波増幅器」,「デジタルアシストが支える新しいRF計測—「ものづくり」へのインパクト—」,「高精度Sパラメータ測定のための治具とプローブの最新校正・補正手法」

[マイクロウェーブ展2013]

日時 平成25年11月27日(水)~29日(金)
10:00~17:30(最終日のみ17:00終了)

会場 パシフィコ横浜 展示ホールD(横浜市西区みなとみらい)

参加費 無料/事前登録不要.来場時に会場受付にて御登録下さい。

各種高周波・マイクロ波関連製品（材料・基板、半導体素子・部品、通信装置・コンポーネント、測定装置・加工装置、ソフトウェア・シミュレータ、エンジニアリング・製造受託等）の展示、マイクロ波電磁界シミュレータの変遷の特別企画展示、マイクロ波の歴史展示、大学・高等専門学校における研究活動や産学連携への取組みなどを紹介する大学展示も併設。出展社による出展企業セミナーと特別企画セミナーも展示会場内にて同時開催。

問合せ先 MWE 2013 事務局（リアルコミュニケーションズ内）
TEL [047] 309-3616, FAX [047] 309-3617
mweapmc@io.ocn.ne.jp
http://www.apmc-mwe.org/

主催 電子情報通信学会 APMC 国内委員会
後援 総務省
協賛 電子情報通信学会；マイクロ波研究専門委員会／エレクトロニクスシミュレーション研究専門委員会、IEEE MTT-S Japan/Kansai/Nagoya Chapter、日本電磁波エネルギー応用学会、エレクトロニクス実装学会、電気学会「革新的電磁波利用技術とその応用展開」調査専門委員会

●HCG シンポジウム 2013—一人々の生活を幸せで豊かにしていく ICT とコミュニケーション

電子情報通信学会ヒューマンコミュニケーショングループ（HCG）では、HCG シンポジウム 2013 を松山にて開催致します。本シンポジウムでは、口頭発表に加えて深く議論するためのデモやポスターによるインタラクティブ発表もごさい。多くの方に御発表、御議論頂くことで、「人を中心に据えた」情報通信技術の新たな研究のシーズを生み出す場、これからの時代の流れを新たに作り出すパワーを生み出す場となること本シンポジウムの目標です。皆様、奮って御参加下さい。

本シンポジウムでは二つの招待講演と食メディア研究会（CEA 研究会）による研究会企画セッションを予定しており、活発な議論が行われると期待しております。

また、本シンポジウムでは「コミック工学」、「ユーザセンタードデザインとデザイン思考」「空気メディアの現状と展望」の三つのオーガナイズドセッションを企画しており、約 30 件の発表が行われます。

HCG は、フィールドやアプローチを異にする多彩なコミュニティとの連携により新しいことを生み出す場となることを目標としております。幅広い分野からの多数の参加をお待ちしております。

HCG 運営委員長 黒岩真吾

実行委員長 中村裕一

副実行委員長 大塚真吾、今井順一、井原雅行

プログラム委員長 岩井将行、今井順一

プログラム副委員長 新井田 統

日時 12月18日（水）9:20~18:15（受付:9:00）

19日（木）9:10~18:15

（19:00~21:00 懇親会・HC 賞表彰式）

20日（金）9:10~12:30

会場 松山市総合コミュニティセンター（松山市湊町 7-5）

Web <http://2013.hcg-symposium.org/>

■参加費（予定）（CD-ROM 論文集代込み）（※事前申込締切（予定）：11/30（土））

一般：[事前申込] 6,000 円、[当日] 7,000 円

学生：[事前申込] 3,000 円、[当日] 4,000 円

■懇親会 12月19日（木）19:00~

懇親会費（予定）（※事前申込締切（予定）：11/30（土））

一般：[事前申込] 4,000 円、[当日] 5,000 円

学生：[事前申込] 1,000 円、[当日] 5,000 円

ヒューマンコミュニケーション賞の授賞式も行います。

■情報保障の御案内

情報保障につきましては準備の都合がございますので事前にお申込み下さい。PC 要約筆記及び手話通訳については 11 月 18 日（月）までに聴講を希望される発表を具体的にお知らせ下さい。インタラクティブ発表、招待講演、懇親会などの全体行事につきましても、可能な限り対応させていただきますので、参加の御予定を事前にお知らせ下さい。特に点字資料（全体プログラム）を御希望の方はお早めにお知らせ下さい。なお、論文集は PDF（電子データ）で配付します。そのほか、車椅子での御参加など、お手伝いが必要な方は、事前に御連絡下さい。

情報保障に関するお問合せ hcg2013-contact@kanagawa-it.sakura.ne.jp 情報保障担当：若月大輔（筑波技術大）

■招待講演、研究会企画セッション案内

・招待講演 1：12月19日（木）12:25~

「おいしさの構造と客観的評価」 伏木 亨（京大）

・招待講演 2：12月19日（木）15:05~

「大規模 Web データと実世界データの融合（仮）」
豊田正史（東大）

・研究会企画セッション：12月19日（木）13:50~

CEA 研究会（食メディア第二種研究会）

■プログラム

※オーガナイズドセッション内の発表時間については予定時間となります。（最新の情報は HP <http://2013.hcg-symposium.org/> を御確認下さい）

●12月18日（水）

オープニング（9:20~9:35）

A-1 近未来 UI（9:35~10:55）

(A-1-1) 頭部への刺激を用いた情報提示デバイスの開発

○兼古哲也・棟方 渚・小野哲雄（北大）

(A-1-2) SF 映画シーンを活用した近未来 UI デザインのためのライブラリ開発の試み

○飯塚重善（神奈川大）

飯尾 淳（中大）・松原幸行（キノ）

(A-1-3) スマートフォンにおけるタッチジェスチャーを用いたバイオメトリクス認証手法

○山田健一朗・

納富一宏（神奈川工科大）・斎藤恵一（国際医療福祉大）

(A-1-4) 人間の視覚・運動特性を考慮した指差し支援インタフェース

○保澤圭亮・吉本廣雅・近藤一晃・小泉敬寛・

中村裕一（京大）

B-1 文章解析技術（9:35~10:35）

(B-1-1) 就職面接における不適切回答の検出手法

○沖村秀哉・目良和也・黒澤義明・竹澤寿幸（広島市大）

(B-1-2) Twitter におけるコミュニティ認知と記事投稿の関係

○大沼美由紀・木村 敦・武川直樹（東京電機大）

(B-1-3) 歌詞検索のための意味情報を用いたクエリの拡張

○篠山 学（香川高専）・松本和幸（徳島大）

12月18日（水）C-1 色彩と画像処理（9:35~10:55）

(C-1-1) クラスタリングを用いた色検出閾値決定とその評価

○菅谷隆浩・板垣泰弘・西村広光・田中 博 (神奈川工科大)
(C-1-2) おいしそうなたまごの色彩特徴 ○折元 亮・丸山高徳・志堂寺和則 (九大)
(C-1-3) 個人視点映像を一覧するための広視野貼り合せ画像群の自動生成—貼り合せの良さに基づいた画像の選択とグループ化— ○松井研太・近藤一晃・小泉敬寛・中村裕一 (京大)
(C-1-4) モーションキャプチャで計測された形状の動的変化を再現する3次元顔の表情生成 ○永田俊介・荒井雄大・稲葉善典・赤松 茂 (法政大)
A-2 空気メディアの現状と展望1 (オーガナイズドセッション) (11:10~11:50)
(A-2-1) 空気メディア: 見えずとも感じられるメディア技術 柳田康幸 (名城大)
(A-2-2) 風インタフェース: 空気で“さわる”を表現する 小林 稔 (NTT)
B-2 ユーザセンタードデザインとデザイン思考1 (オーガナイズドセッション) (11:10~12:10)
(B-2-1) 参与観察による長期デザインプロジェクトの要点の分析 ○草野孔希・朝井大介・中谷桃子 (NTT)・白坂成功・石橋金徳 (慶大)
(B-2-2) 体験情報を外在化するための協創環境のデザイン—高齢者の土産話を対象として— ○月川香奈子・白水菜々重・松下光範 (関西大)
(B-2-3) 参加型デザインに基づく業務プロセスデザイン—大規模ネットワーク保守業務を題材として— ○大野健彦・草野孔希・中谷桃子 (NTT)
C-2 脳と眼球 (11:10~12:10)
(C-2-1) 瞳孔径計測に基づいた視覚的注意位置の推定及び視線移動位置の予測 ○金子寛彦・藤井孝芳 (東工大)・阪本清美・坂下誠司 (パソナ)
(C-2-2) 脳波による深部脳活動度評価と快適性制御 片桐祥雅 (NICT)
(C-2-3) 発話制御における深部脳活動—脳波による評価 ○今井絵美子 (神戸大)・片桐祥雅 (NICT)・川又敏男 (神戸大)
18日(水) 午後 A-3 空気メディアの現状と展望2 (オーガナイズドセッション) (13:10~15:50)
(A-3-1) 圧縮空気の顔面触覚ディスプレイとしての可能性 ○上岡玲子・山本修平・山口真美 (九大)
(A-3-2) 空気砲を活用したインタラクティブお参りシステム ○山本修平・上岡玲子 (九大)
(A-3-3) 頭部に対する均一な風提示による風向知覚特性の測定 ○中野拓哉・吉岡有哉・柳田康幸 (名城大)
(A-3-4) 五感シアターにおける空気メディア ○広田光一 (東大)・兩宮智浩 (NTT)・池井 寧 (首都大東京)
(A-3-5) 香りと空気が放出される映像提示システムの提案 伴野 明 (東海大)
(A-3-6) パーソナル空間における香りの時空間制御 ○キム ドンウク・西野由利恵・安藤広志 (NICT)
(A-3-7) 嗅覚ディスプレイを用いたインタラクティブ・アート ○伊関方晶・中本高道 (東工大)
(A-3-8) VRのための香りの提案 春原吉美 (P&G)
B-3 ユーザセンタードデザインとデザイン思考2 (オーガナイズドセッション) (13:10~16:00)
(B-3-1) ユーザインタビューに基づく遠隔絵本読み聞かせサー

ビスの検討 中茂睦裕 (NTT)
(B-3-2) 顧客の行動観察に基づくauショップの店舗改善事例 ○矢崎智基・藤田顕吾・高木佳彦・新井田 統 (KDDI研)・齊藤恭也・木村奈津子 (KDDI)
(B-3-3) ユーザ理解に基づくICTサービスのデザイン—ユーザデータをどのようにデザインに活かすのか— ○中谷桃子・大野健彦 (NTT)・安岡美佳 (ITU)
(B-3-4) アイコン画像の色彩を直観的に操作できるアプリ検索インタフェースの可能性 梶山朋子 (青学大)
(B-3-5) イタレーションによるサービスアイデア創造に着目したデザインプロジェクトの実践事例 ○朝井大介・片桐有理佳・大野健彦・浅野陽子 (NTT)
(B-3-6) ユーザ体感品質を考慮したネットワーク設計手法 新井田 統 (KDDI研)
(B-3-7) ワークショップ: アカデミックとビジネスの融合 各発表を題材に、ユーザセンタードデザインやデザイン思考をどのように進めて行けばよいのか、どのような研究が望まれているのかについて、研究機関の立場と企業の立場から、ワークショップ形式で議論をする。
C-3 コミック工学1 (オーガナイズドセッション) (13:10~15:40)
(Session's Opening Remarks) (13:10~13:30)
コミック工学セッションの開催にあたって 松下光範 (関西大)
(C-3-1) 感性を基軸としたコミック工学研究のプラットフォームの提案—コミック読者間の意見分析から— ○山西良典 (立命館大)・杉原健一郎・井上林太郎・松下光範 (関西大)
(C-3-2) マンガのオノマトペ表現に着目したコンテキストウェアアプリケーション構築の一検討 ○角 康之・松村耕平 (公立はこだて未来大)
(C-3-3) マンガ没入型エンタテイメントシステムの可能性 ○小出雄空明・國富彦岐・藤村 航・奈良優斗・白井暁彦 (神奈川工科大)
(C-3-4) リソース間関係のメタデータを利用したマンガコレクションブラウザ ○岩間勇介・三原鉄也・小平優衣・永森光晴・杉本重雄 (筑波大)
(C-3-5) レビュー文に基づくコミック類似度判定手法の検討 ○山下 諒・松下光範 (関西大)
(C-3-6) 文末表現のパターンを用いたコミック質問応答の質問文分類手法 ○水戸拓実・波多野賢治 (同志社大)・松下光範 (関西大)
I-1 インタラクティブ発表概要1 (インタラクティブ発表だけを行う人) (16:10~16:30)
(I-1-1) 対比較ベースの対話型差分進化による香りの最適化と評価方法の検討 ○福本 誠・古賀慎平・河合啓二 (福岡工大)・井上 誠 (秋田高専)・今井順一 (千葉工大)
(I-1-2) 振動触覚ディスプレイによる気配提示システムの研究—ウェアラブルディスプレイのためのシステム構成— ○大地 徹・柳田康幸 (名城大)
(I-1-3) ペンライト型デバイスを用いた聴覚コンテンツの拡張 ○岩間芳宏・柳田康幸 (名城大)
(I-1-4) 果樹園農家の高齢化を考慮したWebサイトと気象データシステムの構築 ○小林愛実・大塚真吾 (神奈川工科大)
(I-1-5) 研究者同士のつながり発見ツールの検討 ○岡崎有彩・大塚真吾 (神奈川工科大)

- (I-1-6) 測域センサデータ処理と可視化 ○佐藤 充・白井暁彦・大塚真吾 (神奈川工科大)
- (I-1-7) シングルボードコンピュータを利用した省電力気象センサシステムの構築 ○笹本芳和・大塚真吾 (神奈川工科大)
- (I-1-8) シングルボードコンピュータを活用した農家支援 ○小林寛高・大塚真吾 (神奈川工科大)
- (I-1-9) 気持ちを伝える手紙形式のガイドマップの提案—静岡県伊東市を事例として— ○中野えみり・小川克彦 (慶大)
- (I-1-10) 犬目線による街の紹介ビデオの提案と評価 ○太田千尋・小川克彦 (慶大)
- (I-1-11) 医療用手話の例文データ収集 ○寺内美奈 (職業大)・渡辺桂子・長嶋祐二 (工学院大)・加藤直人・宮 太郎・井上誠喜・梅田修一・清水俊宏・比留間伸行 (NHK)
- (I-1-12) 単眼視を用いた奥行き情報が視覚的注意に与える影響について—高速逐次視覚呈示 (RSVP) 課題を用いて— ○鶴ヶ野紘大・木原 健 (鹿児島大)・島村 潤・谷口行信 (NTT)・大塚作一 (鹿児島大)
- (I-1-13) 単眼視による奥行き情報が視覚的注意に与える影響について—オブジェクト置き換えマスキング課題を用いて— ○宮路佳奈・木原 健 (鹿児島大)・島村 潤・谷口行信 (NTT)・大塚作一 (鹿児島大)
- (I-1-14) ツイッターを活用したカラオケのつながりサービス「30 seconds KARAOKE」の提案 ○松野奈都美・中川ヨウ・小川克彦 (慶大)
- (I-1-15) タブレット端末を用いた議論状態の管理と合意形成支援ツールの試作 ○高木宏伸・嶋田和孝 (九工大)
- (I-1-16) 演劇台本における登場人物の人間関係抽出 ○秋田恭佑・松本和幸・吉田 稔・北 研二 (徳島大)
- (I-1-17) Emotional Turmail (ET) 要素を内包するソーシャルシティ実現に向けた IT インフラの設計 鈴木淳一 (ISI-Dentsu)・○川原靖弘・吉田 寛 (放送大)・渡邊信彦 (ISI-Dentsu)
- (I-1-18) ユーザの興味探索を行うマルチドメイン雑談型音声対話システム ○凌 曦・酒向慎司・北村 正 (名工大)
- インタラクティブセッション1 (16:30~18:15)**
- 12月19日 (木)**
- A-4 コミック工学2(オーガナイズドセッション) (9:10~9:50)**
- (A-4-1) メタデータを用いたマンガ制作と探索の支援 ○三原鉄也・永森光晴・杉本重雄 (筑波大)
- (A-4-2) マンガのライフサイクルに基づいた制作支援—マンガ制作の上流工程支援ツール— ○萩原 彰・三原鉄也・永森光晴・杉本重雄 (筑波大)
- B-4 キネクティックコンピューティング (9:10~9:50)**
- (B-4-1) 大画面プレゼンテーションにおける直感的なポインティング手法の提案と評価 ○渡辺恵太・中道 上 (福山大)・山田俊哉 (NTT-IT)・尾関孝史 (福山大)
- (B-4-2) 複数台 Kinect を用いたスマート人流計測 ○中東 渉・加藤住祐・鉄谷信二・岩井将行 (東京電機大)
- C-4 学習と支援 (9:10~10:10)**
- (C-4-1) 算数障がい者に対するメタ認知を取り入れた学習法の検討 ○山田康平・高丸公斗・畑山雄二・縄手雅彦 (島根大)
- (C-4-2) 注意切り替えに苦みさを持つアスペルガー症候群児に対する学習支援手法の検討 ○門田直樹・高丸公斗・縄手雅彦 (島根大)
- (C-4-3) 学びの意欲とコミュニケーションの役割—第3種 CML 研究会, FB を通じた高校教員とのつながりの模索— 小粥幹夫 (魅力と意欲の研究会)
- A-5 コミック工学3 (オーガナイズドセッション) (10:25~11:05)**
- (A-5-1) 読者の視線移動軌跡を基準とする初心者向けマンガ内容要素配置支援システムの設計 ○根来美貴 (エムオーテックス)・曾我真人・瀧 寛和 (和歌山大)
- (A-5-2) 絵の時系列的状態遷移を用いた2コマ漫画の自動生成 ○上野未貴・森 直樹・松本啓之亮 (阪府大)
- B-5 加速度センサ応用 (10:25~11:25)**
- (B-5-1) スマートフォン端末を利用したデッドレコニングにおける蓄積誤差補正手法の検討と評価 ○屋良朝克・法月佑太・五百蔵重典・田中 博 (神奈川工科大)
- (B-5-2) 一人称視点カメラと加速度センサを用いた情報探索行動の検出 ○堀内麻由・川本一彦・岡本一志 (千葉大)
- (B-5-3) センサを用いた舞踏の表現技能分析法に関する一検討 ○仁昌寺沙紀・松田浩一 (岩手県立大)・清家久美子・海賀孝明 (わらび座)
- C-5 障がい者支援学習 (10:25~11:25)**
- (C-5-1) Kinect を用いた指文字練習システムにおける識別処理とユーザインタフェースの改良 ○田中陽土 (筑波技大)・高林大輔 (筑波大)・近藤真暉・加藤伸子 (筑波技大)・福井和広 (筑波大)・岡崎彰夫 (筑波技大)
- (C-5-2) 視覚的な音韻意識訓練が読みに及ぼす効果 ○松山祐希・高丸公斗・縄手雅彦 (島根大)
- (C-5-3) 発達障がい児のための自主学習可能な訓練手法の開発 ○井上博幸・縄手雅彦 (島根大)
- 19日 (木) 午後 A-6 招待講演1 (12:25~13:35)**
- 「おいしさの構造と客観的評価」 伏木 亨 (京大)
- A-7 企画セッション (13:50~14:50) 食メディア研究会**
- B-7 センシングと快適性 (13:50~14:50)**
- (B-7-1) 館林市における熱中症に影響を与えるリアルタイム気象データの可視化 ○松本佳明・田島誠也・多田真之・鉄谷信二 (東京電機大)・戸辺義人 (青学大)・岩井将行 (東京電機大)
- (B-7-2) 空調制御のためのバイタルデータを用いた個人の温熱快適性推定 ○洪 榮作・杉本千佳・河野隆二 (横浜国大)
- (B-7-3) リーセンサー効果を用いた適応型屋外広告配信のための興味センシング ○木田裕一郎・奥野淳也・青木俊介・小林博樹 (東大)・岩井将行 (東京電機大)・瀬崎 薫 (東大)
- C-7 リハビリテーション支援 (13:50~14:50)**
- (C-7-1) 認知症ケアにおける写真を用いた会話に基づく個人回想用キーワード抽出の試み ○小林拓美・廣富哲也・有持佑亮・原 祥子 (島根大)
- (C-7-2) 上肢能動運動が時間周波数知覚に与える影響 ○横坂拓巳・黒木 忍・渡邊淳司・西田真也 (NTT)
- (C-7-3) 坂道歩行リハビリテーションシステムにおける傾斜提示に関する研究 ○矢野博明 (筑波大)・田中直樹・斉藤秀之 (筑波記念病院)・岩田洋夫 (筑波大)
- A-8 招待講演2 (15:05~16:15)**
- 「大規模 Web データと実世界データの融合 (仮)」 豊田正史 (東大)
- I-2 インタラクティブ発表概要2 (インタラクティブ発表だけを行う人) (16:15~16:30)**
- (I-2-1) キャラクターの顔を用いたイラスト画像の作者識別

- 藤澤日明・松本和幸・吉田 稔・北 研二 (徳島大)
 (I-2-2) オンライン配布資料へのノート機能自動付与ウェブシステムの開発 ○星野裕樹・谷村 祐・西村広光・示野浩士・納富一宏 (神奈川工大)・斎藤恵一 (国際医療福祉大)
 (I-2-3) 顔画像から抽出される Gabor 特徴を用いた年齢推定—加齢変化との相関の高い特徴成分選択による重回帰分析への影響— ○浅水宏文・菅田幸希・稲葉善典・赤松 茂 (法政大)
 (I-2-4) 手指画像におけるカラーヒストグラム間のバタチャリヤ距離による生体認証手法—認証システムのパラメータ調整— ○谷村 祐・納富一宏 (神奈川工大)・斎藤恵一 (国際医療福祉大)
 (I-2-5) Gabor 特徴を用いた顔画像からの年齢層自動識別 ○菅田幸希・浅水宏文・手倉森 凌・稲葉善典・赤松 茂 (法政大)
 (I-2-6) 一対提示された顔画像の印象比較時の注視点分布の分析 ○丸山阿弓・中嶋文香・稲葉善典 (法政大)・伊師華江 (仙台高専)・行場次朗 (東北大)・赤松 茂 (法政大)
 (I-2-7) 3次元モーフィングモデルに基づく顔表情の生成—類似した表情間の印象差強調の試み— ○荒井雄大・永田俊介・稲葉善典・赤松 茂 (法政大)
 (I-2-8) 探索目標の視覚特徴分布を考慮した誘目度推定モデル ○大平隼也・平山高嗣・榎堀 優・間瀬健二 (名大)
 (I-2-9) スマートフォン・タブレット端末を用いた失語症者訓練・支援機器の開発 ○黒岩眞吾・有馬志保・堀内靖雄 (千葉大)・鈴木弘二 (エスコール)
 (I-2-10) 正面と左右方向における心理物理的ホロプターの形状推定 ○吉海亮介・金子寛彦 (東工大)
 (I-2-11) 和太鼓リズムのズレ修正のためのリアルタイム提示による一考察 ○工藤喬也・松田浩一 (岩手県立大)・中里利則 (海鳴太鼓)
 (I-2-12) 無意識下における和音の種類の違いの認知についての研究 ○川原靖弘 (放送大)・片桐祥雅 (NICT)
 (I-2-13) 統計モデルを用いた Bluetooth4.0 通信間の距離推定手法に関する検討 ○薄井智貴・森川高行 (名大)
 (I-2-14) 周産期における母子相互作用に関する研究 ○矢野美紀 (県立広島大)・片桐祥雅 (NICT)・川原靖弘 (放送大)

インタラクティブセッション 2 (16:30~18:15)

懇親会・HC 賞表彰式 (19:00~21:00)

12月20日(金) A-9 知覚と力覚 (9:10~10:30)

- (A-9-1) 分散仮想環境における力覚による意思伝達の正確さの QoE 評価 ○黄 平国 (東京理科大)・曾 キ・石橋 豊・福嶋慶繁 (名工大)
 (A-9-2) 感触装置を使ったソフトウェアエンジニアリングの方法—オブジェクトの音と色によるソフトウェアの再構成— ○奥村震太 (岡山理大)・岩根典之 (広島市大)・吉田 誠 (岡山理大)
 (A-9-3) 継時的に提示される振動刺激の個数把握に関する基礎検討 ○飯田直己 (東工大)・渡邊淳司 (NTT/東工大)
 (A-9-4) 微粒子の薄層に対する粗さの触知覚 ○坪井広樹 (東工大)・井上 誠 (筑波大)・黒木 忍 (NTT)・望山 洋 (筑波大)・渡邊淳司 (NTT/東工大)

B-9 協調とコミュニケーション (9:10~10:30)

- (B-9-1) 非言語手がかりを用いた対人関係解読能力—社会的ス

- キル・トレーニングにおける DESIREJ— ○磯 友輝子・大坊郁夫 (東京未来大)・横山ひとみ (東北大)・谷口淳一 (帝塚山大)
 (B-9-2) 沈黙中に表出される音声・動作フィラーが表すメッセージ ○佐々木寛紀・武川直樹・木村 敦 (東京電機大)
 (B-9-3) 多人数会話における案内エージェントの介入タイミング推定手法の提案と評価 ○乙木翔地・堀田 怜・黄 宏軒・川越恭二 (立命館大)
 (B-9-4) 食事映像の同調による非同期共食コミュニケーション 井上智雄 (筑波大)

C-9 ユニバーサルデザイン (9:10~10:30)

- (C-9-1) 失語症者向けニュース字幕自動要約システムに関する予備調査 ○柳村舞衣・黒岩眞吾・堀内靖雄 (千葉大)・遠藤俊樹・宇都宮栄二 (KDDI 研)
 (C-9-2) 視覚障がいをもつ親に向けた絵本読み聞かせ支援アプリケーション開発の試み ○浅井 愛・谷 賢太郎 (新潟大)・伊藤 尚 (富山高専)・前田義信 (新潟大)
 (C-9-3) パーキンソン病患者と健常者のタッチパネルを使用したポインティング動作の違い ○岩崎 優・廣富哲也・小黒浩明 (島根大)
 (C-9-4) STalk2 の使用履歴を用いたコミュニケーション障がい児の言語活動の可視化 ○田河洋史・廣富哲也 (島根大)

A-10 集団行動分析 (10:45~11:45)

- (A-10-1) 集団の行動把握・予測のための環境設置型計測システムの構築—複数の指向性マイクを用いた話者位置推定の検討— ○村田裕章・中山雅野・藤田桂英・清水郁子・堀田政二・藤波香織・近藤敏之・中條拓伯・齋藤隆文・藤田欣也 (東京農工大)
 (A-10-2) 相互依存確率モデルを用いた麻雀の行動戦略に関する研究 ○高橋翔悟・六井 淳 (島根大)
 (A-10-3) 映像対話型行動支援における齟齬の解析と支援者の支援 ○小泉敬寛・小幡佳奈子 (京大)・渡辺靖彦 (龍谷大)・近藤一見・中村裕一 (京大)

C-10 手話の発展技術 (10:45~12:05)

- (C-10-1) 気象ニュースを対象とした手話 CG 翻訳システム ○加藤直人・宮 太郎・井上誠喜・梅田修一・清水俊宏・比留間伸行 (NHK)・長嶋祐二 (工学院大)
 (C-10-2) 手話単語のカテゴリ分類を考慮した階層的形態素記述法 ○渡辺桂子 (工学院大)・寺内美奈 (職業大)・渡辺久子 (World Medish)・長嶋祐二 (工学院大)・加藤直人・宮 太郎・井上誠喜・梅田修一・清水俊宏・比留間伸行 (NHK)
 (C-10-3) 断続的な停止を伴う手話映像の可読性の評価 ○若月大輔・加藤伸子・村上裕史・皆川洋喜・西岡知之・河野純大・内藤一郎・三好茂樹・石原保志 (筑波技大)
 (C-10-4) 手話例文アニメーション高品質化に関する検討 ○井上誠喜・加藤直人・宮崎太郎・梅田修一・東 真希子・清水俊宏・比留間伸行 (NHK)・長嶋祐二 (工学院大)

午後 表彰・クロージング (12:05~12:20)

【問合先】 contact@hcg-symposium.org

主 催 ヒューマンコミュニケーショングループ

●2014年暗号と情報セキュリティシンポジウム (SCIS2014)
(2014 Symposium on Cryptography and Information Security)

期 日 平成26年1月21日(火)～24日(金)

会 場 城山観光ホテル(鹿児島市)

主 旨 本シンポジウムは1984年以来毎年開催され、暗号と情報セキュリティ技術に関する最新の研究成果を発表する場と情報交換の場を提供しています。2014年の開催にあたり、一般講演論文を募集します。募集テーマ例を下記に示しますが、これに限らずセキュリティ技術に関わる論文を広く募集します(査読による絞り込みはありません)。論文は概要集(紙)及び予稿集(CD-ROM)として配布する予定です(論文の本文は紙媒体では発行せず、CD-ROM媒体のみでの発行となります)。

募集テーマ例 暗号理論、情報理論的安全性、数論応用、公開鍵暗号、IDベース暗号、だ円・超だ円曲線暗号、ペアリング、共通鍵暗号、ハッシュ関数、乱数、署名、認証、鍵管理、量子セキュリティ、サイドチャネル攻撃、暗号プロトコル、フォーマルメソッド、ネットワークセキュリティ、ネットワーク攻撃検知・対策、マルウェア対策、Webセキュリティ、ユビキタスセキュリティ、クラウドセキュリティ、セキュアOS、電子透かし、コンテンツ保護、ソフトウェア保護、プライバシー保護、バイオメトリクス、実装、教育・心理学、セキュリティ評価・モデル論文賞等 情報セキュリティ(ISEC)研究専門委員会では暗号と情報セキュリティシンポジウムの更なる発展と活性化を目指して、若手の奨励を目的としたSCIS論文賞、並びに、全講演論文を対象としたイノベーション論文賞を設定しています。暗号と情報セキュリティ分野のイノベティブな研究・開発に関する積極的な御発表をお願い致します。

主なスケジュール

平成25年11月1日 発表申込み・参加申込み受付開始

11月29日 23:59 発表申込み締切

12月6日 23:59 発表題目・要旨修正締切

12月16日 23:59 原稿提出締切

平成26年1月7日 23:59 参加申込み締切

1月21日～24日 SCIS2014開催

申 込 以下の申込みを11月1日から本シンポジウムWebページにおいて受け付ける予定です。

詳細は<http://www.iwsec.org/scis/2014/index.html>を御参照下さい。

- ・参加申込(シンポジウムへの参加、懇親会への参加)
- ・発表申込(1件につき8ページの予稿集(CD-ROM版)及び概要集を発行予定)
- ・宿泊につきましては会場である城山観光ホテルなどを特別宿泊料で御案内致します。

参加費(懇親会費を除く) 一般30,000円 学生19,000円

懇親会参加費 一般8,000円 学生6,000円

諸注意 参加・発表申込み及び原稿の締切を厳守して下さい。
(原稿に関する著作権は電子情報通信学会に属します)

問合せ 不明な点は下記にお問合せ下さい。

scis2014@ml.yrl.intra.hitachi.co.jp

SCIS2014実行委員長 福澤寧子(日立)

主 催 電子情報通信学会情報セキュリティ研究専門委員会(ISEC研)

協 催 電子情報通信学会:情報通信システムセキュリティ研究

専門委員会(ICSS研)/バイオメトリクス時限研究専門委員会(BioX研)

協 賛 鹿児島観光コンベンション協会

——本 会 が 協 賛 等 の も の ——

(※は参加費割引あり)

第11回技術者のための技術者倫理セミナー—事故・不祥事の背景から学ぶリスクマネジメント:設計会社と運営管理会社の責任—

期 日 平成25年11月9日(土)

会 場 明治大学駿河台キャンパス(東京都千代田区)

問合せ 日本機械学会技術と社会部門 担当 曾根原

FAX [03] 5360-3508

sonehara@jsme.or.jp

第192回研究会「磁性薄膜形成技術の向上と新展開」(※)

期 日 平成25年11月19日(火)

会 場 中央大学駿河台記念館(東京都千代田区)

問合せ 日本磁気学会事務局

TEL [03] 5281-0106

<http://www.magnetics.jp/seminar/topical/192.html>

日本学術会議電気電子工学委員会デバイス・電子機器工学分科会シンポジウム「持続可能で安心安全な社会の実現に向けた電気電子工学の人材とグローバル化」

期 日 平成25年11月20日(水)

会 場 日本学術会議講堂(東京都港区)

問合せ 福井孝志(北海道大学大学院情報科学研究科)

TEL [011] 706-6870, FAX [011] 716-6004

fukui@rciqe.hokudai.ac.jp

Electronic Design and Solution Fair 2013

期 日 平成25年11月20日(水)～22日(金)

会 場 パシフィコ横浜(横浜市)

問合せ 日本エレクトロニクスショー協会 担当 金子

TEL [03] 6212-5233, FAX [03] 6212-5226

kaneko@jesa.or.jp

講習会「とことんわかる自動車のモデリングと制御2013」(※)

期 日 平成25年11月25日(月)

会 場 日本機械学会(東京都新宿区)

問合せ 日本機械学会交通・物流部門 担当 大黒

TEL [03] 5360-3501, FAX [03] 5360-3508

daikoku@jsme.or.jp <http://www.jsme.or.jp/kousyu2.htm>

「研磨加工技術 基礎を知る」コース—加工原理から砥粒の使い方、洗浄まで、基本をつかむ—

期 日 平成25年11月25日(月)～27日(水)

会 場 かながわサイエンスパーク(川崎市)

問合せ 神奈川科学技術アカデミー教育研修グループ 高木

TEL [044] 819-2033, FAX [044] 819-2097

takagi@newkast.or.jp

「めっき技術の最先端と新展開」コース—高精度、多機能の表面を創成するものづくり技術の可能性—

期 日 平成 25 年 11 月 26 日 (火), 27 日 (水)
会 場 かながわサイエンスパーク (川崎市)
問合先 神奈川科学技術アカデミー教育研修グループ 高木
TEL [044] 819-2033, FAX [044] 819-2097
takagi@newkast.or.jp

短期集中セミナー「～IT スペシャリストが語るクラウドシステム／アプリ開発の面白さ～」

期 日 平成 25 年 11 月 29 日 (金)
会 場 日本ソリューションズ (東京都港区)
問合先 情報処理学会事業部門
TEL [03] 3518-8373, FAX [03] 3518-8375
jigyo@ipsj.or.jp

第 32 回エレクトロセラミックスセミナー (※)

期 日 平成 25 年 11 月 29 日 (金)
会 場 東京大学先端科学技術研究センター (東京都目黒区)
問合先 日本セラミックス協会同セミナー事務局 今中
TEL [046] 250-8389, FAX [046] 250-8281
e-seminar@cersj.org <http://www.ceramic.or.jp/bdenshi/>

平成 25 年度理研シンポジウム「有機エレクトロニクス製造のための新しい成膜技術」

期 日 平成 25 年 12 月 3 日 (火)
会 場 理化学研究所大河内記念ホール (和光市)
問合先 理化学研究所有機光電子工学研究チーム
TEL [048] 467-5499
organic-opt-office@riken.jp

第 21 回インタラクティブシステムとソフトウェアに関するワークショップ (WISS 2013)

期 日 平成 25 年 12 月 4 日 (水)～6 日 (金)
会 場 ザクラウンパレス新阪急高知 (高知市)
問合先 WISS2013 プログラム委員 中野倫靖 (産業技術総合研究所情報技術研究部門)
TEL [029] 861-5925, FAX [029] 861-3313
t.nakano@aist.go.jp <http://www.wiss.org/WISS2013/>

第 30 回トロンプロジェクトシンポジウム「TRONSHOW2014」
「次世代リアルタイムシステム」
「ユビキタス・コンピューティング」

期 日 平成 25 年 12 月 11 日 (水)～14 日 (土)
会 場 東京ミッドタウン (東京都港区)
問合先 T-Engine フォーラム事務局 担当 山田 (YRP ユビキタス・ネットワークング研究所内)
TEL [03] 5437-0572 office@t-engine.org

第 193 回研究会「スピнкаロリトロニクス—磁気と熱の織り成す協調現象—」(※)

期 日 平成 25 年 12 月 17 日 (火)
会 場 中央大学駿河台記念館 (東京都千代田区)
問合先 日本磁気学会事務局
TEL [03] 5281-0106
<http://www.wdc-jp.com/msj/seminar/topical/193.html>

第 14 回 SICE システムインテグレーション部門講演会

期 日 平成 25 年 12 月 18 日 (水)～20 日 (金)
会 場 神戸国際会議場 (神戸市)
問合先 計測自動制御学会事務局部門協議会担当
TEL [03] 3814-4121 bumon@sice.or.jp

平成 25 年度高専女子フォーラム in 関東信越

期 日 平成 25 年 12 月 23 日 (月)
会 場 学術総合センター (東京都千代田区)
問合先 東京工業高等専門学校 担当 学生課 能登
TEL [042] 668-5372, FAX [042] 668-5092
kjiyoshi@tokyo-ct.ac.jp
<http://rikeigokoro.jp/jyoshi-forum/program.html>

ソフトウェアジャパン 2014「アイドル総選挙からセキュリティまで～ビッグデータの今」(※)

期 日 平成 26 年 2 月 4 日 (火)
会 場 タワーホール船堀 (東京都江戸川区)
問合先 情報処理学会事業部門
TEL [03] 3518-8373, FAX [03] 3518-8375
jigyo@ipsj.or.jp <http://www.ipsj.or.jp/event/sj/sj2014/>

「デジタルカラー画像の解析・評価」技術講座 (※)

期 日 平成 26 年 2 月 6 日 (木), 7 日 (金)
会 場 機械振興会館別館 (東京都港区)
問合先 日本オプトメカトロニクス協会
TEL [03] 3435-9321, FAX [03] 3435-9567
info@joem.or.jp <http://www.joem.or.jp>

平成 25 年度サイエンス・インカレ

期 日 平成 26 年 3 月 1 日 (土), 2 日 (日)
会 場 幕張メッセ国際会議場 (千葉市)
問合先 科学技術・学術政策局人材政策課 助川, 三瓶, 小野
TEL [03] 6734-4191, FAX [03] 6734-4022
<http://www.science-i.jp/>

2nd IPSJ International AI Programming Contest SamurAI Coding 2013

期 日 2013年12月8日(日)
 会 場 東京大学本郷キャンパス(東京都文京区)
 問合先 情報処理学会事業部門
 TEL [03] 3518-8373, FAX [03] 3518-8375
 jigyo@ipsj.or.jp

IEEE International Conference on IC Design and Technology 2014

期 日 2014年5月28日(水)~30日(金)
 会 場 Austin Lone Star Campus at AMD (USA)
 問合先 江利口浩二(京都大学大学院工学研究科)
 TEL & FAX [075] 383-3787
 eriguchi@kuaero.kyoto-u.ac.jp
 http://www.icidct.org/index.php

第12回「運動と振動の制御」国際会議(MoViC2014)

期 日 2014年8月4日(月)~6日(水)
 会 場 札幌コンベンションセンター(札幌市)
 問合先 日本機械学会 担当 大竹
 TEL [03] 5360-3505 otake@jsme.or.jp
 http://www.jsme.or.jp/conference/MOVIC2014/

国際材料研究学会連合—アジア国際会議2014(IUMRS-ICA2014)

期 日 2014年8月24日(日)~30日(土)
 会 場 福岡大学七隈キャンパス(福岡市)
 問合先 日本MRS 同会議事務局 担当 室井・大竹
 TEL [045] 263-8538, FAX [045] 263-8539
 iumrs-ica2014@mrs-j.org
 http://www.iumrs-ica2014.org/

複製される方へ

一般社団法人電子情報通信学会は、本誌掲載著作物の複製に関する権利を一般社団法人学術著作権協会に委託しております。本誌に掲載された著作物の複製を御希望の方は、(社)学術著作権協会より許諾を受けて下さい。ただし、企業等法人による社内利用目的の複製については、当該企業等法人が公益社団法人日本複製権センター((社)学術著作権協会が社内利用目的複製に関する権利を再委託している団体)と包括複製許諾契約を締結している場合にあつては、その必要はございません。(社外頒布目的の複製については、許諾が必要です。)

<権利委託先> 一般社団法人学術著作権協会
 〒107-0052 東京都港区赤坂9-6-41 乃木坂ビル3F FAX [03] 3475-5619 E-mail: info@jaacc.jp

複製以外の許諾(著作物の引用、転載、翻訳等)に関しては、(社)学術著作権協会に委託致しておりません。直接、下記へお問い合わせ下さい。

<問合せ先> 一般社団法人電子情報通信学会
 〒105-0011 東京都港区芝公園3-5-8 機械振興会館内 TEL [03] 3433-6691 FAX [03] 3433-6659

Reprographic Reproduction outside Japan

Making a copy of this publication
 Please obtain permission from the following Japan Reproduction Rights Center (JRRC) to which the copyright holder has consigned the management of the copyright regarding reprographic reproduction.
 Obtaining permission to quote, reproduce; translate, etc.
 Please contact the copyright holder directly.

→Users in countries and regions where there is a local RRO under bilateral contract with Japan Academic Association for Copyright Clearance (JAACC)
 Users in countries and regions of which RROs are listed on the following website are requested to contact the respective RROs directly to obtain permission.

Japan Academic Association for Copyright Clearance (JAACC)
 Address 9-6-41 Akasaka, Minato-ku, Tokyo 107-0052 Japan
 Website http://www.jaacc.jp/ E-mail: info@jaacc.jp Fax: +81-33475-5619

——論文賞候補論文推薦について——

***** Nomination guidelines for the 2013 Best Paper Award of IEICE *****

平成 25 年度論文賞候補論文の推薦を求めます。論文賞候補論文の選定は各ソサイエティごとに行います。下記選定条件及び関係規程を御参照の上、御推薦されることを希望致します。

論文賞候補の推薦にあたっては、推薦する論文の掲載年月に特に御注意下さい。

第 4 章 論文賞

論文賞選定条件及び規程

1. 選定範囲及び推薦数
平成 24 年 10 月から平成 25 年 9 月までの間に、本会論文誌に発表された論文のうちから 1 編。ただし、推薦する論文は、所属ソサイエティに対応する論文誌から選定すること。
2. 推薦用紙
所属ソサイエティの推薦用紙を切り取り、所定の事項をもれなく記入して本会総務課宛て郵送のこと。
3. 推薦資格及び推薦件数
本会ソサイエティ正員 1 名につき 1 編
4. 推薦締切期日
平成 25 年 12 月 1 日（日）
5. 選奨規程 右記参照

- 第 11 条 論文賞は、本会規則第 48 条による表彰で本会論文誌に発表された論文のうち、特に優秀なものを選び、その著者に贈呈する。
- 第 12 条 表彰する論文は、各ソサイエティに対応する論文誌に掲載された論文からソサイエティごとに毎年各 3 編、計 12 編とする。なお、編数は事情により変更することができる。
- 第 13 条 選定の対象となる論文は、表彰の時期の前々年の 10 月から前年の 9 月までの間に発表されたものであることを要する。
- 第 14 条 表彰する論文が共著の場合は、著者全員を表彰する。
- 第 15 条 論文賞は、同一著者に重ねて授賞しても差し支えない。

1. A member can nominate one best paper in IEICE Transactions of the society, which the member belongs to.
2. The paper must be published from October 2012 to September 2013.
3. The nomination deadline is December 1, 2013.

(以降の推薦用紙を御利用の上、御推薦下さい)

切 取 線

A

基礎・境界ソサイエティ 平成 25 年度論文賞候補論文推薦用紙
Engineering Sciences Society Nomination of the 2013 Best Paper Award of IEICE

論 文 名 Title			
著 者 名 Author(s)			
掲 載 年 月 号 (論文誌○で囲む) Published date	平成	年	月号
	(A	・	EA)
推 薦 理 由 Reason for nomination	<hr/> <hr/> <hr/>		
推 薦 者 Nominator	氏 名 Name	(会員番号： Membership Number)	
	勤務先・所属名		
基礎・境界 ソサイエティ正員	所在地 〒	☎	- -

※推薦理由を記載して下さい。推薦可能件数は、基礎・境界ソサイエティ正員 1 名につき 1 編です。
論文賞候補の推薦は本用紙に限ります (コピーしたものは受け付けません)。

提出先 〒 105-0011 港区芝公園 3-5-8 機械振興会館 一般社団法人電子情報通信学会総務部
Mail to : The Institute of Electronics, Information and Communication Engineers
Kikai-Shinko-Kaikan Bldg., 3-5-8, Shibakoen, Minato-ku, Tokyo, 105-0011 JAPAN

C

エレクトロニクスソサイエティ 平成 25 年度論文賞候補論文推薦用紙
 Electronics Society Nomination of the 2013 Best Paper Award of IEICE

論 文 名 Title	
著 者 名 Author(s)	
掲 載 年 月 号 (論文誌○で囲む) Published date	平成 年 月号 (C ・ EC)
推 薦 理 由 Reason for nomination	
推 薦 者 Nominator	氏 名 (会員番号:) Name Membership Number
	勤務先・所属名
エレクトロニクス ソサイエティ正員	所在地 〒 ☎ - -

※推薦理由を記載して下さい。推薦可能件数は、エレクトロニクスソサイエティ正員 1 名につき 1 編です。
 論文賞候補の推薦は本用紙に限ります (コピーしたものは受け付けません)。

提出先 〒 105-0011 港区芝公園 3-5-8 機械振興会館 一般社団法人電子情報通信学会総務部
 Mail to : The Institute of Electronics, Information and Communication Engineers
 Kikai-Shinko-Kaikan Bldg., 3-5-8, Shibakoen, Minato-ku, Tokyo, 105-0011 JAPAN

..... 切 取 線

D

情報・システムソサイエティ 平成 25 年度論文賞候補論文推薦用紙
 Information and Systems Society Nomination of the 2013 Best Paper Award of IEICE

論 文 名 Title	
著 者 名 Author(s)	
掲 載 年 月 号 (論文誌○で囲む) Published date	平成 年 月号 (D ・ ED)
推 薦 理 由 Reason for nomination	
推 薦 者 Nominator	氏 名 (会員番号:) Name Membership Number
	勤務先・所属名
情報・システム ソサイエティ正員	所在地 〒 ☎ - -

※推薦理由を記載して下さい。推薦可能件数は、情報・システムソサイエティ正員 1 名につき 1 編です。
 論文賞候補の推薦は本用紙に限ります (コピーしたものは受け付けません)。

提出先 〒 105-0011 港区芝公園 3-5-8 機械振興会館 一般社団法人電子情報通信学会総務部
 Mail to : The Institute of Electronics, Information and Communication Engineers
 Kikai-Shinko-Kaikan Bldg., 3-5-8, Shibakoen, Minato-ku, Tokyo, 105-0011 JAPAN

——平成 25 年度エレクトロニクスソサイエティ招待論文賞 候補論文推薦について——

エレクトロニクスソサイエティ論文賞選定委員会
委員長 廣瀬 明

エレクトロニクスソサイエティでは平成 22 年度より、本部論文賞とは別に、エレクトロニクスソサイエティ招待論文賞（以下招待論文賞と略記）を新設致しております。エレクトロニクスソサイエティ正員の皆様には積極的な推薦をお願い致します。招待論文賞は和文論文誌 C に掲載された招待論文、解説論文、及び英文論文誌 C に掲載された招待論文を対象とし、特に優秀な論文 1 編を選び、その著者に贈呈します。

招待論文賞候補の推薦にあたっては、下記の事項に御注意下さい。

1. 選定範囲及び推薦数
選定範囲は平成 24 年 10 月から平成 25 年 9 月までで、その間に和文論文誌 C に掲載された招待論文、解説論文、及び英文論文誌 C に掲載された招待論文のうちから 1 編を選定し、推薦すること。
2. 推薦用紙
下記の推薦用紙を切り取り、所定の事項をもれなく記入して学会事務局（〒105-0011 港区芝公園 3-5-8 機械振興会館 一般社団法人電子情報通信学会編集出版部論文課）宛て郵送のこと。
3. 推薦資格及び推薦数
エレクトロニクスソサイエティ正員 1 名につき 1 編
4. 推薦締切期日
平成 25 年 12 月 1 日（日）必着
5. 選奨規程
<http://www.ieice.org/es/jpn/secretariat/kitei2.php> 参照

..... 切 取 線

エレクトロニクスソサイエティ招待論文賞 平成 25 年度候補論文推薦用紙

論文種別	招待論文・解説論文（いずれか一つに○印をつける）
論文名	
著者名	
掲載年月号 (論文誌○で囲む)	平成 年 月号 (C ・ EC)
推薦理由	
推薦者	氏名 (会員番号:)
	勤務先・所属名
エレクトロニクスソサイエティ正員	所在地 〒 ☎ - -

- ・推薦理由を記載して下さい。
- ・論文賞候補の推薦は本用紙に限ります（コピーしたものは受け付けません）。

●…………… 求 人 欄 ……………●

求人欄出稿にあたってのお願い

求人欄原稿を受領後、事務局では原稿受領通知をお送りしております。原稿送信後、数日たっても受領の連絡がない場合は、事故防止のため下記までお問合せ願います。

問合先：電子情報通信学会編集出版部

TEL [03] 3433-6692, E-mail: shuppan@ieice.org

——教官・教員募集——

●岡山理科大学

公募人員 工学部情報工学科 助教または講師 1名
 専門分野 情報ネットワーク分野
 応募資格 博士の学位を有し、教育・研究に対して十分な能力と熱意のある方（着任時学位取得見込み可）
 着任時期 平成26年4月1日
 応募期限 平成25年11月15日（金）必着
 問合先 工学部情報工学科長 小畑正貴
 TEL [086] 256-9544, kohata@ice.ous.ac.jp
 詳細 <http://www.ous.ac.jp/boshuu/index.html>

●北海道情報大学

公募人員 情報メディア学部情報メディア学科 教授または准教授若しくは講師 1名
 専門分野 コンピュータネットワーク関連技術分野
 着任時期 平成26年4月1日
 応募締切 平成25年11月20日（水）必着
 問合先 情報メディア学科長 藤井敏史
 toshi@do-johodai.ac.jp
 詳細 <http://www.do-johodai.ac.jp>

●埼玉工業大学

公募人員 専任講師、准教授、または教授2名（各分野1名）
 専門分野 ①電力工学、電気機器、スマートグリッド、パワーエレクトロニクス、電動機応用、電気自動車など
 ②通信方式、無線通信システム、光通信システム、デジタル通信工学、通信機器など
 着任時期 平成26年4月1日
 応募締切 平成25年11月22日（金）必着
 問合先 情報システム学科長 曹 建庭
 cao@sit.ac.jp
 詳細 <http://www.sit.ac.jp/general/recruit.html>

●宇部工業高等専門学校

公募人員 助教1名
 専門分野 情報工学関連分野
 担当科目 情報理論、プログラミング、数値計算法、及び実験実習、卒業研究など
 応募資格 博士の学位または技術士の資格を有する方
 着任時期 平成26年4月1日
 応募締切 平成25年11月29日（金）必着
 問合先 電気工学科長 橋本 基, hasimoto@ube-k.ac.jp
 詳細 <http://www.ube-k.ac.jp/jpn/information/soumuka/recruitment/index.html>

●熊本大学

公募人員 大学院先導機構テニユアトラック教員 助教1名
 専門分野 知覚情報処理分野（生体信号処理、知能ロボティクス、バーチャルリアリティ、情報センシング、ヒューマンインタフェース、eラーニングなど）
 着任時期 平成26年4月1日以降のできるだけ早い時期
 応募締切 平成25年11月29日（金）必着
 問合先 内村圭一, TEL [096] 342-3638（直通）
 uchimura@cs.kumamoto-u.ac.jp
 詳細 <http://www.kumamoto-u.ac.jp/daigakujouhou/saiyou>

●岐阜大学

公募人員 工学部電気電子・情報工学科情報コース 准教授1名
 専門分野 人工知能・ヒューマンインタフェース
 担当科目 情報系基礎科目、プログラミング基礎、人工知能など
 応募資格 博士の学位を有する方、情報系基礎教育を熱意を持って担当して頂ける方
 着任時期 平成26年4月1日以降のできるだけ早い時期
 応募締切 平成25年12月2日（月）必着
 問合先 電気電子・情報工学科情報コース 伊藤 昭
 ai@gifu-u.ac.jp

●富山大学

公募人員 大学院理工学研究部（工学部知能情報工学科担当）教授1名
 専門分野 情報・通信分野（情報工学に関わる応用研究分野）
 担当科目 確率統計論、電気回路工学等
 応募資格 博士の学位を有すること
 着任時期 平成26年4月1日以降のできるだけ早い時期
 応募締切 平成25年12月9日（月）必着
 問合先 知能情報工学科長 田島正登
 TEL [076] 445-6766, tajima@eng.u-toyama.ac.jp
 詳細 <http://www.u-toyama.ac.jp/outline/employ/index.html>

●富山大学

公募人員 大学院理工学研究部（工学部知能情報工学科担当）准教授または講師1名
 専門分野 情報・通信分野（信号処理、生体計測など）
 担当科目 線形代数、数値解析、プログラミング等
 応募資格 博士の学位を有すること
 着任時期 平成26年4月1日以降のできるだけ早い時期
 応募締切 平成25年12月9日（月）必着
 問合先 知能情報工学科長 田島正登
 TEL [076] 445-6766, tajima@eng.u-toyama.ac.jp
 詳細 <http://www.u-toyama.ac.jp/outline/employ/index.html>

●富山大学

公募人員 大学院理工学研究部（工学部知能情報工学科担当）助教1名（任期5年、再任可）
 専門分野 情報・通信分野（光通信システムなど）
 担当科目 情報ネットワーク、電子回路工学、知能情報工学実験等
 応募資格 博士の学位を有すること
 着任時期 平成26年4月1日以降のできるだけ早い時期
 応募締切 平成25年12月9日（月）必着
 問合先 知能情報工学科長 田島正登
 TEL [076] 445-6766, tajima@eng.u-toyama.ac.jp

詳細 <http://www.u-toyama.ac.jp/outline/employ/index.html>

●富山大学

公募人員 教授 1 名
専門分野 エネルギー変換工学。特に、電磁応用工学、電気機器工学、電力応用工学などに関連した研究分野
応募締切 平成 25 年 12 月 16 日 (月) 必着
問合先 大学院理工学研究部教授 チャビゲンツィ (工学部電気電子システム工学科長)
TEL [076] 445-6745, capi@eng.u-toyama.ac.jp
詳細 <http://www.u-toyama.ac.jp/outline/employ/index.html>

●富山大学

公募人員 助教 1 名 (任期 5 年, 再任可)
専門分野 プラズマ理工学 (高電圧工学, パルス電力技術, 高強度パルス粒子ビーム, パルス放電・レーザプラズマに関連した実験の応用研究)
応募締切 平成 25 年 12 月 16 日 (月) 必着
問合先 大学院理工学研究部教授 チャビゲンツィ (工学部電気電子システム工学科長)
TEL [076] 445-6745, capi@eng.u-toyama.ac.jp
詳細 <http://www.u-toyama.ac.jp/outline/employ/index.html>

●静岡大学

公募人員 情報学研究科情報学専攻理工系情報学分野 教授 1 名
専門分野 情報科学分野
応募資格 ・博士の学位またはそれと同等の業績を有する者
・次世代を担う情報科学の教育研究に対するビジョンを持ちリーダーシップを発揮できる者
応募締切 平成 25 年 12 月 10 日 (火) 必着
問合先 〒432-8011 浜松市中区城北 3-5-1
静岡大学大学院情報学研究科教授 中谷広正
nakatani@inf.shizuoka.ac.jp
詳細 http://www.shizuoka.ac.jp/recruit/2013/20130920_inf.html

●大学共同利用機関法人

自然科学研究機構核融合科学研究所

公募人員 特任准教授または特任助教 1 名 (年俸制, 任期 5 年を最長とする, 再任なし)
専門分野 詳細については本研究所ホームページに掲載しておりますので, 御覧下さい
応募締切 平成 25 年 12 月 10 日 (火) 当日消印有効
問合先 核融合科学研究所管理部総務企画課人事・給与係
TEL [0572] 58-2012 (直通)
詳細 <http://www.nifs.ac.jp/index-j.html>

●福岡工業大学

職名及び人員 教授, 准教授または助教 いずれか 1 名
所属 情報工学部情報システム工学科
専門分野 情報工学分野 (機械システム工学, 組込みシステム, 生体システム工学等)
応募資格 博士の学位を有し大学院の教育研究指導が可能な方
着任時期 平成 26 年 4 月 1 日
応募締切 平成 25 年 12 月 24 日 (火) 必着
問合先 情報工学部情報システム工学科教授 吉田耕一
TEL [092] 606-4991 (ダイヤルイン)
k-yoshida@fit.ac.jp

◎求人欄の執筆要領につきましては下記を御覧下さい。

URL : <http://www.ieice.org/jpn/books/ad/kyokanshainboshu.html>

◎次回締切 1 月号掲載分 平成 25 年 11 月 18 日 (月) 必着

◎会告求人欄に掲載された内容は本会ホームページに掲載しております。下記からお入り頂くと今月号だけではなく、締切前の求人が全て御覧になれます。

URL : <http://www.ieice.org/jpn/service/kyokanboshu.html>

総合版ハンドブック

「知識ベース」の一般公開について

総合版ハンドブック「知識ベース」の一般公開を開始しております。一般公開は、会員限定β版での公開後 2 か月を経過した一部のコンテンツが対象となります。

閲覧にあたっては、本会ホームページ (トップページ) → 「総合版ハンドブック「知識ベース」」または、以下の URL からお入りください。

<http://www.ieice-hbkb.org/portal/>



——2014年フェロー候補者推薦公募について——

2014年フェロー候補者推薦の時期になりましたのでお知らせ致します。

フェロー制度は本会規則第2条「学問・技術または関連する事業に関して顕著な貢献が認められ、本会への貢献が大きいシニア会員（ただし、平成27年までは、正員を対象とすることができる）に対してフェローの称号を贈呈する」に会員制度の一貫として定められております。

つきましては、2014年フェロー候補者推薦の公募を致しますので、ふさわしい方を御推薦頂きますようお願い致します。

フェロー候補者推薦締切日 平成26年1月31日（金）

なお、推薦に関する詳細につきましては本会ホームページ（<http://www.ieice.org/jpn/fellow/suisen.html>）を御参照下さい。

送付先 〒105-0011 港区芝公園3-5-8 機械振興会館

一般社団法人電子情報通信学会各ソサイエティフェロー推薦委員会宛て

——「子供の科学教室基金」

の募金活動について——

本会では10数年間にわたり、会員の先生方にボランティアで講師となって頂き、先端の科学について分かりやすく話して頂く会を企画し、小・中・高校生を対象に同科学教室を開催して参りました。毎回書いて頂くアンケートでも非常によい感想を頂いております。

この青少年の啓発活動を定着させていくために、平成14年度からこの活動が本来、御賛同の方の御支援により実施すべきものと考え、理事会の承認を得て、会費請求時に個別会員、維持員の皆様から「子供の科学教室基金」として御寄付を募ることに致しました。御寄付は基金に繰り入れ、使途を明確にして有効活用させて頂いております。

会員の皆様に御賛同を頂くとともに、御協力をお願い申し上げます。

募金額は1口1,000円とさせて頂いておりますが、口数に制限はありません。

なお、募金用の振込用紙は、11月末ごろ、会員の皆様にお送り致します平成26年度会費の振込用紙に同封させて頂きましますので、何とぞ御協力下さいませようお願い申し上げます。

——論文誌の冊子体の廃止について——

本会では、1999年8月から論文誌の電子的公開を開始し、2006年4月からは個人の会員の皆様への論文誌の配布媒体をオンライン版とし、冊子体はオプションとしております。また、2009年4月からは特殊員の皆様に対し、サイトライセンスを開始してきました。これらにより、近年オンライン版での閲覧が定着し、オプションとして冊子体を希望される方は減少しております。

一方、現在、電子情報通信学会・横断システム（IEICE Knowledge Discovery（略称：I-Scover））などの新たなシステ

ムの構築、会員管理システム刷新、既存の論文査読／公開システムの更改などを行っており、利用者の皆様のサービス向上及びオンラインを活用した学術情報発信強化に向けた取組みを進めているところです。

少子化等により会員数が漸減していく中で、今後も引き続き学会活動を持続可能なものにしていくために、リソースの集中を図ることが必要になっております。

その一環として、論文誌の冊子体を2014年4月号から廃止することが2013年4月15日の理事会で決定されました。これまで冊子体に親しんでこられた会員の皆様につきましても、今後はオンライン版の御活用をお願い致します。

御不便をおかけしますが、何とぞ御理解のほどよろしくお願ひ申し上げます。

なお、論文誌の別刷は引き続き作成致します。

——平成25年11月号及び12月号

和・英論文誌特集・小特集テーマ——

和・英論文誌編集委員会

（基礎・境界ソサイエティ）

11月号 [英文] Smart Multimedia & Communication Systems

12月号 [和文] バイオメトリクス

12月号 [英文]・Information Theory and Its Applications

・VLSI Design and CAD Algorithms

（通信ソサイエティ）

11月号 [英文] Progress in Information Network Science

12月号 [和文] 知的環境を実現するセンサネットワークの基盤と応用技術論文

12月号 [英文] Network and System Technologies for Sustainable Society

（エレクトロニクスソサイエティ）

11月号 [和文] 次世代電子機器を支える三次元積層技術と先端実装の設計・評価技術

11月号 [英文] Electronic Displays

12月号 [和文] 大学発マイクロ波論文

12月号 [英文] Advanced Elementary Technologies for Information Storage

（情報・システムソサイエティ）

11月号 [和文] ソフトウェア基礎・応用

12月号 [和文] ソフトウェアエージェントとその応用

12月号 [英文] Parallel and Distributed Computing and Networking

●…………… 論文特集原稿募集 ……………●

——バイオメトリクス小特集

(和文論文誌 A) 論文募集——

バイオメトリクス小特集編集委員会

電子情報通信学会和文論文誌 A の小特集 (平成 26 年 12 月号) として、平成 25 年 12 月号に引き続き「バイオメトリクス」を企画しました。バイオメトリクスは、パターン認識の応用として研究開発がなされてきており、近年では、セキュリティへの応用を念頭に置いた技術開発が急激に進展しています。平成 25 年 11 月に第 3 回バイオメトリクスと認識・認証シンポジウム (SBRA2013) (主催: バイオメトリクス時限研究専門委員会) が開催されます。本シンポジウムで発表された質の高い優秀な論文を中心として、センサ、アルゴリズム、実装、システム構築、サービスまで広範にわたる最新研究成果を集積し、最新の技術動向及び今後の技術開発の方向性を展望したいと考えています (本特集は、投稿論文を SBRA2013 発表論文に限定しません)。皆様の積極的な御投稿をお願い申し上げます。

1. 対象分野

以下のようなテーマの論文投稿を期待しておりますが、これらに限らず、広くバイオメトリクスに関する分野の論文の積極的な御投稿をお願い申し上げます。

- ・指紋、虹彩、顔、静脈、掌紋、耳介、歩容、ジェスチャ、署名、音声、マルチモーダルバイオメトリクスに関する認識・認証技術、及び、それらに関する画像信号処理・パターン認識技術
- ・テンプレート選択・更新、スマートカード実装、大規模認証、テンプレート保護、生体検知、システム設計
- ・サーベイラス、アクセスコントロール、エンターテインメント、決済などへの応用
- ・データベース、性能評価、プロトコル、ベンチマーク・標準化
- ・犯罪や災害時の個人同定

2. 論文の投稿規程及びフォーマット

通常の和文論文と同一とします。原則として、論文は刷り上がり 8 ページ程度、レターは標準 2 ページ最大 4 ページとします。4 ページを超過しているレター原稿は受理しませんので御注意下さい。詳細は「和文論文誌投稿のしおり」(http://www.ieice.org/jpn/shiori/ess_mokuji.html) を御覧下さい。また、<http://www.ieice.org/eng/ads.html> にあります二重投稿に関するポリシーを注意深くお読み下さい。なお、査読後の再提出期間が短縮される場合があることをあらかじめ御了承下さい。

3. 論文の投稿

Web による投稿のみ受け付けます。下記の投稿手順に従って下さい。

- (1) 電子情報通信学会 Web サイト https://review.ieice.org/regist/regist_baseinfo_j.aspx を使って投稿して下さい。ソサイエティ/特集では [特集 BA] バイオメトリクス小特集を選択して下さい。[一般 JA] 基礎・境界は選択しないで下さい。
- (2) 登録後に作成される投稿者チェックリスト・著作権譲渡書を投稿締切日までに学会事務局に送付して下さい。送付方法は、郵送、FAX、スキャンし PDF 化したもののメール添付、のいずれの手段でも構いません。これらの書類がな

いと査読が開始されません。

【送付先】

一般社団法人電子情報通信学会編集出版部論文課
〒105-0011 港区芝公園 3-5-8 機械振興会館内
FAX [03] 3433-6616, E-mail: wabun-a@ieice.org

4. 論文投稿締切日 平成 26 年 3 月 12 日 (水) 必着

投稿者チェックリスト・著作権譲渡書がこの期日までに学会事務局に届くようにして下さい。

5. 採否判定通知

著者には平成 26 年 8 月下旬までに採否判定結果を通知します。なお、論文採録の場合には、掲載別刷代をお支払い頂きます。

6. 問合せ先

伊藤康一 東北大学大学院情報科学研究科
〒980-8579 仙台市青葉区荒巻字青葉 6-6-05
TEL [022] 795-7169, FAX [022] 263-9308
E-mail: ito@aoki.ecei.tohoku.ac.jp

※問合せはなるべく電子メールにてお願いします。

7. 小特集編集委員会

委員長 西垣正勝 (静岡大)
編集幹事 伊藤康一 (東北大)
編集委員 岩下友美 (九大), 大木哲史 (早大), 大塚 玲 (産総研), 高橋健太 (日立), 佐藤公則 (鹿児島大), 鷲見和彦 (青学大), 西内信之 (首都大東京), 横原 靖 (阪大), 村松大吾 (阪大), 山崎 恭 (北九州市大)

——アンテナ、伝搬、及び無線システムのための最新の測定及び設計技術小特集

(英文論文誌 B) 論文募集——

アンテナ、伝搬、及び無線システムのための最新の測定及び設計技術小特集編集委員会

近年、多くの無線技術の発展とともに、スマートフォンのような小形端末を用いた高速な無線通信が広く普及しており、無線端末自体の小形化やマルチバンド化、MIMO 等に対応したアンテナシステムの高機能化が進んでいます。この状況は、無線分野の技術者にとって、無線システムや機器の急激な複雑化や多様化に対応する必要があることを意味します。そのためには、アンテナ等のデバイスの小形化技術や新しい設計概念のみならず、より一層正確な測定や評価技術が重要となり、電波利用環境を常に良好に保つための多様な無線設備の導入につなげるのが重要となります。

そこで本小特集 (平成 26 年 10 月号掲載) においては、アンテナ、伝搬、及び無線システム技術分野における最近の測定技術、評価技術に関する論文を中心に募集します。更に新しい設計技術等に関する研究論文をも同時に募集し、双方の視点から最新の技術動向やニーズを把握できる機会を設け、このような要求に答えるための指針を得ることを目指します。企業や大学、そのほかの研究機関等多くの皆様からの積極的な投稿をお待ちしております。

1. 対象分野

アンテナ及び電波伝搬技術に関する以下の分野を対象とします。

- Antenna measurement techniques
- ・ Measurements of antenna parameters
- ・ Experimental models of propagation environment
- ・ Infinitesimal power measurements
- ・ Radiated power measurements

- SAR measurements
 - Other related topics
- Designs and systems
- Antenna design and systems
 - Human body communication
 - MIMO
 - Propagation
 - Wireless power transfer
 - Other related topics

2. 論文の執筆と取扱い

通常の英文論文と同一とします。ページ数は、原則として刷り上がり8ページを標準とします。標準ページ数を超えると、掲載別刷代が急に高くなりますので御注意下さい。詳細は Information for Authors (http://www.ieice.org/eng/shiori/mokuji_cs.html) を御参照下さい。査読後の再提出期間(通常は60日)を短縮する場合があります。

3. 投稿方法

Webによる電子投稿のみ受け付けます。以下の手順で御投稿下さい。

手順1: https://review.ieice.org/regist/regist_baseinfo_e.aspx から登録を行って下さい。初期投稿時に、編集可能な論文本体(TeX/Word)、図、著者の写真、biographyも投稿する必要があります。なお登録時には必ず“Journal/Section”でRecent Progress in Design and Measurement Techniques on Antennas, Propagation and Wireless Systemsを選択して下さい。[Regular-EB]を決して選択しないで下さい。

手順2: 登録時に生成される“Copyright Transfer and Page Charge Agreement”と“Confirmation Sheet of Manuscript Registration”を、論文投稿締切日までに下記送付先へ電子メール添付、FAXのいずれかの方法でお送り下さい。これらの書類が期日までに届かない場合、投稿が取下げになることがあります。

4. 論文投稿締切日 平成26年2月3日(月)必着

5. 投稿書類送付先及び問合せ先

福迫 武

熊本大学大学院自然科学研究科情報電気電子工学専攻

TEL [096] 342-3839, FAX [096] 342-3630

E-mail: ap_ac-eb-special2014@mail.ieice.org

6. 小特集編集委員会

委員長 宇野 亨(東京農工大)

幹事 福迫 武(熊本大), 本間尚樹(岩手大)

委員 石井 望(新潟大), 北 直樹(NTT), 紀平一成(三菱電機), 黒川 悟(産総研), 西山英輔(佐賀大), 藤元美俊(福井大), 山口 良(ソフトバンクモバイル), 山本 学(北大)

7. 付記

* 締切日を厳守して下さい。

* 招待論文を含む全ての採録論文については掲載別刷代(別刷50部含む)が必要となります。

* 投稿に際しては、著者のうち少なくとも1名は本学会員でなければなりません。ただし招待論文に関してはこの限りではありません。必要な投稿資格を満たしていない著者からの投稿論文については、投稿を受け付けないこととなりますので御注意下さい。入会の案内はこちらを御覧下さい。 <http://www.ieice.org/jpn/nyukai/susume.html>

——新たな広がりを見せる衛星通信及び関連

宇宙技術特集(和文論文誌B)論文募集——

新たな広がりを見せる衛星通信及び 関連宇宙技術特集編集委員会

東日本大震災の際には、地上の通信インフラが大きな損傷を受け、緊急時の通信確保等に衛星通信が活躍したことは記憶に新しいですが、その後の総務省施策「耐災害性強化のための情報通信技術の研究開発」をはじめとする耐災害 ICT 技術の研究開発においても、衛星通信の役割が大きく期待されています。同時に、我が国における衛星通信事業においても衛星携帯電話等の新規サービス導入が活発化し、海洋域における安全保障や資源探査など、衛星通信の活用が期待される新たな分野が登場してきています。また、通信インフラのみならず、悪天候でも広域な地上観測ができる衛星からの合成開口レーダ観測や電波測位などの衛星電波応用技術も、耐災害技術の重要な分野です。このように衛星を用いた通信や電波応用の活用が大きく広がりがつあり、これに呼応して研究開発も広がりをを見せています。そこで、近年の衛星通信・電波応用分野の研究開発状況を広い視点で集約し、その方向性や広がりを俯瞰することは、今後の当該分野の研究開発においても有益であることから、本特集(2014年11月号)を企画致しました。

本特集では、衛星通信・放送技術・宇宙電波応用はもとより、それに関連する宇宙技術及び地上施設関連技術、更に我が国では新たに研究開発が始まった無人航空機システム(UAS)を対象とする通信及び関連技術も対象とします。幅広い皆様からの論文投稿を期待致します。

1. 対象分野

以下に関する要素技術、システム技術、アプリケーション・応用

- 衛星通信(固定衛星通信, モバイル衛星通信, 衛星間通信等)
- 衛星放送(CS/BS, モバイル衛星放送等)
- 観測衛星からのデータ伝送(地球観測衛星, 小形衛星, 深宇宙通信)
- 飛しょう体電波応用(電波測位, 合成開口レーダ)
- 衛星・地上融合通信システム(ATC/CGC等)
- 衛星センサネットワーク
- 無人航空機通信システム

2. 論文の執筆と取扱い

通常の一般論文と同一とし、論文は原則として刷り上がり8ページ以内とします。詳細は投稿のしおり http://www.ieice.org/jpn/shiori/cs_mokuji.html を御参照下さい。査読後の再提出期間が短縮される場合があることをあらかじめ御了承下さい。

3. 主なスケジュール

投稿締切: 2014年2月28日(金) 厳守

初回判定通知予定: 2014年4月下旬

最終判定通知予定: 2014年7月下旬

発行月: 2014年11月号

4. 投稿方法

(A) 電子投稿

https://review.ieice.org/regist/regist_baseinfo_j.aspx にアクセスし、投稿原稿のPDFファイルと編集用データを登録して下さい。登録後に作成される投稿者チェックリスト・著作権譲渡書を投稿締切日までに学会事務局に到着するように送付して下さい。

【注意】 登録時点で原稿のアップロードが困難な場合、「郵送に

よる投稿」を選択し、一旦登録を完了させて下さい。連絡先メールアドレスにメール (Notification of completion for Temporary Registration) が送信されますので、メール内に記載の URL から「仮登録情報の修正/削除, 電子投稿 (原稿のアップロード) 画面」にアクセスして下さい。表示される画面から原稿のアップロードができますので、必ず投稿締切日までに原稿をアップロードして下さい。

(B) 郵送

https://review.ieice.org/regist/regist_baseinfo_j.aspx にアクセスし、投稿論文データを登録して下さい。投稿者チェックリスト、著作権譲渡書、投稿原稿、編集用データを保存したメディアを投稿締切日までに学会事務局に到着するように郵送して下さい。

郵送物送付先:

一般社団法人電子情報通信学会編集出版部論文課

〒105-0011 港区芝公園 3-5-8 機械振興会館

5. 特集編集委員会

編集委員長 上羽正純 (室蘭工大)

編集幹事 福田盛介 (JAXA), 吉村直子 (NICT)

編集委員 石川博康 (日大), 大槻知明 (慶大), 大嶺裕幸 (三菱電機), 岡本英二 (名工大), 榎木勲四郎 (KDDI 研), 香取照臣 (日大), 亀井雅 (NHK), 鴨川健司 (NTT ドコモ), 小林弘一 (阪工大), 高瀬浩史 (日本工大), 豊嶋守生 (NICT), 西山大樹 (東北大), 山下史洋 (NTT)

——ネットワーク仮想化及びコンピューティングとネットワークの融合プラットフォーム

小特集 (英文論文誌 B) 論文募集——

ネットワーク仮想化及びコンピューティングとネットワークの融合プラットフォーム小特集編集委員会

インターネットを代表とする情報通信システムは、社会・経済活動を支える必要不可欠な社会インフラになりつつあり、ユーザの多様なニーズに迅速に応える柔軟性のあるサービスの提供が望まれています。また、コンピューティングとネットワークの融合が急速に進展し、コンピュータ・ネットワーク・ストレージ全ての資源を統合してダイナミックかつエラスティックに活用する利便性が注目を浴びつつあります。進化しつつあるネットワーク仮想化はそのようなインフラを実現する鍵の技術であり、カスタマイズした多様なネットワークの共存、最新機能の迅速な導入、資源の独立化により相互干渉しないプログラマブルなネットワーク、巨大化する情報通信システムの安定した運用管理、クラウドコンピューティングのネットワークへの伸展、及びセキュアなサービス基盤の提供が期待されています。そこで、多様なサービスネットワークを論理的に実現するネットワーク仮想化、及び新機能を迅速に導入するコンピューティングとネットワークの融合プラットフォーム技術等の研究開発を促進するため、本小特集 (2014年11月号掲載) を企画致します。

1. 対象分野

ネットワーク仮想化及びコンピューティングとネットワークの融合プラットフォームに関する以下の分野を主な対象とします。

- ・多様なカスタマイズネットワークを実現するネットワーク仮想化アーキテクチャ
- ・ネットワーク仮想化をベースとした革新的アプリケーション

- ・ネットワーク・コンピューティングの融合
- ・マルチレイヤ統合制御、及びネットワーク仮想化運用管理技術
- ・ネットワーク仮想化におけるリソースモニタリング技術
- ・ネットワーク仮想化をベースとしたデータセンタネットワーク技術
- ・オペレーティングシステム・ネットワーク仮想化技術
- ・ソフトウェア・デファインド・ネットワーク技術
- ・ネットワーク機能仮想化技術
- ・ネットワーク仮想化, セキュアサービス提供におけるセキュリティ技術
- ・データセンターへの応用技術

これら上記技術に関連するテストベッド関連研究, 実験成果等

2. 論文の執筆と取扱い

通常の英文論文と同一とします。ページ数は、原則として、論文の場合は刷り上がり8ページを標準とします。標準ページ数を超えると、掲載別刷代が急に高くなりますので御注意下さい。詳細は Information for Authors (http://www.ieice.org/eng/shiori/mokuji_cs.html) を御参照下さい。査読後の再提出期間 (通常は60日) を短縮する場合があります。

3. 投稿方法

Webによる電子投稿のみ受け付けます。以下の手順で御投稿下さい。

手順1: https://review.ieice.org/regist/regist_baseinfo_e.aspx から登録を行って下さい。初期投稿時に、編集可能な論文本体 (TeX/Word), 図, 著者の写真, biography も投稿する必要があります。なお登録時には必ず “Journal/Section” で Network Virtualization, and Fusion Platform of Computing and Networking を選択して下さい。[Regular-EB] を決して選択しないで下さい。

手順2: 登録時に生成される “Copyright Transfer and Page Charge Agreement” と “Confirmation Sheet of Manuscript Registration” を、論文投稿締切日までに下記送付先へ電子メール添付, FAX のいずれかの方法でお送り下さい。これらの書類が期日までに届かない場合、投稿が取下げになることがあります。

4. 論文投稿締切日 2014年3月3日 (月) 必着

5. 投稿書類送付先及び問合せ先

田上敦士

KDDI 研究所次世代通信アーキテクチャー G

〒356-8502 ふじみ野市大原 2丁目1番15号

TEL [049] 278-7365, FAX [049] 278-7510

E-mail: nv+paper@mail.ieice.org

6. 小特集編集委員会

委員長 島野勝弘 (NTT)

幹事 田上敦士 (KDDI 研), 重野 寛 (慶大)

委員 会田雅樹 (首都大東京), 飯田勝吉 (東工大), 石原智宏 (富士通研), 工藤知宏 (産総研), 後藤滋樹 (早大), 寺岡文男 (慶大), 中内清秀 (NICT), 原井洋明 (NICT), 福井将樹 (NTT), 村田正幸 (阪大), C. K. Toh (清華大), Wolfgang Kellerer (ミュンヘン工大)

7. 付記

* 締切日を厳守して下さい。

* 論文採録の場合は掲載別刷代が必要となりますので、あらかじめ御了承下さい。

*投稿に際しては、著者のうち少なくとも1名は本会会員でなければなりません。ただし招待論文に関してはこの限りではありません。必要な投稿資格を満たしていない著者からの投稿論文については、投稿を受け付けないこととなりますので御注意下さい。入会の案内はこちらを御覧下さい。http://www.ieice.org/jpn/nyukai/susume.html

——通信分野の新しい知・技を切り開く ポジションペーパー小特集

(英文論文誌B) 論文募集——

通信分野の新しい知・技を切り開く
ポジションペーパー小特集編集委員会

通信分野の発展はとどまるところを知らず、それを支える研究開発が日夜続けられています。過去には存在しなかった新しい技術が数多く提案されており、それに基づく新たな研究分野の開拓が更なる通信技術の発展につながっています。また、世界最高性能の実現を目指した研究開発も多く行われ、その成果が研究開発を更に活性化させています。本小特集では、そのような新しい技術の基となるアイデアをタイムリーに発表する場として、ポジションペーパーを募集致します。より優れたアイデア・成果に関する論文投稿を広く集めることを目的として、本小特集は、2回に分けて投稿の締切りを設定し、論文誌への掲載もそれに伴い2回に分けて行います(平成27年1月及び3月号掲載)。更に、本小特集に掲載された論文を広く世界に紹介することを目的として、全採択論文について以下のような紹介活動を行います。

- ・通信ソサイエティのGLOBAL NEWSLETTERに紹介文を掲載し世界に発信します。
- ・掲載論文は無償公開(会員外でも論文に無料でアクセス可能)とします。

1. 対象分野

本小特集は、英文論文誌Bがカバーする全技術分野(通信基礎、光ファイバ伝送、ネットワークング、アンテナ・伝搬、無線通信等)を対象とします。また、本小特集で募集するポジションペーパーは以下に示す特徴のいずれかを持つ論文と定義します。

- ・新しいものの見方、考え方、パラダイムなどを導入するもの。
- ・従来技術の改良を主体としたものではなく、革新的なアイデアに基づく技術や方式などを提案するもの。
- ・現時点では具体的な技術や方式などの提案には至っていないものの、革新的な技術に結び付くアイデアを含むもの。
- ・システムの試作や実験結果などの報告において、世界最高の数値的性能を実現したものや、これまでに存在しなかった新しい考え方に基づく試作など、特筆すべき特徴を備えたもの。

本小特集では、上記の特徴に関して極めて優れた論文のみを採録・掲載します。この条件を満たしていれば、完全かつ網羅的な有効性の評価がされていなくとも、「論文」として採録します。

2. 論文の執筆と取扱い

通常の英文論文と同一とします。つまり、本小特集に掲載する論文は通常の論文査読基準により採否が判定されます。ただし、当論文誌の論文査読基準の範囲内で、新規性を強く重視し小特集への採否を判定します。ページ数は、本小特集の趣旨を考慮して、通常の論文標準ページ数(刷り上がり8ページ)よりも短い論文(4ページ程度)を想定しています。ただし、ページ数に制限はありません。なお、標準ページ数(8ページ)を超えると、

掲載別刷代が急に高くなりますので御注意下さい。詳細はInformation for Authors (http://www.ieice.org/eng/shiori/mokuji_cs.html)を御参照下さい。査読後の再提出期間(通常は60日)を短縮する場合があります。

3. 投稿方法

Webによる電子投稿のみ受け付けます。以下の手順で御投稿下さい。

手順1: https://review.ieice.org/regist/regist_baseinfo_e.aspxから登録を行って下さい。初期投稿時に、編集可能な論文本体(LaTeX/Word)、図、著者の写真、biographyも投稿する必要があります。なお登録時には必ず“Journal/Section”でPosition Papers Exploring Innovative Intelligence and Technologies in Communicationsを選択して下さい。[Regular-EB]を決して選択しないで下さい。

手順2: 登録時に生成される“Copyright Transfer and Page Charge Agreement”と“Confirmation Sheet of Manuscript Registration”を、論文投稿締切日までに下記送付先へ電子メール添付、FAXのいずれかの方法でお送り下さい。これらの書類が期日までに届かない場合、投稿が取下げになることがあります。

4. 論文投稿締切日

平成27年1月掲載分 平成26年4月1日(火)必着
平成27年3月掲載分 平成26年6月1日(日)必着

5. 投稿書類送付先及び問合せ先

林 和則
京都大学大学院情報学研究所
TEL & FAX [075] 753-5509
E-mail: positionpapers@sys.i.kyoto-u.ac.jp

6. 小特集編集委員会

委員長 岩井誠人(同志社大)
幹事 林 和則(京大)、松田崇弘(阪大)
委員 阿多信吾(阪市大)、井坂元彦(関西学院大)、梅原大祐(京都工繊大)、岡田 啓(名大)、笠原正治(奈良先端大)、塩田茂雄(千葉大)、菅原真司(千葉工大)、須山 聡(NTTドコモ)、橘 拓至(福井大)、長敬三(千葉工大)、蓑輪 正(NICT)、矢野一人(ATR)

7. 付記

- *締切日を厳守して下さい。
- *全ての採録論文について、LaTeXスタイルファイル利用の4ページ相当分(別刷50部)の掲載別刷代を無料とし、これを超える超過分について掲載別刷代が必要となります。
- *投稿に際しては、著者のうち少なくとも1名は本会会員でなければなりません。必要な投稿資格を満たしていない著者からの投稿論文については、投稿を受け付けないこととなりますので御注意下さい。入会の案内はこちらを御覧下さい。http://www.ieice.org/jpn/nyukai/susume.html

——マイクロ波・ミリ波技術の最前線小特集

(英文論文誌 C) 論文募集——

マイクロ波・ミリ波技術の最前線小特集編集委員会

マイクロ波・ミリ波技術は、モバイル通信サービスの更なる高度化、多様化やグローバル化を支える重要な役割を果たしています。また、医療応用、センシング、計測、電力伝送などの非通信領域においても、マイクロ波・ミリ波技術は目覚ましい広がりを見せています。更に、シミュレータに代表されるシミュレーション技術の開発及びその適用により、マイクロ波・ミリ波技術の応用を効果的に検証する試みがなされています。これらの最新の研究内容を網羅的に取り扱うことでマイクロ波・ミリ波技術の更なる進展に寄与することを目的として、本小特集（平成 26 年 10 月号）を企画しました。奮って御投稿下さるようお願い致します。

1. 対象分野

以下に示しますマイクロ波及びミリ波帯のトピックスが主な対象分野ですが、これらに限定するものではありません。

- ・受動素子、能動素子
- ・能動回路（発振器、通倍器、分周器、混合器、増幅器など）
- ・受動回路（フィルタ、共振器、ハイブリッド、メタマテリアルなど）
- ・ミリ波／マイクロ波センサ技術やイメージング技術
- ・マイクロ波電力伝送技術
- ・アンテナ及びその集積化技術
- ・マイクロ波フォトニクス
- ・シミュレーション技術
- ・IC 及び RF モジュール評価技術

2. 論文の執筆と取り扱い

通常の英文論文と同一とします。原則として刷り上がり PAPER 8 ページ、BRIEF PAPER 4 ページ以内（厳守）とします。詳細は Information for Authors (http://www.ieice.org/eng/shiori/mokuji_es.html) を御参照下さい。査読後の再提出期間（通常は 60 日）を短縮する場合がありますので、あらかじめ御了承下さい。本小特集への論文投稿については下記を御参照下さい。

3. 投稿方法

査読作業の円滑化を図るため、本小特集では論文の電子投稿を行います。以下の手順で御投稿下さい。

手順 1: https://review.ieice.org/regist/regist_baseinfo_e.aspx から登録を行って下さい。なお登録時には必ず“Journal / Section”で、[Special-MM] Special Selection on Recent Progress in Microwave and Millimeter-wave Technologies を選択して下さい。[Regular-EC] を選択しないで下さい。

手順 2: 著作権譲渡承諾書 (Copyright Transfer and Page Charge Agreement) と仮登録確認用紙 (Confirmation Sheet of Manuscript Registration) を下記まで電子メール（推奨）あるいは FAX、郵便にて送付して下さい。これらの書類がないと査読が開始されません。

4. 論文投稿締切日 平成 26 年 2 月 14 日（金）必着

5. 問合せ先及び書類送付先

幹事 加屋野博幸
(株)東芝研究開発センター機能材料ラボラトリー
〒212-8582 川崎市幸区小向東芝町 1
TEL [044] 549-2110, FAX [044] 520-1286
E-mail: hiroyuki.kayano@toshiba.co.jp

論文特集原稿募集

6. 小特集編集委員会

ゲストエディタ: 檜橋祥一 (NTT ドコモ)

幹事 加屋野博幸 (東芝)

委員 五十嵐一文 (日本無線), 内田浩光 (三菱電機), 大久保賢祐 (岡山県立大), 岡崎浩司 (NTT ドコモ), 加保貴奈 (NTT), 君島正幸 (アドバンテスト), 真田篤志 (山口大), 清水隆志 (宇都宮大), 武井 健 (日立), 田中 聡 (村田製作所), 西川健二郎 (鹿児島大), 藤島 実 (広島大), 馬 哲旺 (埼玉大)

7. 付記

*論文採録の場合には掲載別刷が必要となりますので、あらかじめ御了承下さい。

*投稿に際しては、著者のうち少なくとも 1 名は本会会員でなければなりません。ただし、招待論文に関してはこの限りではありません。必要な投稿資格を満たしていない著者からの投稿論文については、投稿を受け付けませんこととなりますので御注意下さい。入会の案内はこちらを御覧下さい。
<http://www.ieice.org/jpn/nyukai/index.html>

——多様化する学習・教育支援特集

(和文論文誌 D) 論文募集——

多様化する学習・教育支援特集編集委員会

近年、学習成果の質保証やグローバル人材の育成など、我が国の学習・教育観とそれに伴う課題は多様化しています。これと同時に、スマートデバイス、有線/無線高速通信網、センサネットワーク、ソーシャルメディア、ビッグデータといった電子情報通信技術の進歩・普及により、学習・教育支援も多様化しています。技術と適用対象の組合せが膨大になる中で、より重要な課題に取り組む新規性と有効性の高い学習・教育支援システムを開発・実践・評価すること、また、その基盤となる研究方法論や理論やモデルを構築・洗練することは、教育工学研究の学術的価値を高めるだけでなく、学習・教育に対する社会の期待に応える上でも重要です。

そこで、教育工学研究専門委員会では、学習・教育支援に関する研究成果を学際性豊かに受け入れて広く共有・議論するというポリシーの下、教育工学研究を一層促進させることを目的として、和文論文誌 D（平成 27 年 1 月号掲載）にて本特集を企画致しました。皆様からの積極的な御投稿を期待致します。

1. 対象分野

以下のようなテーマを含め、これらに限らず学習・教育支援に関連する論文を積極的に募集致します。

知的学習支援、協調学習、ソーシャルメディア、コミュニティ形成、コミュニケーション支援、学習科学、メタ認知、知識共創、学習評価、eポートフォリオ、e テスティング、データサイエンス、スマートデバイス（スマートフォン、タブレット端末）、語学学習、スキル学習、プログラミング教育、医療・看護・介護教育、防災教育、遠隔教育、オープンエデュケーション、eラーニング標準化、Learning Analytics、教育情報検索、学習コンテンツ管理、電子教科書、オーサリング支援、インストラクショナル・デザイン、オントロジー、セマンティック Web、ロボティクス、仮想/拡張現実感、シリアスゲーム など

2. 論文の執筆と取扱い

一般論文(システム開発論文を含む)及びレターを募集致します。原則として、論文は刷り上がり 8 ページ以内、レターは刷り上

がり2ページ以内とします。標準ページ数を超えると、掲載別刷代が急に高くなりますので御注意下さい。詳細は和文論文誌投稿のしおり http://www.ieice.org/jpn/shiori/iss_mokuji.html を御参照下さい。査読後の再提出期間（通常60日間）が短縮される場合があることをあらかじめ御了承下さい。

3. 投稿方法

投稿は、本会電子投稿システム (https://review.ieice.org/regist/regist_baseinfo_j.aspx) による電子投稿のみと致します。印刷物及びメールでの投稿は受け付けません。なお、上記 Web での登録の際、“ソサイエティ/特集選択”は“[特集ET] 多様化する学習・教育支援特集”を選択して下さい。“[一般JD] 情報・システム”やほかの特集を選択されませんよう御注意下さい。

仮登録後に作成される投稿者チェックリスト・著作権譲渡書を投稿締切日までに下記送付先へ電子メール添付、FAX、郵送のいずれかの方法でお送り下さい。これらの書類が期日までに届かない場合、投稿が取下げになることがあります。

【送付先】

〒105-0011 港区芝公園3-5-8 機械振興会館

一般社団法人電子情報通信学会編集出版部論文課

FAX [03] 3433-6616, E-mail: wabun-dl@ieice.org

※郵送時は、封筒に「多様化する学習・教育支援特集」を朱記して下さい。

4. 投稿締切 平成26年2月28日(金) 厳守

5. 問合せ先

赤倉貴子 (東京理科大)

E-mail: akakura@ms.kagu.tus.ac.jp

〒162-8601 新宿区神楽坂1-3

TEL [03] 5228-8356

光原弘幸 (徳島大)

E-mail: mituhara@is.tokushima-u.ac.jp

〒770-8506 徳島市南常三島町2-1

TEL [088] 656-7497

6. 特集編集委員会

委員長 赤倉貴子 (東京理科大)

副委員長 小西達裕 (静岡大)

幹事 松原行宏 (広島市大), 光原弘幸 (徳島大)

委員 植野真臣 (電通大), 緒方広明 (九大), 柏原昭博 (電通大), 加藤 浩 (放送大), 國宗永佳 (信州大), 小尻智子 (関西大), 佐々木 整 (拓殖大), 佐藤和彦 (室蘭工大), 杉本雅則 (北大), 瀬田和久 (阪府大), 鷹岡 亮 (山口大), 竹内 章 (九工大), 東本崇仁 (東京理科大), 中村勝一 (福島大), 長谷川 忍 (北陸先端大), 林 敏浩 (香川大), 平嶋 宗 (広島大), 藤原康宏 (兵庫医科大), 堀口知也 (神戸大), 松居辰則 (早大), 松田憲幸 (和歌山大), 宮寺庸造 (学芸大), 室田真男 (東工大), 森本容介 (放送大)

7. 付記

* 締切日を厳守して下さい。

* 論文採録の場合は掲載別刷代が必要となりますので、あらかじめ御了承下さい。

* 投稿に際して、著者のうち少なくとも1名は本会会員でなければなりません。必要な投稿資格を満たしていない著者からの投稿論文については、受け付けませんこととなりますので御注意下さい。入会の案内はこちらを御覧下さい。

(<http://www.ieice.org/jpn/nyukai/index.html>)

本会発行新刊案内

非線形システムは解析から設計・利用の時代に

非線形システムが社会を動かす

並木淳治 著

B5判並製 定価 3,150円(税込)

人間的日常の感情から、“ファッション、流行、流言飛語、パニック”などの発散的現象や、“起業、投資、マネージメント”などの実際の経済活動等、ほとんどの現象は100%人間の相互干渉性が作り出す現象である。要素間干渉を完全に排した線形システムでは表現不可能な非線形システムこそが、私たちを取り囲むほとんどの社会、経済、精神活動を説明・制御する源であるとの立場から、まずそのモデル化、解析手法について分かりやすく説明し、それらの現象の解析評価、そして特に設計・制御・利用を可能にする手法を提示し、一部はExcelプログラム添付で実感させることを試みた。社会システムに興味を持つ全読者へ、《内容目次》ダイナミックシステムのモデル化/線形システムの功罪(非線形システムとは)/超巨大システムの社会的安定の根源/古典的非線形システムを読み解く/これからの非線形システムはこう操れ/見え出した非線形飼いや慣らし手法/エージェント移動をつかさどる多次元セルオートマトンの提案

〒105-0011 東京都港区芝公園3丁目5番8号 機械振興会館内 振替口座 00120-0-35300

TEL [03] 3433-6691(代) FAX [03] 3433-6659 E-mail: kaiin@ieice.org

正員、学生員等の個人会員の方の注文を承ります。2割引・送本費500円 上記番号で御注文下さい。

一般社団法人 **電子情報通信学会**

論文特集論文募集カレンダー

◎基礎・境界ソサイエティ

特集テーマ	投稿締切日／ 分冊・発行月	問合せ先	募集案内掲載号	
			会告	論文誌
空間音響信号処理と実用化小特集	・25年11月25日(月) ・英文誌 A 26年9月号	西浦敬信：立命館大学情報理工学部 TEL [077] 561-5075, FAX [077] 561-5075 E-mail：nishiura@is.ritsumeit.ac.jp	9月号	A分冊 9～11月号 EA分冊 9～11月号
情報理論とその応用小特集	・26年2月7日(金) ・英文誌 A 26年12月号	小林 学：湘南工科大学工学部情報工学科 TEL [046] 630-0232, FAX [046] 634-5932 E-mail：kobayasi@info.shonan-it.ac.jp	10月号	A分冊 10～12月号 EA分冊 10～12月号
VLSI 設計と CAD アルゴリズム小特集	・26年3月13日(木) ・英文誌 A 26年12月号	高木一義：京都大学大学院情報学研究科通信情報システム専攻 TEL [075] 753-5383, FAX [075] 753-5986 E-mail：ktakagi@i.kyoto-u.ac.jp	10月号	A分冊 10～12月号 EA分冊 10～12月号
バイオメトリクス小特集	・26年3月12日(水) ・和文誌 A 26年12月号	伊藤康一：東北大学大学院情報科学研究科 TEL [022] 795-7169, FAX [022] 263-9308 E-mail：ito@aoki.ecei.tohoku.ac.jp	11月号	A分冊 11～1月号

◎通信ソサイエティ

特集テーマ	投稿締切日／ 分冊・発行月	問合せ先	募集案内掲載号	
			会告	論文誌
無線技術の根幹を支えるアンテナ・伝搬技術論文特集	・26年1月6日(月) ・和文誌 B 26年9月号	中野雅之：(株)KDDI 研究所 TEL [049] 278-7562, FAX [049] 278-7343 E-mail：m-nakano@kddilabs.jp	6月号	B分冊 6～8月号
将来ネットワークに向けたインターネットアーキテクチャ特集	・26年1月31日(金) ・和文誌 B 26年10月号	山井成良：岡山大学情報統括センター TEL [086] 251-7238, FAX [086] 251-7244 E-mail：yamai@cc.okayama-u.ac.jp	9月号	B分冊 9～11月号
知的環境とセンサネットワーク小特集	・26年1月6日(月) ・英文誌 B 26年9月号	関屋大雄：千葉大学大学院融合科学研究科情報科学専攻 TEL [043] 290-3258, FAX [043] 290-3269 E-mail：asn-ss-sec@mail.ieice.org	10月号	B分冊 10～12月号 EB分冊 10～12月号
アンテナ、伝搬、及び無線システムのための最新の測定及び設計技術小特集	・26年2月3日(月) ・英文誌 B 26年10月号	福迫 武：熊本大学大学院自然科学研究科情報電気電子工学専攻 TEL [096] 342-3839, FAX [096] 342-3630 E-mail：ap_ac-eb-special2014@mail.ieice.org	11月号	B分冊 11～1月号 EB分冊 11～1月号
新たな広がりを見せる衛星通信及び関連宇宙技術特集	・26年2月28日(金) ・和文誌 B 26年11月号	福田盛介：宇宙航空研究開発機構宇宙科学研究所 TEL [050] 3362-2912, FAX [042] 759-8826 E-mail：fukuda@isas.jaxa.jp	11月号	B分冊 11～1月号
ネットワーク仮想化及びコンピューティングとネットワークの融合プラットフォーム小特集	・26年3月3日(月) ・英文誌 B 26年11月号	田上敦士：KDDI 研究所次世代通信アーキテクチャー G TEL [049] 278-7365, FAX [049] 278-7510 E-mail：nv+paper@mail.ieice.org	11月号	B分冊 11～1月号 EB分冊 11～1月号
通信分野の新しい知・技を切り開くポジションペーパー小特集	・27年1月号掲載分 26年4月1日(火) ・27年3月号掲載分 26年6月1日(日) ・英文誌 B	林 和則：京都大学大学院情報学研究科 TEL [075] 753-5509, FAX [075] 753-5509 E-mail：positionpapers@sys.i.kyoto-u.ac.jp	11月号	B分冊 11～5月号 EB分冊 11～5月号

◎エレクトロニクスソサイエティ

特集テーマ	投稿締切日 / 分冊・発行月	問合せ先	募集案内掲載号	
			会告	論文誌
機構デバイスの最新動向 (IS-EMD2013) 小特集	・26年1月4日(土) ・英文誌 C 26年9月号	阿部宜輝：日本電信電話(株)NTT フォトニクス研究所 TEL [046] 240-2262, FAX [046] 270-6421 E-mail : abe.yoshiteru@lab.ntt.co.jp	10月号	C分冊 10～12月号 EC分冊 10～12月号
マイクロ波・ミリ波技術の最前線小特集	・26年2月14日(金) ・英文誌 C 26年10月号	加屋野博幸：(株)東芝研究開発センター機能材料ラボラトリー TEL [044] 549-2110, FAX [044] 520-1286 E-mail : hiroyuki.kayano@toshiba.co.jp	11月号	C分冊 11～1月号 EC分冊 11～1月号

◎情報・システムソサイエティ

特集テーマ	投稿締切日 / 分冊・発行月	問合せ先	募集案内掲載号	
			会告	論文誌
サイバーワールド小特集	・25年11月8日(金) ・英文誌 D 26年8月号	茅 暁陽：山梨大学コンピュータ理工学科 TEL [055] 220-8652, FAX [055] 220-8652 E-mail : mao@yamanashi.ac.jp	7月号	D分冊 7～9月号 ED分冊 7～9月号
画像符号化・映像メディア処理特集	・25年12月17日(火) ・和文誌 D 26年9月号	市ヶ谷敦郎：NHK 放送技術研究所 TEL [03] 5494-3354, FAX [03] 5494-3197 E-mail : ie-letter@mail.ieice.org	9月号	D分冊 9～11月号
多値論理と VLSI コンピューティング小特集	・25年11月29日(金) ・英文誌 D 26年9月号	弓仲康史：群馬大学理工学研究院電子情報部門 TEL [0277] 30-1790, FAX [0277] 30-1707 E-mail : yuminaka@el.gunma-u.ac.jp	9月号	D分冊 9～11月号 ED分冊 9～11月号
Internet of Things のフロンティア小特集	・25年12月15日(日) ・英文誌 D 26年10月号	太田 香：室蘭工業大学情報電子工学系学科 TEL [0143] 46-5409, FAX [0143] 46-5409 E-mail : ota@csse.muroran-it.ac.jp	9月号	D分冊 9～11月号 ED分冊 9～11月号
並列分散コンピューティングとネットワーク小特集	・25年12月25日(水) ・英文誌 D 26年12月号	松谷宏紀：慶應義塾大学理工学部情報工学科 TEL [045] 566-1569, FAX [045] 566-1569 E-mail : cpsy-pdcn2014-kanji@mail.ieice.org	10月号	D分冊 10～12月号 ED分冊 10～12月号
多様化する学習・教育支援特集	・26年2月28日(金) ・和文誌 D 27年1月号	赤倉貴子：東京理科大学 TEL [03] 5228-8356 E-mail : akakura@ms.kagu.tus.ac.jp 光原弘幸：徳島大学 TEL [088] 656-7497 E-mail : mituhara@is.tokushima-u.ac.jp	11月号	D分冊 11～1月号